

歯科医学総合講義 6 : 641-6-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

| | | |
|-----|-----|--------------|
| 年次 | 学期 | 学則科目責任者 |
| 6年次 | 後学期 | *有川 量崇 (衛生学) |

| | |
|--------------------|---|
| 学修目標 (G I O) と 単位数 | <p>・単位数：12単位</p> <p>・学修目標 (G I O) : より良き歯科医師、歯学研究者となるために、基礎歯科医学および歯科臨床的諸問題に対応できる知識・態度を修得する。</p> |
| 担当教員 | <p>平塚 浩一、玉村 亮、佐々木 佳世子、五十嵐 由里子、近藤 信太郎、栗原 紀子、*齋藤 真規、吉垣 純子、*内山 敏一、*有川 量崇、*岡田 珠美、*寺中 文子、*岩井 啓寿、*神尾 直人、*岡部 達、*吉田 陽子、*清水 邦彦、*高井 英樹、*五関 たけみ、*林 佐智代、*梅澤 幸司、*野本 たかと、*石井 かおり、岩崎 太郎、谷本 安浩、*多田 充裕、*岡本 康裕、*五十嵐 憲太郎、*中田 浩史、*飯島 守雄、*石井 智浩、*大久保 昌和、*飯田 崇、*岩田 好弘、*内堀 聡史、後藤田 宏也、*村岡 宏隆、松本 裕子、田口 千恵子、*宇都宮 忠彦、*福井 謙二、三枝 禎、*淵上 真奈、*西村 均、*山口 秀紀、*石橋 肇、*鈴木 正敏、*平山 聡司、*根岸 慎一、*伊藤 龍朗、*岡本 京、*伊藤 誠康、*河相 安彦、*鈴木 亜沙子、*北川 剛至、*玉木 大之、*村上 洋、*小峯 千明、*深津 晶、*大峰 浩隆、*飯塚 普子、*濱野 美緒、*山本 泰、*牧山 康秀、*下坂 典立、*内田 貴之、*榎本 豊、*中山 洋平、*小出 恭代、*金田 隆、*山口 桜子、*末光 正昌、松野 昌展、*福本 雅彦、*小宮 正道、*田中 孝明、落合 智子、*木本 統、*矢崎 貴啓、*大村 祐史</p> |
| 講義実施要項 | <p>1. 講義：400教室</p> <p>2. 試験：400教室</p> <p>3. 講義は平成30年版歯科医師国家試験出題基準に順じて以下の8つのユニットに分割する。 ユニット1 (必修・総論) : 必修の基本的事項1～13および歯科医学総論 (総論I～VIII) ユニット2 (各論) : 成長発育に関連した疾患・病態 (各論I), 歯・歯髄・歯周組織の疾患 (各論II), 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 (各論V) ユニット3 (各論) : 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (各論IV), 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 (各論V) ユニット4 (各論) : 顎・口腔領域の疾患 (各論III), 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 (各論V) ユニット5 (臨床実地) : 成長発育に関連した疾患・病態 (各論I), 歯・歯髄・歯周組織の疾患 (各論II), 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 (各論V) ユニット6 (臨床実地) : 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (各論IV), 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 (各論V) ユニット7 (臨床実地) : 顎・口腔領域の疾患 (各論III), 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 (各論V) ユニット8 (必修・総論) : 必修の基本的事項1～13および歯科医学総論 (総論I～VIII) の基礎系</p> <p>4. ユニット終了後に実施する平常試験について。 ・講義ユニット終了毎 (ユニット1では3回) に計10回実施する。 ・試験問題は、新規問題または過去の総合試験・歯科医師国家試験の改変問題とする。授業の内容のみでないことに注意すること。なお、平常試験の追・再試験は行わない。 ・各ユニットの平常試験における出題数の内訳は試験日程、領域別出題数表を参照すること。</p> |
| 評価方法 (E V) | <p>定期試験 I および定期試験 II の実施について</p> <p>・全ユニット終了後、歯科医師国家試験合格に必要な学力を適正に評価するために、定期試験 I (200問) 及び定期試験 II (400問) に分けて定期試験 (全600問) を実施する。問題は歯科医師国家試験に準じたオリジナル問題を中心とし、領域別出題割合は、歯科医師国家試験出題基準のブループリントに準ずる (巻末の平成30年版歯科医師国家試験出題基準参照)。 ・試験日程や出題問題数は日程表で確認すること。</p> <p>1) 定期試験 (定期試験 I ・定期試験 II) の合格基準は、以下の通りである。 ・定期試験 I と定期試験 II を合算 (全600問) して判定する。 ・各領域の正答率が必修85%以上、領域A, 領域Bおよび領域Cがそれぞれ70%以上を各領域の合格基準とし、すべての領域が合格基準を満たす者。</p> <p>2) 定期試験 (定期試験 I ・定期試験 II) を病気など正当な理由で欠席した者または合格基準に達しなかった者のうち正式な手続きの後、それぞれ追試験, 再試験 (300問) を行う。その合格基準は以下の通りである。 ・各領域の正答率が必修85%以上、領域A, 領域Bおよび領域Cがそれぞれ70%以上を各領域の合格基準とし、すべての領域が合格基準を満たす者。 ・再試験該当者については、定期試験および平常試験結果を合格判定に考慮することができる。</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------|--|-------|
| 2021/07/01 (木) 1時限 09:00～09:50 | 必修5 : 人体の正常構造・機能 (生化学) | 【授業の一般目標】 染色体を理解するために、染色体・DNA・核酸の基本構造とDNA複製を学ぶ。 | 平塚 浩一 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|---------------------|---|-------|
| | 必修5：人体の正常構造・機能（生化学） | <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 染色体の特徴を説明できる。 2. テロメアを説明できる。 3. 核酸の種類と相違点を説明できる。 4. DNA複製の機序を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年講義プリントを見直し曖昧な点を確認。 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布した講義プリントと関連問題の見直し。 事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 b ゲノム、遺伝子、染色体</p> | 平塚 浩一 |
| 2021/07/01（木） 2時限 10:00～10:50 | 必修5：人体の正常構造・機能（生化学） | <p>【授業の一般目標】 タンパク質合成を理解するために、転写・翻訳・翻訳後修飾を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タンパク質の合成過程を説明できる（セントラルドグマ）。 2. 転写されたmRNAの修飾を説明できる。 3. リボソームでの翻訳機構を説明できる。 4. タンパク質の翻訳後修飾（アミノ酸修飾・折りたたみ・シャペロン）を説明できる。 5. タンパク質の分解（ユビキチン-プロテオソーム系、オートファジー）を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年講義プリントを見直し曖昧な点を確認。 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布した講義プリントと関連問題の見直し。 事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 b ゲノム、遺伝子、染色体</p> | 平塚 浩一 |
| 2021/07/01（木） 3時限 11:00～11:50 | 必修5：人体の正常構造と機能（生化学） | <p>【授業の一般目標】 一般的な検査法を理解するために、生化学的解析手法を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヒトゲノムの特徴を説明できる。 2. 一塩基多型（NSPs）について説明できる。 3. Common diseaseには何かを説明できる。 4. PCR検査の基本的な原理を説明できる。 5. RNA発現解析（RT-PCR, Northern blot）を説明できる。 6. タンパク質発現解析（Western blot）を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年講義プリントを見直し曖昧な点を確認。 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布した講義プリントと関連問題の見直し。 事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；無 プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 b ゲノム、遺伝子、染色体</p> | 平塚 浩一 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---|-------|
| 2021/07/01 (木) 4時限 13:00~13:50 | 総論Ⅲ：口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態（生化学） | <p>【授業の一般目標】 う蝕の発生機序を理解するために、S.mutansによる硬組織脱灰過程を学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ステファン曲線を説明できる。 2. Streptococciの糖代謝を説明できる。 3. 菌体外多糖の種類と形成機序を説明できる。 4. 代用甘味料の種類と意義を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年講義プリントを見直し曖昧な点を確認。 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布した講義プリントと関連問題の見直し。 事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：授業プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> | 平塚 浩一 |
| 2021/07/01 (木) 5時限 14:00~14:50 | 必修5：人体の正常構造と機能（生化学） | <p>【授業の一般目標】 再生医療の基礎を理解するために、万能細胞を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 幹細胞の特徴を説明できる。 2. ES細胞やEG細胞の作成法を説明できる。 3. ES細胞やEG細胞の問題点を説明できる。 4. iPS細胞の作成法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：2年講義プリントを見直し曖昧な点を確認。 事前学修時間：60分 事後学修項目：配布した講義プリントと関連問題の見直し。 事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 b ゲノム、遺伝子、染色体</p> | 平塚 浩一 |
| 2021/07/02 (金) 1時限 09:00~09:50 | 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢（組織・発生学） | <p>【授業の一般目標】 歯周組織の構造を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯根膜の構造を説明できる。 2. 歯槽骨の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯根膜と歯槽骨の構造について ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：歯根膜と歯槽骨の構造について配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織</p> | 玉村 亮 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|---|------|
| 2021/07/02 (金) 2時限 10:00～10:50 | 必修6 人体の発生・成長・発達・加齢 (組織・発生学) | <p>【授業の一般目標】 人体の発生について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 生殖子の形成について説明できる。 2. 排卵・受精・着床について説明できる。 3. 二層性胚盤・三層性胚盤について説明できる。 4. 胚子期、胎児期における器官形成について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：人体の発生に関して ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：人体の発生に関して配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の発生 a 生殖形成、排卵、受精、着床</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の発生 b 二層性胚盤、三層性胚盤、胚子期、胎児期</p> | 玉村 亮 |
| 2021/07/02 (金) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (組織・発生学) | <p>【授業の一般目標】 口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を説明できる。 2. 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生に関して ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：口腔・頭蓋・顎顔面領域における発生に関して配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア 頭頸部の形成 a 鰓弓<口腔バイオフィルム></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア 頭頸部の形成 b 顎顔面 (口蓋、顎関節を含む) c 舌、唾液腺</p> | 玉村 亮 |
| 2021/07/02 (金) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (組織・発生学) | <p>【授業の一般目標】 歯の発生を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の発生の概要を説明できる。 2. 歯胚の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯の発生に関して ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：歯の発生に関して配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> | 玉村 亮 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---------|
| 2021/07/02 (金) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (組織・発生学) | <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ 歯・歯周組織の形成と歯の萌出 b 歯の硬組織形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ 歯・歯周組織の形成と歯の萌出 c 歯周組織形成</p> | 玉村 亮 |
| 2021/07/02 (金) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学) | <p>【授業の一般目標】 頭頸部の内臓の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 喉頭の構造を説明できる。 2. 頭頸部の循環器の構成を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：該当する内容を解剖の本で確認する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：喉頭と頭頸部の脈管の構造と機能を再確認する。 事後学習時間：60分</p> <p>該当する内容を解剖の本で確認する。 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し プリントを配付する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 d 咽頭、喉頭</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系) 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ア 頭頸部の部位 a 動脈計 c リンパ系</p> | 佐々木 佳世子 |
| 2021/07/03 (土) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学) | <p>【授業の一般目標】 頭蓋骨と頭蓋の筋を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋底の構造が説明できる。 2. 上顎骨の構造が説明できる。 3. 下顎骨の構造が説明できる。 4. 顔面筋 (表情筋) が説明できる。 5. 咀嚼筋が説明できる。 6. 舌骨上筋が説明できる。 7. 咀嚼と嚥下に関与する筋のはたらきが説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頭蓋骨と頭蓋の筋の構造を教科書を通読して復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：頭蓋骨と頭蓋の筋の構造を配布プリントを見て復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントを配布する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢</p> | 近藤 信太郎 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|---------|
| 2021/07/03 (土) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学) | <p>4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 a 頭蓋</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む) a 顔面筋 <表情筋> b 咀嚼筋 c 浅頭筋 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> | 近藤 信太郎 |
| 2021/07/03 (土) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学) | <p>【授業の一般目標】 脳神経の分布とはたらきが説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頸部の三角と筋間隙が説明できる。 2. 三叉神経の分布とはたらきが説明できる。 3. 顔面神経の分布とはたらきが説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：頸部の三角と筋間隙を復習する。三叉神経と顔面神経の復習をする。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：三叉神経と顔面神経の走行をする。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 プリントを配布する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 カ 頭頸部の神経系 a 脳神経</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ア 頭頸部の部位 b 組織隙 <筋膜隙> 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> | 近藤 信太郎 |
| 2021/07/03 (土) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学) | <p>【授業の一般目標】 頭頸部の内臓の構造を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔の構造を説明できる。 2. 舌の構造を説明できる。 3. 唾液腺の構造を説明できる。 4. 咽頭の構造を説明できる。 5. 鼻腔の構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：口腔、舌、唾液腺、咽頭の構造を配付資料・解剖の本で確認する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：口腔、舌、唾液腺、咽頭の構造を再確認する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し プリントを配付する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造</p> | 五十嵐 由里子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|---------|
| 2021/07/03 (土) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(解剖学) | オ 頭頸部の内臓系 a 口腔 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 b 唾液腺 c 舌、扁桃 d 咽頭、喉頭 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系) | 五十嵐 由里子 |
| 2021/07/05 (月) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅲ 病因・病態(微生物・免疫学) | 【授業の一般目標】 微生物感染症について理解するために、感染症の種類と起因する微生物について学修する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 細菌感染症の種類と起因する細菌を説明できる。 3. 真菌感染症の種類と起因する真菌を説明できる。 4. 原虫感染症の種類と起因する原虫を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：病原微生物と関与する感染症について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント、チェックテスト 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症 | *齋藤 真規 |
| 2021/07/05 (月) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅲ 病因・病態(微生物・免疫学) | 【授業の一般目標】 免疫疾患を理解するために、免疫異常(免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患)に関する知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 免疫不全について説明できる。 3. アレルギーの種類、発症機序を説明できる。 4. 自己免疫疾患の種類、発症機序を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：免疫不全の種類、アレルギーの種類、発症機序、自己免疫疾患の種類、発症機序を学修しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：教科書、講義プリントの内容の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、チェックテスト 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 キ 免疫疾患 a 概念 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 | *齋藤 真規 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|--|-----------------|
| 2021/07/05 (月) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅲ 病因・病態 (微生物・免疫学) | キ 免疫疾患 b 免疫不全 c 自己免疫疾患 d アレルギー反応 (過敏症) | *齋藤 真規 |
| 2021/07/05 (月) 3時限 11:00～11:50 | 必修5: 人体の正常構造・機能 (微生物・免疫学) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域における宿主と微生物の関わりを理解するために、口腔関連微生物および口腔領域の免疫機構について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液による防御機構を説明できる。 2. 歯肉溝滲出液による感染防御を説明できる。 3. 口腔常在微生物叢を説明できる。 4. バイオフィーム形成過程を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 口腔微生物叢および口腔の免疫機構を予習する。 事前学修時間: 1時間 事後学修項目: 学修内容の復習 事後学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: 無 学修媒体等: メディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 f 免疫 (免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 a 常在微生物叢 c プラーク<口腔バイオフィーム></p> | 栗原 紀子 *齋藤 真規 |
| 2021/07/05 (月) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅲ: 病因、病態 (微生物・免疫学) | <p>【授業の一般目標】 齶蝕、歯周病および口腔微生物と全身疾患への関わりについて理解するために、関連する口腔微生物と病原因子について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕に関連する微生物、病原因子および齶蝕発症機序を説明できる。 2. 歯周病に関連する微生物および病原因子を説明できる。 3. 全身疾患に関与する口腔微生物について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 齶蝕および歯周病に関与する微生物について予習する。 事前学修時間: 60分 事後学修項目: 講義内容の復習 事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: なし 学修媒体: メディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 c プラーク<口腔バイオフィーム> 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物</p> | 栗原 紀子 |
| 2021/07/05 (月) 5時限 14:00～14:50 | 必修12 治療の基礎・基本手技 (微生物・免疫学) | <p>【授業の一般目標】 微生物に対する感染対策および薬物療法を理解するために、滅菌・消毒法および抗感染薬について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 滅菌法の種類と適用について説明できる。 2. 消毒法の種類と適用について説明できる。 3. 抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬の作用機序を説明できる。</p> | 栗原 紀子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|---|-------|
| 2021/07/05 (月) 5時限 14:00～14:50 | 必修12 治療の基礎・基本手技 (微生物・免疫学) | <p>4. 薬剤耐性と副作用について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：滅菌と消毒、微生物に対する化学療法薬について学修しておく。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (L S)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>12 治療の基礎・基本手技</p> <p>エ 消毒・滅菌と感染対策</p> <p>a 消毒・滅菌法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅶ 治療</p> <p>8 薬物療法</p> <p>ウ 疾患に応じた薬物 治療</p> <p>c 抗感染症薬</p> <p>総論Ⅰ 保健・医療と健康増進</p> <p>7 感染症対策</p> <p>ア 感染症対策と疫学</p> <p>b 感染症の予防</p> | 栗原 紀子 |
| 2021/07/06 (火) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (生理学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>摂食機能を理解するために、一般感覚と口腔感覚の成立機構を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感覚の種類を列挙できる。 2. 神経線維の分類を説明できる。 3. 口腔に存在する感覚器の種類を列挙できる。 4. 口腔感覚の伝導路を説明できる。 5. 味覚の成立機構を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：神経の分類と働きについて復習する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：口腔感覚の種類と特徴、伝導路を復習する。 自己学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (L S)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢</p> <p>6 口腔・顎顔面の機能</p> <p>ア 感覚</p> <p>a 顔面皮膚、粘膜</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢</p> <p>1 細胞・組織・器官の構造と機能</p> <p>キ 神経系</p> <p>b 感覚機能</p> | 吉垣 純子 |
| 2021/07/06 (火) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (生理学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>摂食機能を理解するために、顎反射の成立機構と意義を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伸張反射を説明できる。 2. 顎反射の種類を説明できる。 3. 顎反射の反射弓を説明できる。 4. 顎反射の咀嚼における意義を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：咀嚼筋の神経支配を復習しておく。 事後学修時間：1時間 事後学修項目：顎反射の種類・反射弓・特徴と咀嚼・顎位維持における役割を復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布</p> | 吉垣 純子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|-------|
| 2021/07/06 (火) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (生理学) | <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 a 反射</p> | 吉垣 純子 |
| 2021/07/06 (火) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (生理学) | <p>【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために、嚥下・嘔吐の機構を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 摂食嚥下の5期を説明できる。 2. 嚥下調節に関わる感覚伝導路を説明できる。 3. 嚥下に関わる筋を列挙できる。 4. 誤嚥を防止するメカニズムを説明できる。 5. 嘔吐時の生体応答を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：頭頸部の解剖について復習する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：摂食嚥下の5期について、関わる感覚伝導路と筋の働きを復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 ウ 食物摂取 c 嚥下、嘔吐</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 c 浅頭筋</p> | 吉垣 純子 |
| 2021/07/06 (火) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (生理学) | <p>【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために、唾液成分と唾液分泌機構を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液腺の種類を列挙できる。 2. 唾液成分と役割を列挙できる。 3. 唾液分泌の調節機構を説明できる。 4. 唾液の組成変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：外分泌と内分泌の違いを理解しておく。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：唾液の機能と分泌調節機構を復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 オ 唾液分泌 b 分泌機構</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 オ 唾液分泌 a 唾液の性状、機能</p> | 吉垣 純子 |
| 2021/07/06 (火) 5時限 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成 | <p>【授業の一般目標】 口腔機能としての構音の成立と障害を説明できる。</p> | 吉垣 純子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--------|
| 14:00～14:50 | 長, 発達, 加齢 (生理学) | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 構音と発声の違いを説明できる。 2. 母音と子音の違いを説明できる。 3. 構音に必要な要素を説明できる。 4. 構音障害の種類と原因を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：声帯の構造を理解しておく。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：起こりうる構音障害をまとめる。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 エ 発声、構音</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 f 発声・構音・発語検査</p> | 吉垣 純子 |
| 2021/07/07 (水) 1時限 09:00～09:50 | 必修12 適切な感 染予防対策 必修10 候組織検 査の基本 総論Ⅷ 成形修復 用材料 | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、適切な感染予防対策ならびに口腔内 検査、成形修復材料について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 適切な感染予防対策について説明できる。 3. 硬組織疾患の検査法の特徴について説明できる。 4. 修復治療に用いる材料について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：感染予防対策、硬組織疾患の検査、成形修復材料について学 修しておく。 ・準備学修時間： 60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：配布資料、スライド、教科書 (保存修復学 第6版)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 a 硬組織・歯髄・根管の検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 エ 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法 d 標準予防策<standard precautions> 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント</p> | *内山 敏一 |
| 2021/07/07 (水) 2時限 10:00～10:50 | 必修5 プラーク <バイオフィーム> 必修6 加齢・老 化 必修12 歯の硬組 織疾患の治療 | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、バイオフィーム、硬組織の加齢によ る変化、窩洞について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. プラーク<バイオフィーム>について説明できる。 3. 硬組織の加齢による変化について説明できる。 4. 窩洞について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：バイオフィーム、硬組織疾患の加齢による変化、窩洞につい て学修しておく。 ・準備学修時間： 60 分</p> | *岡田 珠美 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--------|
| 2021/07/07 (水) 2時限 10:00~10:50 | 必修5 プラーク ＜バイオフィルム＞ 必修6 加齢・老化 必修12 歯の硬組織疾患の治療 | 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 エ 加齢・老化 a 細胞・組織・臓器の加齢現象（歯および口腔を含む） 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 | *岡田 珠美 |
| 2021/07/07 (水) 3時限 11:00~11:50 | 必修2：社会と歯科医療（衛生学）、 必修4：予防と健康管理・増進、 総論Ⅰ：健康の保持・増進と社会保障の仕組み | 【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 健康の概念について説明できる。 3. ヘルスプロモーションについて説明できる。 4. プライマリヘルスケアについて説明できる。 5. 地域保健法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（健康の概念、ヘルスプロモーション、地域保健法など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 b プライマリヘルスケア c ヘルスプロモーション e メタボリックシンドローム 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み エ 地域保健、地域医療 a 公衆衛生活動、地域保健活動 e 都道府県、市町村、保健所の歯科保健業務 | *有川 量崇 |
| 2021/07/07 (水) 4時限 13:00~13:50 | 必修2：社会と歯科医療（衛生学）、 必修4：予防と健康管理・増進、 総論Ⅰ：健康の保持・増進と社会保障の仕組み | 【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 健康増進法について説明できる。 3. 高齢者の医療の確保に関する法律を説明できる。 4. 食育基本法について説明できる。 5. 精神保健について説明できる。 | *有川 量崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--------|
| 2021/07/07 (水) 4時限 13:00～13:50 | 必修2：社会と歯科医療（衛生学）、必修4：予防と健康管理・増進、総論Ⅰ：健康の保持・増進と社会保障の仕組み | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（健康増進法、高齢者医療確保法、精神保健関連など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 b プライマリヘルスケア c ヘルスプロモーション e メタボリックシンドローム 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み エ 地域保健、地域医療 a 公衆衛生活動、地域保健活動 e 都道府県、市町村、保健所の歯科保健業務</p> | *有川 量崇 |
| 2021/07/07 (水) 5時限 14:00～14:50 | 必修2：社会と歯科医療（衛生学）、総論Ⅰ：国際保健、国際協力 | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 世界の保健・医療の問題と方向性について理解できる。 3. 国際保健、国際協力について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（国際保健、世界の保健・医療）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 b 国際保健、医療協力</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 5 国際保健 ア 国際保健 a 世界の保健、医療の問題と方向性 b 国際保健、医療協力</p> | *有川 量崇 |
| 2021/07/08 (木) 1時限 09:00～09:50 | 必修7 歯の硬組織疾患 必修12 治療に用いる基本的器材 総論Ⅷ 合着・接着用セメント | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、齶蝕の特徴、治療に用いる診療用器具および合着用セメントについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 齶蝕の特徴について説明できる。 3. 修復治療に用いる切削器具について説明できる。 4. 修復前準備に用いる器具について説明できる。 5. 各種合着用セメントについて説明できる。</p> | *寺中 文子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--------|
| 2021/07/08 (木) 1時限 09:00～09:50 | 必修7 歯の硬組織疾患 必修12 治療に用いる基本的器材 総論Ⅷ 合着・接着用セメント | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：修復処置に用いる器具、器械、修復材料について学修しておく。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布資料、スライド、教科書（保存修復学 第6版）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ウ 器械の安全な取扱法 b 治療に用いる基本的器材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 b 診療用器械、切削、研削工具、研磨材 e 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 g 成形技術・機器 h 接着用材料、接着処理 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患</p> | *寺中 文子 |
| 2021/07/08 (木) 2時限 10:00～10:50 | 必修12 治療に用いる基本的器材 総論Ⅷ 診療用器械、成型修復材料 | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患の修復処置を行うために、成型修復材料・診療用器械の特徴や使用方法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 3. コンポジットレジンの歯質接着機構について説明できる。 4. コンポジットレジンの組成について説明できる。 5. コンポジットレジン修復に用いる照射器について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第6版(P.139-166) ・準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 講義</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 a 基本的性質 b 診療用器械、切削、研削工具、研磨材 e 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 h 接着用材料、接着処理</p> | *岩井 啓寿 |
| 2021/07/08 (木) 3時限 11:00～11:50 | 必修4：社会と歯科医療（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医療法、医療計画、医療の質の確保の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 患者満足度、患者説明文書、クリニカルパスについて説明できる。 3. 医療廃棄物処理、院内感染対策委員会について説明できる。 4. 医薬品・医療機器による健康被害について説明できる。 5. 医療法について説明できる。 6. 医療計画について説明できる。 7. 医事衛生法規について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療法、医療計画の知識を修得する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> | *有川 量崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|--------|
| 2021/07/08 (木) 3時限 11:00～11:50 | 必修4：社会と歯科医療（衛生学） | <p>アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 e 保健・医療・福祉・介護の制度と職種</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ウ 保健・医療・福祉・介護の法規と制度 a 医事衛生法規 h 医療施設 b 医療計画、健康増進計画 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 a 歯科医師法、歯科衛生士法、歯科技工士法 e 保健・医療・福祉・介護の制度と職種 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ウ 保健・医療・福祉・介護の法規と制度 a 医事衛生法規 b 保健衛生法規 c 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 f 地域保健関連機関</p> | *有川 量崇 |
| 2021/07/08 (木) 4時限 13:00～13:50 | 必修2：社会と歯科医療（衛生学） 総論 I：社会保障と医療経済 | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な社会保障制度、医療経済と国民医療費、国際保健の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 社会保障制度について説明できる。 3. 医療経済と国民医療費について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療経済と国民医療費の知識を修得する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：医療経済と国民医療費の知識を修得する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 h 国民医療費、社会保障費</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 4 社会保障と医療経済 ア 社会保障と医療経済 c 医療経済と国民医療費</p> | *有川 量崇 |
| 2021/07/08 (木) 5時限 14:00～14:50 | 必修1：医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な医の倫理、生命倫理の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ニュルンベルグ綱領、ヘルシンキ宣言について説明できる。 3. ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、リスボン宣言について説明できる。 4. 守秘義務、プライバシーの尊重について説明できる。 5. インフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて説明できる。 6. 患者の権利と義務、自己決定権について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（医の倫理、患者の権利）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> | *有川 量崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--------|
| 2021/07/08 (木) 5時限 14:00～14:50 | 必修1：医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム (衛生学) | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナルリズム ア 医の倫理、生命倫理 b 医療者の論理 (ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など)</p> | *有川 量崇 |
| 2021/07/09 (金) 1時限 09:00～09:50 | 必修12 治療の基礎・基本手技 (歯内療法学) 総論Ⅱ・Ⅲ 構造と機能、発生、加齢、病因、病態 | <p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、基本的な術式、構造と機能、発生、加齢、病因、病態を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の治療の基本的術式を説明できる。 3. 歯内分野における正常構造と機能、発生、加齢を説明できる。 4. 歯内分野における病因、病態を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法総論全般 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯 a エナメル質、象牙質、歯髄</p> | *神尾 直人 |
| 2021/07/09 (金) 2時限 10:00～10:50 | 必修12 治療の基礎・基本手技 (歯内療法学) 総論Ⅳ・Ⅵ 主要症候・検査 | <p>【授業の一般目標】 歯髄根尖歯周組織疾患の適切な診断・治療ができるようになるために、歯・歯髄・根尖歯周組織の主要症候、検査について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯内分野における主要症候を説明できる。 3. 歯内分野における検査を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修内容 歯内療法全般 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、 媒体 プリント パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査</p> | *岡部 達 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--------|
| 2021/07/09 (金) 2時限 10:00～10:50 | 必修12 治療の基礎・基本手技(歯内療法学) 総論Ⅳ・Ⅵ 主要症候・検査 | b 歯髄・根管検査 | *岡部 達 |
| 2021/07/09 (金) 3時限 11:00～11:50 | 必修12 治療の基礎・基本手技(歯内療法学) 総論Ⅶ・Ⅷ 治療・歯科材料と歯科医療機器 | <p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に診断・治療ができるようになるために、歯・歯髄・根尖歯周組織疾患の治療、歯科材料と歯科医療機器を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯内領域における治療法を説明できる。 3. 歯内領域における材料と医療機器を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 歯内療法全般 学習時間 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無 無し 媒体 プリント パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ウ 歯内療法用材料 a 根管充填材 b 仮封材、裏層材、覆髄材</p> | *吉田 陽子 |
| 2021/07/09 (金) 4時限 13:00～13:50 | 必修：人体の発生・成長・発達・加齢 (小児歯科) | <p>【授業の一般目標】 小児の発育を考慮した小児歯科治療を実践するために、小児の身体的・精神的発達を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の発育を説明できる。 3. 身体発育の特徴を説明できる。 4. 身体発育と精神発達の評価法を説明できる。 5. 小児の生理的特徴を理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の身体的・精神的発達について 準備学修時間：30分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 a 発育区分 (出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 b 発育期の特徴 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) d 小児の生理的特徴</p> | *清水 邦彦 |
| 2021/07/09 (金) 5時限 14:00～14:50 | 必修：人体の発生・成長・発達・加齢 (小児歯科) | <p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯・歯列の発育および小児への歯科的対応について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の発育を説明できる。 3. 歯齢を説明できる。</p> | *清水 邦彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|--------|
| 2021/07/09 (金) 5時限 14:00～14:50 | 必修：人体の発生・成長・発達・加齢 (小児歯科) | 4. 歯列の発育を説明できる。 5. 小児期の栄養について説明できる。 6. 口腔機能の発達について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の歯・歯列の発育について 準備学修時間：30分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：P C、配布資料 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 4 0 0 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 a 歯・歯列の発育 (発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯 齢) | *清水 邦彦 |
| 2021/07/10 (土) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅵ：検査 (歯 周治療学) | 【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周組織検査および治療計画について理解する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織検査について理解できる。 3. 治療計画を立案できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周組織検査および治療計画について予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 4 0 0 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織検査 | *高井 英樹 |
| 2021/07/10 (土) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅶ：治療 (歯 周治療学) | 【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周治療および歯周治療用材料を理解する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療について理解できる。 3. 歯周外科治療の基本手技について理解できる。 4. 歯周治療用材料について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周治療について予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 4 0 0 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 1 1 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 イ 骨補填用材料 | *高井 英樹 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------|---|--------|
| 2021/07/10 (土) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅶ：治療（歯周治療学） | エ 細胞遮断膜 | *高井 英樹 |
| 2021/07/10 (土) 3時限 11:00～11:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技（歯周治療学） | <p>【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周組織検査、治療計画および治療法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織検査について理解できる。 3. 治療計画を立案できる。 4. 歯周治療について理解できる。 5. 歯周外科治療の基本手技について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周組織検査、治療計画および治療法を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> | *高井 英樹 |
| 2021/07/12 (月) 1時限 09:00～09:50 | 必修・乳歯の形態的特徴（小児歯科） | <p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、乳歯の形態的特徴、歯の数・形態・構造の異常、ならびに児童虐待について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 児童虐待について説明できる。 3. 乳歯および幼若永久歯の形態的特徴を説明できる。 4. 歯の数・形態・構造の異常について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集総論、各論I領域 準備学修時間：60分 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 g 児童虐待への対応 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 イ 遺伝性疾患(主に口腔に症状がみられる) d エナメル質形成不全(症) h 象牙質形成不全症 2 歯の異常 ア 数の異常 a 過剰歯 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 a 先天異常</p> | *清水 邦彦 |
| 2021/07/12 (月) 2時限 10:00～10:50 | 必修：治療の基礎・基本手技（小児歯科学） | <p>【授業の一般目標】 安全な小児歯科診療を実施するために小児歯科治療の基礎および対応法を理解する。</p> | *清水 邦彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|----------------------|---|---------|
| | 必修:治療の基礎・基本手技(小児歯科学) | <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 年齢別による小児のコミュニケーションを説明できる。 3. 小児の対応法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目: 小児の対応法について 準備学修時間: 30分 事後学習項目: 配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: 無 学修媒体: PC、配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2 治療の基礎・基本手技 イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 c コミュニケーション <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2 治療の基礎・基本手技 イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境 | *清水 邦彦 |
| 2021/07/12(月) 3時限 11:00~11:50 | 必修9:診察の基本(歯科矯正学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な矯正治療を実践するために、不正咬合の特徴を捉え、診断および治療計画の立案に必要な検査・分析法を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯列・咬合の診査項目を述べることができる。 3. 模型分析の項目と特徴を述べることができる。 4. 各種セファロ分析の項目と特徴を述べることができる。 5. 分析により得られたデータを統合して不正咬合の状態を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目: 形態的検査、機能的検査について 準備学修項目: (90分) 事後学習項目: 配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング: 無し 学習媒体: 授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書: 医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 9 診察の基本 カ 歯列・咬合状態の診察 b 前歯部の被蓋・咬合状態 <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 検査</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 e 歯列・咬合検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 d 顎顔面頭蓋部エックス線検査 <p>歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 不正咬合の診断 イ 検査 ウ 診断 | *五関 たけみ |
| 2021/07/12(月) 4時限 13:00~13:50 | 総論IV:主要症候(歯科矯正学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な矯正治療を実践するために、不正咬合の特徴を捉え、診断および治療計画の立案に必要な検査・分析法を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯列・咬合の診査項目を述べることができる。 3. 模型分析の項目と特徴を述べることができる。 4. 各種セファロ分析の項目と特徴を述べることができる。 5. 分析により得られたデータを統合して不正咬合の状態を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> | *五関 たけみ |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|---------|
| 2021/07/12 (月) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅳ：主要症候 (歯科矯正学) | <p>準備学修項目：形態的検査、機能的検査について 準備学修項目：(90分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ウ 歯列、咬合</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 e 歯列・咬合検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 d 顎顔面頭蓋部エックス線検査 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の診断 イ 検査 ウ 診断</p> | *五関 たけみ |
| 2021/07/12 (月) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅶ：治療：摂食嚥下障害のリハビリテーション (障害者歯科学) | <p>【授業の一般目標】 高齢者における摂食嚥下機能を理解する</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. リハビリテーションの概念について説明できる 3. 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる 4. 高齢者における摂食嚥下機能の特徴について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版の該当項目について予習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版の該当項目について予習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 6 リハビリテーション イ リハビリテーションの技術 a 摂食・嚥下障害のリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 ウ 食物摂取 c 嚥下、嘔吐 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 イ 機能評価 e 摂食嚥下障害 総論Ⅶ 治療 6 リハビリテーション ア リハビリテーションの概念 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 e 嚥下機能検査 f 発声・構音・発語検査 g 鼻咽腔閉鎖機能検査</p> | *林 佐智代 |
| 2021/07/13 (火) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅶ：治療：摂食・嚥下障害のリハビリテーション (障害者歯科学) | <p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下機能の発達および加齢変化を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> | *野本 たかと |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|---------|
| 2021/07/13 (火) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅶ：治療：摂食・嚥下障害のリハビリテーション (障害者歯科学) | <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 摂食機能の発達について述べられる。 3. 嚥下のメカニズムについて説明できる。 4. 嚥下障害について述べられる。 5. 誤嚥性肺炎について述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 6 リハビリテーション イ リハビリテーションの技術 a 摂食・嚥下障害のリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 ウ 食物摂取 c 嚥下、嘔吐 エ 発声、構音 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ケ 口腔機能障害 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 イ 機能評価 e 摂食嚥下障害 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 e 嚥下機能検査 f 発声・構音・発語検査 g 鼻咽腔閉鎖機能検査 総論Ⅶ 治療 6 リハビリテーション イ リハビリテーションの技術 b 発声・構音・発語障害のリハビリテーション</p> | *野本 たかと |
| 2021/07/13 (火) 2時限 10:00～10:50 | 必修3：チーム歯科医療 (障害者歯科学) | <p>【授業の一般目標】 医療機関、地域医療でのチームワークについて説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 多職種連携について説明できる。 3. 病診連携、診診連携について説明できる。 4. チームワーク形成について説明できる。 5. コンサルテーションについて説明できる。 6. 社会生活について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 b 医科歯科連携 c 病診連携 d 医療チームの構成員と役割</p> | *梅澤 幸司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|---|--------|
| 2021/07/13 (火) 2時限 10:00～10:50 | 必修3：チーム歯科医療（障害者歯科学） | イ チーム医療における歯科の役割 a かかりつけ歯科医 b 在宅医療（訪問歯科診療を含む） c 情報提供 d セカンドオピニオン | *梅澤 幸司 |
| 2021/07/13 (火) 3時限 11:00～11:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技（障害者歯科学） | <p>【授業の一般目標】 障害者、高齢者、要介護者の治療について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. スペシャルニーズのある人達の治療環境について説明できる。 3. スペシャルニーズのある人達の治療体位について説明できる。 4. スペシャルニーズのある人達のコミュニケーションについて説明できる。 5. スペシャルニーズのある人達に対するチーム医療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ア 治療の基本 c 治療の場（外来、入院、在宅医療（訪問歯科診療を含む）） イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 b 患者の体位 c コミュニケーション d チーム医療</p> | *梅澤 幸司 |
| 2021/07/13 (火) 4時限 13:00～13:50 | 総論V：診察（障害者歯科学） | <p>【授業の一般目標】 障害児・者の歯科治療が行えるようになるために、障害者や高齢者の対応について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 障害者の保健・医療・福祉について述べられる。 3. 障害者の概念や分類を説明できる。 4. 障害者の行動調整法について述べられる。 5. 障害者および高齢者の歯科治療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 診察 5 高齢者への対応 ア 診察 b 既往歴・合併症の評価</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論V 診察 2 小児への対応 オ 発達障害のある小児への対応 a 自閉スペクトラム症[自閉症スペクトラム障害]<ASD> b 注意欠如・多動症[注意欠陥多動性障害]<ADHD> c 限局性学習症[学習障害<LD>] 3 障害者への対応 ア 障害の概念 ウ 行動調整 エ 診察</p> | *梅澤 幸司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|---|---------|
| 2021/07/13 (火) 4時限 13:00～13:50 | 総論V：診察（障害者歯科学） | オ 歯科治療上留意すべき事項 カ 健康支援、患者管理 | *梅澤 幸司 |
| 2021/07/13 (火) 5時限 14:00～14:50 | 必修6：人体の発生・成長・発達・加齢（歯科矯正学） | <p>【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、頭蓋・顎顔面の成長パターンおよび成長発育の評価法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 成長発育の評価について説明できる。 3. 骨年齢とその評価について説明できる。 4. 成長スパートの予測について説明できる。 5. 脳頭蓋の成長について説明できる。 6. 上顎骨の成長発育の特徴について説明できる。 7. 下顎骨の成長発育の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：①Scammonの臓器発育曲線について ②生理的年齢について ③脳頭蓋の成長様式について ④上下顎骨の成長発育の特徴について ・事前学習時間：60分 ・事後学修項目：顎顔面頭蓋の成長発育について ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 b 上顎骨・下顎骨の成長の特徴（成長の時期、骨形成様式）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 c 成長発育・発達の特徴（身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達） 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 8 人体の成長・発達・加齢 イ 発育区分における成長・発育の評価 a 身体成長の評価法 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 エ 頭部の成長・発育 a 頭蓋</p> | *石井 かおり |
| 2021/07/20 (火) 1時限 09:00～09:50 | 総論VIII：歯科材料と歯科医療機器（歯科理工学） | <p>【授業の一般目標】 歯科用金属材料を適切に使用するために、それらの性質と取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科用金属材料の種類、組成および性質について説明できる。 2. 金属の成形加工、軟化熱処理および硬化熱処理について説明できる。 3. 歯科用磁性合金の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（歯科用金属、成形加工、熱処理）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ア 材料の種類 c 金属材料</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 ウ 金属材料 a 金合金</p> | 谷本 安浩 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|-------|
| 2021/07/20 (火) 1時限 09:00～09:50 | 総論VIII：歯科材料と歯科医療機器 (歯科理工学) | b 銀合金、金銀パラジウム合金 c 陶材焼付用合金 d コバルトクロム合金 e チタン、チタン合金 f ステンレス鋼、歯科用磁性合金 7 成形技術・機器 ウ 金属の成形技術・機器 f 塑性加工、焼なまし g 軟化熱処理、硬化熱処理 d ろう付け、ろう材 | 谷本 安浩 |
| 2021/07/20 (火) 2時限 10:00～10:50 | 総論VIII：歯科材料と歯科医療機器 (歯科理工学) | <p>【授業の一般目標】 人工歯根材料、骨補填材および組織再生用膜材料を適切に使用するために、それらの性質と取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科インプラント用材料の種類、組成および性質について説明できる。 2. 骨補填材料の種類、組成および性質について説明できる。 3. 組織再生用膜材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（人工歯根材料、骨補填材、組織工学用材料）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 11 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 ア 口腔インプラント用材料</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 11 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 イ 骨補填用材料 エ 細胞遮断膜</p> | 谷本 安浩 |
| 2021/07/20 (火) 3時限 11:00～11:50 | 総論VIII：歯科材料と歯科医療機器 (歯科理工学) | <p>【授業の一般目標】 被着面に対する接着術式、シーラントによる小窩・裂溝の填塞および歯内療法を適切に行うために、接着システム、予防填塞材料および歯内療法関連材料の種類や基本的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科接着技術における歯質、金属およびセラミックスの被着面処理法について説明できる。 2. 予防歯科材料の種類、組成および性質について説明できる。 3. 歯内療法関連材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（接着、予防填塞材料、歯内療法関連材料）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 8 接着処理・技術 ア 接着性モノマー</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 イ 予防填塞用材料 a 根管充填材 b 仮封材、裏層材、覆髄材</p> | 岩崎 太郎 |
| 2021/07/20 (火) | 総論VIII：歯科材 | 【授業の一般目標】 | 岩崎 太郎 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|---|----------|
| 4時限 13:00～13:50 | 料と歯科医療機器 (歯科理工学) | <p>歯科用セラミックスの臨床応用や歯科矯正治療を適切に行うために、ニューセラミックス、CAD/CAMシステムおよび矯正用材料の種類や基本的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニューセラミックスの種類、組成および性質について説明できる。 2. 歯科用CAD/CAMの特徴について説明できる。 3. 歯科矯正用材料の種類、組成および性質について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。</p> <p>事前学修時間：1時間</p> <p>事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（ニューセラミックス、CAD/CAMシステム、矯正用材料）を整理・復習する。</p> <p>事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 イ セラミックス b ジルコニア、アルミナ、ガラスセラミックス</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 7 成形技術・機器 エ CAD/CAM 10 歯科矯正用材料 ア 線材料 イ バンド、ブラケット、チューブ ウ エラスティック材、コイルスプリング</p> | 岩崎 太郎 |
| 2021/07/20 (火) 5時限 14:00～14:50 | 必修9：診察の基本・基本手技 (歯科総合診療学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>全人的医療を実践するために、歯科治療における診察の基本に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 診察のあり方に関する用語を説明できる。 3. 診察の基本手技について説明できる。 4. 診察時の体位について説明できる。 5. 口腔内診察時の基準と選択を説明できる。 6. 全身診察所見について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：過去の触診・体位に関する国家試験問題の確認 ・事前学習時間：10分 ・事後学修項目：触診・体位に関する特徴的所見の整理 ・事後学修時間：15分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 9 診察の基本 イ 基本主義 a 視診、触診、打診、聴診</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項 9 診察の基本 イ 基本主義 b 患者の体位 (立位、座位、半座位、仰臥位、側臥位) c 術者の姿勢・位置</p> | *岡本 康裕 |
| 2021/07/21 (水) 1時限 09:00～09:50 | 必修・領域A：治療の基礎・基本手技 (全部床義歯学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>無歯顎者に対する歯の欠損によって生じる障害の治療を適切に行えるようになるために、基本的術式および関連知識を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全部床義歯治療の基本操作を説明できる。 2. 全部床義歯治療に必要な器具・器材の使用方法を述べることができる。 3. 全部床義歯治療に必要な技工操作を説明できる。 4. 無歯顎者の口腔環境の評価について説明できる。 5. 無歯顎者の口腔機能 (咀嚼機能、摂食嚥下機能、構音機能) の回復について説明できる。 6. 義歯装着後の口腔機能管理について説明できる。 | *五十嵐 憲太郎 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|----------|
| 2021/07/21 (水) 1時限 09:00～09:50 | 必修・領域A：治療の基礎・基本手技 (全部床義歯学) | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：治療の手順 準備学習項目：(60分) 事後学習項目：配付資料と教科書を用いながら復習し必修対策を行う。 事後学習項目：(60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：教科書および配付資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 3 印象用材料 ウ 機能印象材 エ 印象用トレー オ 合採得用材料 6 歯冠修復・義歯用材料 オ 人工歯 カ 義歯床用裏装材 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 シ 口腔機能のリハビリテーション a 機能の回復 (咀嚼機能、摂食嚥下機能、構音機能) b 口腔機能管理 ス 患者管理の基本 a 口腔環境の評価 (口腔清掃状態、補綴装置の清掃状態、残存歯の状態、口腔粘膜の状態、咬合状態、補綴装置の適合状態、顎堤の状態、唾液、味覚)</p> | *五十嵐 憲太郎 |
| 2021/07/21 (水) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、総論Ⅵ：病因、病態 (全部床義歯学) | <p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、咀嚼、嚥下、発音とこれらの障害、および材料学的な全部床義歯補綴の理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 構音について説明できる。 2. 無歯顎者の咀嚼障害、嚥下障害、発音障害について説明することができる。 3. 全部床義歯の構成要素を列挙できる。 4. 全部床義歯の維持、支持および安定について説明することができる。 5. 全部床義歯装着者にみられる主要症候を説明することができる。 6. 義歯床用材料を説明できる。 7. 診察における高齢者への対応について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数 無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題 2時間 事後学習項目とそれに要する時間数 上記および配布プリント 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ケ 口腔機能障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 f 発声・構音・発語検査 c 咀嚼機能検査 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 オ 人工歯 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 エ 発声、構音</p> | *五十嵐 憲太郎 |
| 2021/07/21 (水) 3時限 11:00～11:50 | 総論-Ⅱ-8-エ-b 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢・人体の成長・発達・加齢・加齢・老化による口腔・ | <p>【授業の一般目標】 総義歯患者の診断と治療ができるために、加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者の病因と病態について述べるができる。</p> | *中田 浩史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|---|--------|
| 2021/07/21 (水) 3時限 11:00～11:50 | 顎顔面の変化・機能的変化(全部床義歯) | <p>2. 加齢に伴う顎口腔系の変化について述べるができる。</p> <p>3. 総義歯の維持、安定、支持について述べるができる。</p> <p>4. 総義歯治療に必要な解剖学的特徴を述べるができる。</p> <p>5. 咀嚼障害と嚥下障害について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：医歯薬出版 無歯顎補綴治療学第三版 P1-39頁 ・準備学修時間： 60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体： 配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 8 人体の成長・発達・加齢 エ 加齢・老化による口腔・顎顔面の変化 b 機能的変化</p> | *中田 浩史 |
| 2021/07/21 (水) 4時限 13:00～13:50 | 必修2診療記録と診療情報&必修9医療面接(歯科総合診療学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な診療をおこなうために、診療録、診療情報および医療面接に関する基本的事項を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. SOAPについて説明できる。 3. 医療面接に意義・目的について説明できる。 4. 医療面接のマナーについて説明できる。 5. 感情面の対応について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：診療録、診療情報の管理と記録および医療面接のマナー、聴取事項について学修する。 ・事前学習時間：50分 ・事後学習項目：授業時配布プリントの復習 ・事後学習時間：50分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング無し・講義資料およびスライド</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的(医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) b マナー(身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> | *多田 充裕 |
| 2021/07/21 (水) 5時限 14:00～14:50 | 総論VI：口臭検査、唾液検査、味覚検査(歯科総合診療学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な臨床診断を行うため、口腔検査、唾液検査、味覚検査について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 唾液検査について説明できる。 3. 味覚検査について説明できる。 4. 口臭検査について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：唾液検査、味覚検査、口臭検査の概要について理解する。 ・事前学習時間：50分 ・事後学習項目：授業時配布プリントの復習 ・事後学習時間：50分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング無し・講義資料およびスライド</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論</p> | *多田 充裕 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|---------|
| 2021/07/21 (水) 5時限 14:00～14:50 | 総論VI：口臭検査、唾液検査、味覚検査（歯科総合診療学） | <p>総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 f 口臭検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 d 唾液・唾液腺検査 h 感覚（味覚、体性感覚）の検査</p> | *多田 充裕 |
| 2021/07/26 (月) 1時限 09:00～09:50 | 根拠に基づいた医療<EBM> | <p>【授業の一般目標】 根拠に基づいた医療を行うためにEBMについての知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根拠に基づいた医療について説明できる。 3. EBMの手順を説明できる。 4. 問題の定式化について説明できる。 5. 科学的根拠について説明できる。 6. 診療ガイドラインについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：Minds医療情報サービスのウェブサイト を閲覧しておいてください。 minds.jcqh.or.jp/ 1時間 事後学修項目とそれに要する時間数 講義資料の見直し 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 診察 1 診察総論 オ 根拠に基づいた医療<EBM></p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療（EBM） a 意義、患者への適用 b システマティックレビュー、メタ分析<メタアナリシス> c 診療ガイドライン</p> | *大久保 昌和 |
| 2021/07/26 (月) 2時限 10:00～10:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技（可撤性部分床義歯学） | <p>【授業の一般目標】 歯の欠損による障害の治療を可撤性部分床義歯により行うときの基本的術式を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 可撤性部分床義歯の意義を述べることができる。 3. 可撤性部分床義歯の製作過程を説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：可撤性局部床義歯の目的について 1時間程度 事後学習項目：可撤性局部床義歯の製作過程について（日数をアレンジした過程を各自検討する。） 1時間程度</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 ア 治療の基本 a 意義と目標（アウトカム）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> | *飯島 守雄 |
| 2021/07/26 (月) 3時限 11:00～11:50 | 総論X 治療計画 | <p>【授業の一般目標】 歯や周囲組織の欠損により予想される口腔内の変化を理解し、部分床義歯補綴の目的、臨床的意義を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 部分床義歯の治療計画を左右する因子を説明できる</p> | *石井 智浩 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|--------|
| 2021/07/26 (月) 3時限 11:00～11:50 | 総論X 治療計画 | <p>3. 部分床義歯の治療計画を説明できる 4. 歯列の欠損に伴う口腔内の変化を説明できる 5. 部分欠損の分類を説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 総論-VII-1-ア-a, 総論-VII-2-ア-d 事前学習項目 治療計画・欠損に伴う口腔内の変化・部分欠損の分類について60分の事前学習を要する 事後学習項目 治療計画・欠損に伴う口腔内の変化・部分欠損の分類についての国家試験過去問の60分の事後学修を要する 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし、歯学生のパーソナルデンチャー、実践2021局部床義歯学</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 1 治療の基礎 ア 治療計画 a 治療計画の立案・提示</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療</p> | *石井 智浩 |
| 2021/07/26 (月) 4時限 13:00～13:50 | 総論II: 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動と咬合の一般概念を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎運動に関連する頭頸部の筋を列挙できる。 3. 下顎運動に関連する頭頸部の筋の役割を説明できる。 4. 顎関節の構成と役割を説明できる。 5. 下顎運動の理解に必要な基準点、基準線、基準面を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 下顎運動と咬合の一般概念を理解する。 ・準備学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: 配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋 6 口腔・顎顔面の機能 ウ 食物摂取 a 咬合接触、咬合様式</p> | *飯田 崇 |
| 2021/07/26 (月) 5時限 14:00～14:50 | 総論II: 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動と咬合の概念を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎位を列挙して説明できる。 3. 咬頭嵌合位における上下顎機能咬頭の接触部位を説明できる。 4. 作業側、平衡側における下顎頭運動を説明できる。 5. 下顎運動と切歯路、顎路の関連を説明できる。 6. 咬合様式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 下顎運動と咬合の概念を理解する。 ・準備学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> | *飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|--------|
| 2021/07/26 (月) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅱ：歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能（クラウンブリッジ補綴学） | <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 ウ 食物摂取 a 咬合接触、咬合様式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 b 咀嚼筋 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動</p> | *飯田 崇 |
| 2021/07/27 (火) 1時限 09:00～09:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために、臨床における歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。 3. 支台歯形成に必要な器材を説明できる。 4. 歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。 5. プロビジョナルレストレーションの製作法と必要な器材を説明できる。 6. クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着に必要な器材を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、診療のステップを確認する。 ・準備学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 a 基本的性質</p> | *内堀 聡史 |
| 2021/07/27 (火) 2時限 10:00～10:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために、技工操作における歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯冠補綴治療に必要な技工操作を説明できる。 3. 歯冠補綴治療に必要な感染対策を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版。クラウンブリッジ補綴学実習指針により、歯冠補綴装置の作製法を確認する。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> | *内堀 聡史 |
| 2021/07/27 (火) 3時限 | 必修12：治療の基礎・基本手技（ク | <p>【授業の一般目標】 クラウンの種類、ブリッジの種類について理解する。</p> | *内堀 聡史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|---|--------|
| 11:00~11:50 | ラウンブリッジ補綴学) | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンの種類について説明できる。 3. ブリッジの種類について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版。 ・事前学修時間：1時間 ・事後学修項目：授業の内容を理解する。 ・事後学修時間：1時間 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2 治療の基礎・基本手技 <p>ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置</p> <p>e 歯の欠損の治療</p> | *内堀 聡史 |
| 2021/07/27 (火) 4時限 13:00~13:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>クラウンブリッジの要件、ブリッジの構成要素、ブリッジの設計について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンブリッジの要件を説明できる。 3. ブリッジの構成要素を説明できる。 4. ブリッジの設計について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2 治療の基礎・基本手技 <p>ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置</p> <p>b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2 治療の基礎・基本手技 <p>ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置</p> <p>e 歯の欠損の治療</p> | *岩田 好弘 |
| 2021/07/27 (火) 5時限 14:00~14:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 ・事前学習時間：30分 ・事後学習項目：授業で配布した資料を基に教科書を用いて知識の構築を図る。 ・事後学習時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2 治療の基礎・基本手技 <p>ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置</p> <p>b 歯の硬組織疾患の治療</p> | *岩田 好弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|--------|
| 2021/07/27 (火) 5時限 14:00～14:50 | 必修12:治療の基礎・基本手技(クラウンブリッジ補綴学) | <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 e 歯の欠損の治療</p> | *岩田 好弘 |
| 2021/07/28 (水) 1時限 09:00～09:50 | 総論VI:検査(クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 口腔機能の適切な評価を行うために、客観的評価として用いる顎口腔機能に関する検査方法を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯列・咬合検査を説明できる。 3.下顎位検査を説明できる。 4.下顎運動検査を説明できる。 5.顎関節・筋機能検査について説明できる。 6.舌運動・舌圧検査を説明できる。 7.咀嚼機能検査を説明できる。 8.咬合力検査を説明できる。 9.嚥下機能検査を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:客観的評価として用いる顎口腔機能に関する検査方法を理解する。 準備学修時間:1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 a 下顎運動検査</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 b 顎関節・筋機能検査 c 咀嚼機能検査 e 嚥下機能検査</p> | *飯田 崇 |
| 2021/07/28 (水) 2時限 10:00～10:50 | 必修6:人体の発生・成長・発達・加齢(クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化と歯の喪失に伴う変化に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.加齢による歯・口腔・顎・顔面の形態的变化を説明できる。 3.加齢による歯・口腔・顎・顔面の機能的変化を説明できる。 4.歯の喪失に伴う形態的、機能的変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化と歯の喪失に伴う変化に関する知識を修得する。 準備学修時間:1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 エ 加齢、老化 b 高齢者の生理的特徴</p> | *飯田 崇 |
| 2021/07/28 (水) 3時限 11:00～11:50 | 必修7:主要な症候&必修10:検査の基本(クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、加齢による歯・口腔・顎・顔面の症候および検査に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯列・咬合の症候を説明できる。 3.顎関節・筋の症候を説明できる。</p> | *飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|-------|
| 2021/07/28 (水) 3時限 11:00～11:50 | 必修7: 主要な症候&必修10: 検査の基本 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 歯・口腔・顎・顔面の症候および検査に関する知識を修得する。 準備学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: 配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 e 咀嚼障害</p> | *飯田 崇 |
| 2021/07/28 (水) 4時限 13:00～13:50 | 総論V: 発生・成長・発達・加齢 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高齢者が罹患しやすい慢性疾患を挙げ説明できる。 3. 加齢・老化による歯・顎・顔面の形態的变化を説明できる。 4. 加齢・老化による歯・顎・顔面の機能的変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 基本的な加齢に伴う生理的、機能的変化を理解する。 準備学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: 配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論V 診察 5 高齢者への対応 イ 機能評価 d 運動機能</p> | *飯田 崇 |
| 2021/07/28 (水) 5時限 14:00～14:50 | 総論VI: 病因、病態 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 口腔顔面領域に発生する有痛性疾患に対応するために、顎・顔面領域の有痛性疾患の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 脳神経系の役割について説明できる。 3. 口腔顔面領域の有痛性疾患について説明できる。 4. 非歯原性歯痛の原因疾患について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 顎・顔面領域の有痛性疾患の特徴を理解する。 準備学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: 配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IV 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ケ 口腔機能障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ク 顔面 カ 顎関節</p> | *飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|---|--------|
| 2021/07/29 (木) 1時限 09:00～09:50 | 必修-4：予防と健康管理・増進 (衛生学) | <p>【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 健康増進と疾病予防について説明できる。 2. 地域保健について説明できる。 3. 母子保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（地域保健、母子保健など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 b 母子保健</p> | 後藤田 宏也 |
| 2021/07/29 (木) 2時限 10:00～10:50 | 必修-4：予防と健康管理・増進 (衛生学) | <p>【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 学校保健について説明できる。 2. 産業保健について説明できる。 3. 成人・高齢者保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（学校保健、産業保健など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 c 学校保健 d 産業保健 e 成人・高齢者保健</p> | 後藤田 宏也 |
| 2021/07/29 (木) 3時限 11:00～11:50 | 必修-4：予防と健康管理・増進 (衛生学) | <p>【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. フッ化物の応用について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（フッ化物応用）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> | 後藤田 宏也 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|--|--------|
| 2021/07/29 (木) 3時限 11:00～11:50 | 必修-4：予防と健康管理・増進 (衛生学) | <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導 c 口腔清掃</p> | 後藤田 宏也 |
| 2021/07/29 (木) 4時限 13:00～13:50 | 必修-4：予防と健康管理・増進 (衛生学) | <p>【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. フッ化物の応用について説明できる。 2. 保健指導について説明できる。 3. 口腔のケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（フッ化物応用、保健指導、口腔ケアなど）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 a フッ化物応用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導 c 口腔清掃</p> | 後藤田 宏也 |
| 2021/07/29 (木) 5時限 14:00～14:50 | 必修-4：予防と健康管理・増進 (衛生学) | <p>【授業の一般目標】 予防と健康管理・増進について習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健指導について説明できる。 2. 口腔清掃について説明できる。 3. 口腔のケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（口腔清掃など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 c 口腔清掃</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段</p> | 後藤田 宏也 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|--------|
| 2021/07/29 (木) 5時限 14:00～14:50 | 必修-4：予防と健康管理・増進(衛生学) | b 保健指導 c 口腔清掃 | 後藤田 宏也 |
| 2021/08/03 (火) 1時限 09:00～09:50 | 必修10：画像検査、総論VI：画像検査(放射線学) | <p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、放射線の作用と性質・エックス線撮影装置、検出器、撮影補助機材・エックス線画像の原理、デジタルシステムについて学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 電離放射線について説明できる。 3. 電磁放射線・粒子放射線について説明できる。 4. エックス線撮影装置およびフィルムの構造について説明できる。 5. エックス線画像の形成について説明できる。 6. 歯科用デジタルエックス線画像診断システムについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：電離放射線、放射線の単位および測定、エックス線撮影装置、検出器、撮影補助機材、エックス線画像の形成、歯科用デジタルエックス線画像診断システムの基本について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：電離放射線、放射線の単位および測定、エックス線撮影装置、検出器、撮影補助機材、エックス線画像の形成、歯科用デジタルエックス線画像診断システムについて説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ア エックス線画像の原理 a 電離放射線</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 b エックス線撮影装置、検出器、撮影補助器材 a 放射線の性質と作用</p> | *村岡 宏隆 |
| 2021/08/03 (火) 2時限 10:00～10:50 | 必修2：社会と歯科医療(薬理学) 総論VII：治療(薬理学) | <p>【授業の一般目標】 治療の基礎を理解するために、薬物の保管・管理、臨床試験に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の管理について説明できる。 2. 臨床試験について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：「薬物の保管・管理、臨床試験」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 d 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 臨床試験・治験と倫理 a 臨床研究、疾学研究の倫理指針 b GCP〈医薬品の臨床試験の実施の基準〉 歯科医学総論 総論VII 治療 8 薬物療法 ウ 疾患に応じた薬物 治療 g 齲蝕予防薬 c 服薬計画・指導</p> | 松本 裕子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|--------|
| 2021/08/03 (火) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅰ：健康管理・増進と予防（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、健康の保持・増進およびライフステージ別の保健・歯科保健について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.健康の保持・増進と予防について説明できる。 2.母子保健と母子歯科保健について説明できる。 3.学校保健と学校歯科保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（母子歯科保健、学校歯科保健など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 a 現状、動向</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 c 母子歯科保健の意義 a 現状、動向 b 学校保健の領域・内容 e 学校歯科保健管理</p> | 後藤田 宏也 |
| 2021/08/03 (火) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅰ：健康管理・増進と予防（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、健康の保持・増進およびライフステージ別の保健・歯科保健について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.産業保健と産業歯科保健について説明できる。 2.高齢者保健と高齢者歯科保健について説明できる。 3.精神保健福祉について説明できる。 4.障害者保健福祉について説明できる。 5.口腔清掃について説明できる。 6.口腔のケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリント（産業歯科保健、高齢者歯科保健など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 a 現状、動向</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ウ 産業保健、産業歯科保健 b 労働安全衛生管理 d 健康診断、事後措置 f 産業歯科保健活動 g 職業性歯科疾患 b 特定健康診査、特定保健指導 a 現状、動向 d 高齢者歯科保健、高齢者の口腔管理 e 日常生活支援事業、介護予防</p> | 後藤田 宏也 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|---|--------|
| 2021/08/03 (火) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅰ：健康管理・増進と予防（衛生学） | a 現状、動向 | 後藤田 宏也 |
| 2021/08/03 (火) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅰ：健康管理・増進と予防（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、感染症対策、環境保健について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 感染症対策について説明できる。 2. 環境保健について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（感染症対策、環境保健など）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 9 環境保健 ア 環境保健対策 b 地球環境の変化・健康影響</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 7 感染症対策 ア 感染症対策と疫学 a 感染症の疫学 b 感染症の予防 c 院内感染対策 9 環境保健 ア 環境保健対策 a 環境要因と健康 c 環境汚染、公害の発生要因・健康影響 d 環境汚染の評価と対策 e 廃棄物処理 f 放射線と健康 g 生活環境と健康</p> | 後藤田 宏也 |
| 2021/08/04 (水) 1時限 09:00～09:50 | 必修 保健・医療と健康増進：国民栄養と食生活・食育指導 | <p>【授業の一般目標】 健康管理・増進とその予防のために栄養と食品保健を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 国民栄養の現状について説明できる。 2. 食事摂取基準について説明できる。 3. 食育について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：国民健康栄養調査結果、食事摂取基準 事前学修時間：60分 事後学修項目：国民健康栄養調査結果、食事摂取基準 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 教科書・資料配布・マルチメディア使用</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 国民栄養と食生活・食育指導 ア 国民栄養と食品保健 a 国民栄養の現状</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 国民栄養と食生活・食育指導 ア 国民栄養と食品保健 b 食事摂取基準</p> | 田口 千恵子 |
| 2021/08/04 (水) 2時限 | 必修 保健・医療と健康増進：国民 | <p>【授業の一般目標】 健康管理・増進とその予防のために栄養と食品保健を学ぶ。</p> | 田口 千恵子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|---------------------|---|--------|
| 10:00～10:50 | 栄養と食生活・食育指導 | <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食育について説明できる。 2. 食生活指針について説明できる。 3. 食の安全性と機能性について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：食生活指針、食育基本法 事前学修時間：60分 事後学修項目：食生活指針、食育基本法 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 教科書・資料配布・マルチメディア使用</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 国民栄養と食生活・食育指導 イ 食育と口腔保健 a 食育基本法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 国民栄養と食生活・食育指導 ア 国民栄養と食品保健 c 食生活指針 b 食の安全性と機能性 c 食の機能と口腔保健</p> | 田口 千恵子 |
| 2021/08/04（水） 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅰ：健康管理・増進と予防（衛生学） | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な健康管理を行うために、歯科疾患の疫学状況について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科疾患実態調査について説明できる。 2. 齲蝕の疫学について説明できる。 3. 歯周疾患の疫学について説明できる。 4. 不正咬合の疫学について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：SBOsについて教科書を確認する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で配布した資料を整理・復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディアと配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 g 歯科集団検診</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 a 歯科領域における統計指標と疫学調査 b 歯周疾患の疫学要因 c 不正咬合の疫学要因</p> | 田口 千恵子 |
| 2021/08/04（水） 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅶ：治療（薬理学） | <p>【授業の一般目標】</p> <p>薬物療法を理解するために、適用方法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適用方法の種類と特徴を説明できる。 2. 薬物の吸収に影響する因子を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・事前学修項目：「適用方法」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> | 松本 裕子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------|--|---------|
| 2021/08/04 (水) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅶ：治療（薬理学） | <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布 <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 b 薬物動態</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 c 薬物動態 a 投与経路と剤形の種類と特徴</p> | 松本 裕子 |
| 2021/08/04 (水) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅶ：治療（薬理学） | <p>【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、薬物動態に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の吸収について説明できる。 2. 薬物の分布について説明できる。 3. 薬物の代謝について説明できる。 4. 薬物の排泄について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「薬物動態」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：確認試験と解説。授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 b 薬物動態</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 c 薬物動態</p> | 松本 裕子 |
| 2021/08/05 (木) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅲ：病因、病態（病理学） | <p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、内因及び外因に関する病理学的知識について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の行動目標とその教授内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいている。 2. 内因について説明できる。 3. 外因について説明できる。 4. 疾病の成立と、内因及び外因の関連性について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： ・6大病変 ・病変ごとの病因 事前学修時間：30分 事後学修項目： ・先天異常・奇形：確認試験及び解説 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態</p> | *宇都宮 忠彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------|--|---------|
| 2021/08/05 (木) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅲ：病因、病態（病理学） | ア 内因、外因 | *宇都宮 忠彦 |
| 2021/08/05 (木) 2時限 10:00～10:50 | 必修10：検査の基本（病理学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医療における検査の基本を理解するために、病理検査（組織診・細胞診）の意義、目的及び方法について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 病理検査の意義・目的について説明できる。 3. 病理組織診の種類について説明できる。 4. 病理組織診の方法について説明できる。 5. 組織診と細胞診の長所・短所について説明できる。 6. 代表的な口腔粘膜疾患の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 組織診・細胞診検査の意義と目的 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 病理組織検査について 2) 細胞診検査について ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディア、アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 キ 病理学検査 b 組織診</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 1 口腔粘膜疾患 10 検査・臨床判断の基本 キ 病理学検査 a 細胞診</p> | *宇都宮 忠彦 |
| 2021/08/05 (木) 3時限 11:00～11:50 | 必修10：検査の基本（病理学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医療における検査の基本を理解するために、病理検査（組織診・細胞診）の意義、目的及び方法について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 細胞診の種類について説明できる。 3. 細胞診の方法について説明できる。 4. 組織診と細胞診の長所・短所について説明できる。 5. 代表的な口腔粘膜疾患の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 組織診・細胞診検査の意義と目的 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 病理組織検査について 2) 細胞診検査について ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディア、アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 キ 病理学検査 a 細胞診</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 1 口腔粘膜疾患 10 検査・臨床判断の基本 キ 病理学検査 b 組織診</p> | *宇都宮 忠彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|--|---------|
| 2021/08/05 (木) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅶ：治療（薬理学） | <p>【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、薬物投与上の注意に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.薬力学的相互作用を説明できる。 2.薬物動態学的相互作用を説明できる。 3.禁忌、小児・妊婦・高齢者の適用上の注意を列挙し、その特徴を説明できる。 4.口腔・顎顔面領域に現れる薬物の副作用を列挙し、その特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「薬物適用上の注意」「薬物相互作用」に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 イ 用法と用量 e 薬物適用の注意</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 イ 用法と用量 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策 c 抗感染症薬 d 抗腫瘍薬 必修の基本的事項 8 主要な症候 エ 薬物に関連する口腔・顎顔面領域の症候 a 歯の変色、歯肉肥大<歯肉増殖>、多形{滲出性}紅斑、抗腫瘍薬による口内炎、菌交代現象<菌交代症>に伴う症候、顎骨壊死、唾液分泌量減少・増加、味覚異常</p> | 松本 裕子 |
| 2021/08/05 (木) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅶ：治療（薬理学） | <p>【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、臨床上繁用される薬物に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.循環器系に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。 2.呼吸器系に作用する薬物を列挙し、その特徴を説明できる。 3.全身疾患を有する患者の適用上の注意を列挙し、説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：課題別講義時に配布した講義プリント（薬物の作用部位・作用機序）を復習する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ウ 疾患に応じた薬物 治療 a 鎮痛薬 b 抗炎症薬 e 代謝改善薬、ビタミン f 止血薬、抗血栓薬</p> | 松本 裕子 |
| 2021/08/06 (金) 1時限 09:00～09:50 | 必修14：主要な疾患と障害の病因・病態（病理学） | <p>【授業の一般目標】 主要な疾患と障害の病因・病態を理解するために、歯・歯髄・歯周組織疾患の概念及び基本的特徴について学修する。</p> | *宇都宮 忠彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|---------|
| 2021/08/06 (金) 1時限 09:00～09:50 | 必修14: 主要な疾患と障害の病因・病態 (病理学) | <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 歯の硬組織疾患の病理学的特徴について説明できる。 3. 歯髄疾患の病理学的特徴について説明できる。 4. 根尖歯周組織疾患の病理学的特徴について説明できる。 5. 歯周病の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 1) 歯と歯周組織の構造、炎症の経過と創傷治癒過程 ・事前学修時間: 30分 事後学修項目: 1) 歯の実質欠損の病理学的特徴 2) 歯髄疾患の病理学的特徴 3) 根尖性歯周疾患の病理学的特徴 4) 辺縁性歯周疾患の病理学的特徴 ・事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディア、アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患</p> | *宇都宮 忠彦 |
| 2021/08/06 (金) 2時限 10:00～10:50 | 総論 I 保健医療論 (歯科法医学) | <p>【授業の一般目標】 歯科法医学を理解するために、わが国における死体解剖、死因究明制度及び死後変化について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. わが国における死体解剖について根拠となる法律とその目的について説明できる。 2. 死因究明に関する2法における歯科医師の在り方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 1) 死体解剖の制度 ・事前学修時間: 30分 事後学修項目: 1) わが国の死体解剖に関する法規・目的 2) 死因究明に関する法規と歯科医の在り方 ・事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディアの活用、アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 3 歯科法医学 ア 死因の究明 a 死体解剖と死因究明制度</p> | 福井 謙二 |
| 2021/08/06 (金) 3時限 11:00～11:50 | 総論 I 保健医療論 (歯科法医学) | <p>【授業の一般目標】 歯科法医学を理解するために、死体に発現する全ての変化である死後変化 (死体現象) および歯科法医学的な個人識別、身元確認について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 死体現象の法医学的意義について説明できる。 2. 早期死体現象について説明できる。 3. 晩期死体現象について説明できる。 4. 特殊死体現象について説明できる。 5. 死体の損壊について説明できる。 6. 身元不明死体の個人識別について説明できる。 7. 個人識別を目的としたデンタルチャートについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 1) 死体現象の概要 ・事前学修時間: 30分 事後学修項目: 1) 死体現象の法医学的意義について 2) 早期死体現象について</p> | 福井 謙二 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|-------|
| 2021/08/06 (金) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅰ保健医療論 (歯科法医学) | <p>3) 晩期死体現象について 4) 特殊死体現象について 5) 死体の損壊について 6) 身元不明死体の個人識別について 7) 個人識別を目的としたデンタルチャートについて ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディアの活用、アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 3 歯科法医学 ア 死因の究明 b 死後変化</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 3 歯科法医学 ア 死因の究明 c 個人識別、身元確認</p> | 福井 謙二 |
| 2021/08/06 (金) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅶ：治療（薬理学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基礎を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物療法の種類とその特徴について説明できる。 2. 薬効に影響を及ぼす因子を列挙できる。 3. 薬物の作用部位・作用機序について説明できる。 4. 薬物の用量と生体反応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬物療法・薬理作用 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：演習問題に関連する知識（薬物療法の種類、薬効に影響を及ぼす因子、薬物の用量と生体反応について）を身につける。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（ミニッツペーパー） 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効</p> | 三枝 禎 |
| 2021/08/06 (金) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅶ：治療（薬理学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として知っておくべき薬物療法の基礎を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の運用が起す生体現象とその発現機構を説明できる。 2. 代表的な薬物の副作用・有害作用、薬物相互作用を挙げられる。 3. 代表的な鎮痛薬を挙げ、その作用機序を説明できる。 4. 代表的な抗炎症薬を挙げ、その作用機序を説明できる。 5. 薬物の保管・管理の留意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬物療法・薬理作用 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：演習問題に関連する知識（薬理作用の機序、副作用・有害作用、薬物相互作用、鎮痛薬、抗炎症薬について）を身につける。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（ミニッツペーパー） 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択</p> | 三枝 禎 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|--|---------|
| 2021/08/06 (金) 5時限 14:00~14:50 | 総論Ⅶ：治療（薬理学） | a 薬物療法の種類と特徴 | 三枝 禎 |
| 2021/08/07 (土) 1時限 09:00~09:50 | 必修7：主要な疾患と障害の病因・病態（病理学） | <p>【授業の一般目標】 主要な疾患と障害の病因・病態を理解するために、顎骨の炎症性疾患及び腫瘍類似疾患の病理学的特徴について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 骨髄炎の病理学的特徴について説明できる。 3. 顎骨に生じる腫瘍・腫瘍類似病変の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 顎骨の構造、炎症の経過と創傷治癒過程 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 骨髄炎の病理学的特徴 2) 顎骨の非腫瘍性疾患・腫瘍類似疾患の病理学的特徴 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディア、アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 k 顎関節疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 e 顎骨・顎関節の疾患</p> | *宇都宮 忠彦 |
| 2021/08/07 (土) 2時限 10:00~10:50 | 必修7：主要な疾患と障害の病因・病態（病理学） | <p>【授業の一般目標】 病因、病態を理解するために、歯源性腫瘍と嚢胞の病理学的特徴について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 歯源性腫瘍を病理組織学的に分類できる。 3. 上皮性歯源性腫瘍の病理学的特徴について説明できる。 4. 混合性歯源性腫瘍の病理学的特徴について説明できる。 5. 非上皮性歯源性腫瘍の病理学的特徴について説明できる。 6. 嚢胞の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 歯源性腫瘍の組織学的分類 2) 嚢胞の組織学的分類 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 歯源性腫瘍の分類 2) 歯源性腫瘍の病理学的特徴 3) 嚢胞の病理学的特徴 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディア、アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 j 腫瘍、腫瘍類似疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 i 嚢胞（歯源性、非歯源性） 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 e 顎骨・顎関節の疾患</p> | *宇都宮 忠彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--|---------|
| 2021/08/07 (土) 3時限 11:00~11:50 | 総論Ⅲ：病因、病態（病理学） | <p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、唾液腺腫瘍の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 唾液腺腫瘍を病理組織学的に分類できる。 3. 良性唾液腺腫瘍の病理学的特徴を説明できる。 4. 悪性唾液腺腫瘍の病理学的特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 唾液腺腫瘍の病理組織分類 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 唾液腺腫瘍の分類 2) 唾液腺腫瘍の病理学的特徴 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディア、アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 f 唾液腺の疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 f 唾液腺の疾患 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 j 腫瘍、腫瘍類似疾患</p> | *宇都宮 忠彦 |
| 2021/08/10 (火) 1時限 09:00~09:50 | 必修10：画像検査、 総論VI：画像検査 (放射線学) | <p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、画像検査における医療情報、医療放射線被曝の防護と管理について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 医療情報システムについて説明できる。 3. 放射線の人体への影響について説明できる。 4. 線量単位について説明できる。 5. 放射線防護と管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：画像検査における医療情報、医療放射線被曝の防護と管理の基本について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：画像検査における医療情報、医療放射線被曝の防護と管理について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 イ 画像検査における医療情報 a 医療画像システム<PACS></p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 c 放射線の防護・管理 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ウ 医療放射線被曝の防護と管理 a 正当化、最適化、線量限度 b 患者と医療従事者の放射線防護</p> | *村岡 宏隆 |
| 2021/08/10 (火) | 必修10：画像検査、 | 【授業の一般目標】 | *村岡 宏隆 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--|--------|
| 2時限 10:00～10:50 | 総論VI：画像検査 (放射線学) | <p>将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、エックス線撮影（口内法、パノラマエックス線検査、口外法撮影）、CT（単純）、CBCTについて学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口内法、パノラマエックス線検査の撮影法、原理について説明できる。 3. 口外法撮影の種類、原理について説明できる。 4. CTの原理、特徴、適応について説明できる。 5. CTの画像解剖について説明できる。 6. CBCTの原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口内法、パノラマエックス線検査、口外法撮影、CT、CBCTについて説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：口内法、パノラマエックス線検査、口外法撮影、CT、CBCTの原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影（口内法、パノラマエックス線検査）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査 c パノラマエックス線検査 d 顎顔面頭蓋部エックス線検査 a 原理、特徴、適応</p> | *村岡 宏隆 |
| 2021/08/10（火） 3時限 11:00～11:50 | 必修10：画像検査、 総論VI：画像検査 (放射線学) | <p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、MRI、核医学検査について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. MRIの原理、特徴、適応について説明できる。 3. 核医学検査（シンチグラフィ、PET）の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：MRI、核医学検査について説明できる。 事前準備学修時間：約30分 事後学修項目：MRI、核医学検査の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体；プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 キ シンチグラフィ a 原理、特徴、適応</p> | *村岡 宏隆 |
| 2021/08/10（火） 4時限 13:00～13:50 | 必修10：画像検査、 総論VI：画像検査 (放射線学) | <p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、超音波検査、各種造影検査について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 超音波検査の原理、特徴、適応について説明できる。 3. 造影検査（エックス線検査、CT、MRI）の原理、特徴、適応について説明できる。</p> | *村岡 宏隆 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|--------|
| 2021/08/10 (火) 4時限 13:00～13:50 | 必修10:画像検査、 総論VI:画像検査 (放射線学) | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:超音波検査、造影検査について説明できる。 事前準備学修時間:約30分 事後学修項目:超音波検査、造影検査の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間:約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体;プリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ケ 画像検査の安全管理 b 造影剤と副作用</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT(単純、造影) 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> | *村岡 宏隆 |
| 2021/08/10 (火) 5時限 14:00～14:50 | 必修10:画像検査、 総論VI:画像検査 (放射線学) | <p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、画像の鑑別診断、放射線治療の生物学的・物理学的基礎、放射線治療について学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.画像の鑑別診断について説明できる。 3.放射線治療の生物学的・物理学的基礎について説明できる。 4.口腔領域の放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:画像の鑑別診断、放射線治療の生物学的・物理学的基礎、放射線治療について説明できる。 事前準備学修時間:約30分 事後学修項目:画像の鑑別診断、放射線治療の生物学的・物理学的基礎、口腔領域の放射線治療の原理、特徴、適応について説明できる。 事後準備学修時間:約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体;プリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VII 治療 7 放射線治療 ア 放射線治療の生物学的・物理学的基礎 a 放射線感受性、生物学的効果、放射線の治療効果 b 種類、適応、特徴 a 有害反応の種類と特徴 b 有害反応に対する口腔管理</p> | *村岡 宏隆 |
| 2021/08/16 (月) 1時限 09:00～09:50 | 必修10:検査・臨床診断の基本(臨床検査学) | <p>【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2.臨床検査の種類を説明することができる。 3.臨床検査の内容を説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:4年次で学修した内容を説明できる。 事前学修時間:約30分 事後学修項目:検査の基本について説明できる。 事後学修時間:約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし</p> | *淵上 真奈 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|----------------------|
| 2021/08/16 (月) 1時限 09:00～09:50 | 必修10：検査・臨床診断の基本（臨床検査学） | <p>学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 ウ 基準値と結果の解釈 a 基準範囲の概念</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 3 検体検査 ア 検体検査 b 血液学検査 歯科医学各論 各論III 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p> | * 湖上 真奈 |
| 2021/08/16 (月) 2時限 10:00～10:50 | 必修8：主要な症候（口腔外科） | <p>【授業の一般目標】 顎口腔領域にあらわれる主要な症候を説明できるようにするために学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身疾患に関連して生じる口腔の症候を説明できる。 3. 口腔粘膜にあらわれる症候を説明できる。 4. 顎骨にあらわれる症候を説明できる。 5. 顎関節に生じる症候を説明できる。 6. 顔面・リンパ節に生じる症候を説明できる。 7. 唾液腺にあらわれる症候を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学、全般 ・準備学修時間：60分 ・事後学習項目：口腔の主要症候についての授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 主要な症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 a 一般的症候（疼痛、腫脹、腫瘍、色調の変化、熱感、出血、瘻、硬さの異常、触感の異常、機能障害（開口障害など））</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 主要な症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 f 口腔粘膜の症候 g 顎骨の症候（形態の異常） h 顎関節の症候（関節痛、関節雑音、運動障害） j リンパ節の症候 k 唾液腺の症候</p> | * 西村 均 |
| 2021/08/16 (月) 3時限 11:00～11:50 | 必修10：臨床疫学的指標、総論I：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化を分析するために必要な疫学と調査の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 疫学の概念について説明できる。 3. 疫学指標について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：SBOsについて3年次～5年次で学習した医療統計学および疫学の資料の復習。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料の復習。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> | * 五十嵐 憲太郎 * 有川 量崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------------------|
| 2021/08/16 (月) 3時限 11:00～11:50 | 必修10：臨床疫学的指標、総論Ⅰ：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学） | 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 a 疫学の概念 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療（EBM） d 臨床疫学的指標（アウトカム、リスク比、オッズ比） | *五十嵐 憲太郎 *有川 量崇 |
| 2021/08/16 (月) 4時限 13:00～13:50 | 必修10：臨床疫学的指標、総論Ⅰ：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学） | 【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化を分析するために必要な疫学と調査の知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 観察研究、介入研究、臨床疫学について説明できる。 3. 因果関係の成立について説明できる。 4. 臨床疫学的指標（アウトカム、リスク比、オッズ比）について説明できる。 5. 歯科集団検診について理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年次～5年次で学習した医療統計学および疫学の資料の復習。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料の復習。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 d 因果関係の成立 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 e 観察研究、介入研究 f 臨床疫学 g 歯科集団検診 | *五十嵐 憲太郎 *有川 量崇 |
| 2021/08/16 (月) 5時限 14:00～14:50 | 必修10：臨床疫学的指標、総論Ⅰ：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学） | 【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化を分析するために必要な疫学と調査の知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。」 2. 統計解析について説明できる。 3. 歯科領域における統計指標について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：3年次～5年次で学習した医療統計学および疫学の資料の復習。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料の復習。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 c 統計解析 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 | *五十嵐 憲太郎 *有川 量崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--------------------|
| 2021/08/16 (月) 5時限 14:00～14:50 | 必修10：臨床疫学的指標、総論Ⅰ：保健・医療と健康増進、疫学と調査（衛生学） | a 歯科領域における統計指標と疫学調査 | *五十嵐 憲太郎 *有川 量崇 |
| 2021/08/17 (火) 1時限 09:00～09:50 | 必修2：社会と歯科医療、総論Ⅰ：保健の保持・増進と社会保障の仕組み（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景を説明できる。 3. 疾病・障害の概念・構造を説明できる。 4. 国際生活機能分類（ICF）を理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容を整理・復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 a 疾病・障害の概念・構造（社会的関わり）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 b QOL〈quality of life〉 c リハビリテーションの理念 d ノーマライゼーション、バリアフリー e 患者・障害者の心理と態度 f 国際生活機能分類〈ICF〉、国際障害分類〈ICIDH〉 g 疾病構造、健康格差</p> | *五十嵐 憲太郎 *有川 量崇 |
| 2021/08/17 (火) 2時限 10:00～10:50 | 必修2：社会と歯科医療、総論Ⅰ：保健の保持・増進と社会保障の仕組み（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法・制度を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 介護予防、生活支援について説明できる。 3. 地域包括ケアシステムについて説明できる。 4. 高齢者歯科保健の動向について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容を整理・復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 プリント演習</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み オ 地域包括ケアシステム a 医療と介護の連携</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み オ 地域包括ケアシステム b 介護予防、生活支援 c 地域包括支援センター 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 オ 高齢者保健、高齢者歯科保健 a 現状、動向 b 高齢者の特性 c QOL〈quality of life〉、日常生活動作〈ADL〉 d 高齢者歯科保健、高齢者の口腔管理 e 日常生活支援事業、介護予防</p> | *五十嵐 憲太郎 *有川 量崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--------|
| 2021/08/17 (火) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅶ 治療：4. 手術・周術期の管理、麻酔（歯科麻酔学） | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、局所麻酔薬の種類、特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 局所麻酔薬の作用機序を説明することができる。 3. 局所麻酔薬の種類を説明することができる。 4. 局所麻酔薬中毒の原因と対処法について説明することができる。 5. 血管収縮薬の添加目的を説明することができる。 6. 血管収縮薬の種類を説明することができる。 7. 血管収縮薬の薬物相互作用について説明することができる。 8. アドレナリン過敏症の原因と対処法について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学「13. 局所麻酔法」。 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 a 局所麻酔</p> | *下坂 典立 |
| 2021/08/17 (火) 4時限 13:00～13:50 | 「総論Ⅶ：4. 手術・周術期の管理、麻酔」、「各論Ⅲ：4. ソ、歯科における全身的偶発症とその対応」（歯科麻酔学） | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、全身的偶発症、特に局所麻酔施行時に発症しやすい偶発症とその対応、予防について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 局所麻酔薬（リドカイン）中毒について説明することができる。 3. 局所麻酔薬中毒の対応について説明することができる。 4. メトヘモグロビン血症の発症機序について説明することができる。 5. メトヘモグロビン血症発症時の対応について説明することができる。 6. アドレナリン過敏症の発症機序について説明することができる。 7. アドレナリン過敏症発症時の対応について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「15. 歯科治療における全身的偶発症」。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライドおよび講義中記載した内容。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 a 局所麻酔</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 a 血管迷走神経反射</p> | *下坂 典立 |
| 2021/08/17 (火) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅶ：治療（歯科麻酔学）、精神鎮静法（笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法）。 | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、精神鎮静法の実際について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 精神鎮静法の概念について説明することができる。 3. 笑気吸入鎮静法について説明することができる。 4. 笑気（亜酸化窒素）について説明することができる。 5. 静脈内鎮静法について説明することができる。 6. 静脈内鎮静法で使用する薬物について説明することができる。 7. 静脈内鎮静法時の呼吸抑制について、その原因と対応について説明することができる。 8. 静脈麻酔について説明することができる。</p> | *下坂 典立 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|---|--------|
| 2021/08/17 (火) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅶ：治療（歯科麻酔学）、精神鎮静法（笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法）。 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「12. 精神鎮静法」。</p> <p>事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。</p> <p>学修媒体等：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 d 精神鎮静法</p> | *下坂 典立 |
| 2021/08/18 (水) 1時限 09:00～09:50 | 必修2：社会と歯科医療（歯科麻酔学） | <p>【授業の一般目標】 安全で適切な診療を行うために、医療事故の防止について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 患者の安全管理について説明することができる。 3. 医療者の安全管理について説明することができる。 4. ヒヤリハットについて説明することができる。 5. アクシデント・インシデントレポートについて説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「17. 医療安全管理」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療事故の防止 d 医療者の安全管理</p> | *山口 秀紀 |
| 2021/08/18 (水) 2時限 10:00～10:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技（歯科麻酔学） | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な診療を行うために、注意すべき腎疾患および内分沁疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 腎機能低下について説明することができる。 3. 糖尿病の病態について説明することができる。 4. 糖尿病治療薬内服患者の注意点について説明することができる。 5. 糖尿病の合併症とその対応について説明することができる。 6. 腎機能低下について説明することができる。 7. 腎機能低下患者の与薬時の注意点について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4. 管理上問題となる疾患」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分沁疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）</p> | *山口 秀紀 |
| 2021/08/18 (水) 3時限 11:00～11:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技（歯科麻酔学） | <p>【授業の一般目標】 全身疾患（精神・心身医学的疾患）患者および妊婦に適切に対応できるようにするために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> | *山口 秀紀 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|------------------------|--|--------|
| | 必修12：治療の基礎・基本手技（歯科麻酔学） | <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. うつについて説明することができる。 3. うつ患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 4. 統合失調症について説明することができる。 5. 統合失調症患者の歯科治療上の注意点について説明することができる。 6. 歯科治療にあたり注意すべき精神疾患について説明することができる。 7. 妊婦の身体的特徴について説明することができる。 8. 妊婦の体位管理について説明することができる。 9. 妊婦への与薬時の注意点について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4. 管理上問題となる疾患」。 事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ス 患者管理の基本 b 全身管理に留意すべき疾患・対象（皮膚・粘膜疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器・リンパ系疾患、泌尿器・生殖器疾患、精神疾患、神経疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー性疾患、感染症、小児疾患など）</p> | *山口 秀紀 |
| 2021/08/18（水） 4時限 13:00～13:50 | 必修12：治療の基礎・基本手技（口腔外科） | <p>【授業の一般目標】 安全な歯科治療を行なうために、必要な診療のための基本的知識、技能、診査や検査の解釈を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 膿瘍の処置を説明できる。 3. 膿瘍切開の手順を説明できる。 4. 膿瘍切開の目的を説明できる。 5. 治療の基礎・基本手技を説明できる。 6. 拔牙の術式を説明できる。 7. 拔牙の偶発症を説明できる。 8. 拔牙に必要な器具を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学、手術について ・準備学修時間：60分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分</p> <p>準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学、手術について 準備学修時間：3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 a 拔牙</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 キ 創傷の処置 b 止血 c 縫合 ク 膿瘍の処置 a 穿刺、切開、ドレナージ</p> | *西村 均 |
| 2021/08/18（水） 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅶ 治療（口腔外科） | <p>【授業の一般目標】 顎口腔領域に関連する周術期の管理について説明できるよう学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身管理に留意する疾患を説明できる。 3. 周術期の管理を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎口腔領域治療に関連する周全身疾患について説明できる。</p> | *西村 均 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---|--------|
| 2021/08/18 (水) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅶ 治療 (口腔外科) | 事前学修時間：30分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 b 全身状態の評価 | *西村 均 |
| 2021/08/19 (木) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔－その1 | 【授業の一般目標】 安全に歯科治療を行うために、全身麻酔の実際、特に術前の診察内容および気道管理評価について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身麻酔の概念について説明することができる。 3. 全身麻酔施行前の診察内容について説明することができる。 4. 全身麻酔施行前の診察、特に全身状態の評価について説明することができる。 5. 全身麻酔施行前の診察、特に気道管理評価について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5.全身麻酔法」。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔法 | *下坂 典立 |
| 2021/08/19 (木) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔－その2 | 【授業の一般目標】 安全で適切な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に導入方法および気管挿管について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身麻酔の導入について説明することができる。 3. 急速導入について説明することができる。 4. 緩徐導入について説明することができる。 5. 導入で使用する薬物について説明することができる。 6. 末梢性筋弛緩薬の使用理由について説明することができる。 7. 呼吸管理について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5.全身麻酔法」。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔法 | *下坂 典立 |
| 2021/08/19 (木) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔－その3 | 【授業の一般目標】 安全で適切な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に気管挿管とその方法について説明することができる。 【行動目標（SBOs）】 | *下坂 典立 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|--------|
| 2021/08/19 (木) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔－その3 － | <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 気管挿管について説明することができる。 3. 声門上器具について説明することができる。 4. 挿管困難患者の挿管方法について説明することができる。 5. 全身麻酔管理の維持方法について説明することができる。 6. 維持で使用する薬物について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5. 全身麻酔法」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の 管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔法</p> | *下坂 典立 |
| 2021/08/19 (木) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔－その4 － | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に覚醒方法と全身麻酔合併症、そして体液管理について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身麻酔の覚醒方法について説明することができる。 3. 覚醒時に使用する薬物について説明することができる。 4. 日帰り全身麻酔について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5. 全身麻酔法」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の 管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔法</p> | *下坂 典立 |
| 2021/08/19 (木) 5時限 14:00～14:50 | 総論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、 全身麻酔－その5 － | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、全身麻酔法の実際、特に覚醒方法と全身麻酔合併症、そして体液管理について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身麻酔中の体液管理について説明することができる。 3. 輸血について説明することができる。 4. 全身麻酔の術後管理について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5. 全身麻酔法」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の 管理、麻酔 ウ 麻酔 b 全身麻酔法</p> | *下坂 典立 |
| 2021/08/20 (金) 1時限 | 必修11：初期救急 (歯科麻酔学) | <p>【授業の一般目標】 歯科治療中に発生した心肺停止状態に対応できるようになるために、救急蘇生</p> | *石橋 肇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|--------|
| 09:00～09:50 | 必修11：初期救急 (歯科麻酔学) | <p>法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 意識障害について説明することができる。 3. 意識障害の評価について説明することができる。 4. 一次救命処置 (BLS) について説明することができる。 5. 除細動とその適応について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「16. 救急救命処置」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 初期救急 ア 救急患者の診察 c 意識障害の評価</p> | *石橋 肇 |
| 2021/08/20 (金) 2時限 10:00～10:50 | 必修11：初期救急 (歯科麻酔学) | <p>【授業の一般目標】 歯科治療中に発生した心肺停止に対応できるようになるために、救急蘇生法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 二次救命処置 (ALS) について説明することができる。 3. ALS時の薬物投与経路について説明することができる。 4. ALS時に使用する薬物について説明することができる。 5. 高度な気道確保について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「16. 救急救命処置」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 初期救急 イ 救急処置 b 静脈路確保、酸素療法、救急医薬品</p> | *石橋 肇 |
| 2021/08/20 (金) 3時限 11:00～11:50 | 総論VI・4：生体機能検査；呼吸機能検査 (歯科麻酔学) | <p>【授業の一般目標】 生体機能検査のうち呼吸機能検査について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 呼吸機能検査について説明できる。 3. 換気障害の分類について説明できる。 4. 閉塞性換気障害の病態について説明できる。 5. 拘束性換気障害の病態について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「p25～26、p75～78、」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 4 生体機能検査 ア 臓器機能検査 a 呼吸機能検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論</p> | *鈴木 正敏 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|--------|
| 2021/08/20 (金) 3時限 11:00～11:50 | 総論Ⅵ・4：生体機能検査；呼吸機能検査（歯科麻酔学） | 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 エ 全身管理に留意すべき疾患・対象 b 呼吸器系 | *鈴木 正敏 |
| 2021/08/20 (金) 4時限 13:00～13:50 | 総論Ⅳ・4：全身管理に留意すべき呼吸器疾患（歯科麻酔学） | 【授業の一般目標】 安全に歯科治療を行うために、注意すべき呼吸器疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 呼吸器疾患患者に対する術前の評価法について説明することができる。 3. 歯科治療時に注意すべき呼吸器疾患について挙げ、注意点を説明することができる。 4. 周術期に留意すべき呼吸器疾患と周術期管理について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「管理上問題となる疾患」。 ・事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 6 全身疾患を有する者への対応 ア 留意すべき疾患 a 呼吸器疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 b 全身状態の評価 c 全身的併発症、合併症 f 術後管理 | *鈴木 正敏 |
| 2021/08/25 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患（歯周治療学） | 【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周病の原因、リスクファクター、宿主因子、全身疾患との関わりおよびその特徴と病態を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病のリスクファクターを列挙することができる。 3. 歯周病の宿主因子について説明することができる。 4. 歯周病の環境因子について説明することができる。 5. 歯周病の増悪因子について説明することができる。 6. 歯周病の病態について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周病の原因、リスクファクター、宿主因子、全身疾患との関わりおよびその特徴と病態を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 b 歯肉病変のリスクファクター 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 a 歯肉病変 c 歯周炎 d 歯周炎のリスクファクター e 壊死性歯周疾患 f 合性外傷 g 歯周組織の膿瘍 h 歯肉退縮 i 歯周-歯内病変 | *高井 英樹 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|--------|
| 2021/08/25 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学) | j 歯周疾患と健康の関わり | *高井 英樹 |
| 2021/08/25 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学) | <p>【授業の一般目標】 歯周病を治療するために、歯周基本治療で行う項目の内容を理解し、歯周外科治療が必要な場合は、その適応と術式を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療で行う項目を列挙できる。 3. 歯周基本治療で行う内容について説明できる。 4. 歯周外科治療の種類と適応症について説明できる。 5. 歯周外科の術式と使用器具について説明できる。 6. 歯周組織再生療法について説明できる。 7. 再評価検査の時期と目的を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周治療の流れ、歯周基本治療および外科治療を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 d 口腔清掃指導 e 禁煙指導・支援 a 急性症状を有する歯周疾患への対応 c 合性外傷に対する治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) e 歯周外科治療(歯周形成手術) f 根分岐部病変の治療 g 口腔機能回復治療 h 薬物療法 i メインテナンス、SPT<supportive periodontal therapy></p> | *高井 英樹 |
| 2021/08/25 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学) | <p>【授業の一般目標】 特殊な歯周病、高齢者および全身疾患を有する患者の歯周治療について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 特殊な歯周病の治療について説明できる。 3. 全身疾患を有する患者の歯周治療の注意点について説明できる。 4. 高齢者の歯周治療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：特殊な歯周病、高齢者および全身疾患を有する患者の歯周治療を予習する。 準備学修時間：1時間 事後学習項目：授業時配布プリントの復習 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：メディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 j 全身疾患を有する者の歯周疾患治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 オ 高齢者が有する歯周疾患</p> | *高井 英樹 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|---|--------|
| 2021/08/25 (水) 4時限 13:00~13:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (衛生学) | <p>【授業の一般目標】 健康保持・増進のための歯の硬組織疾患、歯周疾患の予防・管理に関する指標の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 齲蝕の予防効果の評価 2. 初期齲蝕の診断 3. 歯の変色・着色予防 4. 歯周疾患の予防効果の評価</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯の硬組織疾患、歯周疾患の予防・管理について 事前学修時間：60分 事後学修項目：歯の硬組織疾患、歯周疾患の予防・管理について 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書・資料配布・マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 b 齲蝕の予防効果の評価</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 c 初期齲蝕の診断 d フッ化物応用 g 歯の変色・着色予防 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 c 予防効果の評価</p> | 田口 千恵子 |
| 2021/08/25 (水) 5時限 14:00~14:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (衛生学) | <p>【授業の一般目標】 健康管理・増進とその予防のために各ライフステージにおける歯の硬組織疾患、歯周疾患、口腔機能に関する指導について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 摂食機能療法について説明できる。 2. 禁煙指導・支援について説明できる。 3. 口腔機能評価について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：各ライフステージにおける齲蝕・歯周疾患・口腔機能の問題点について 事前学修時間：60分 事後学修項目：各ライフステージにおける齲蝕・歯周疾患・口腔機能の問題点について 事前学修時間：60分 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書・資料配布・マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 4 高齢者等に関連した予防と管理 ア 歯の喪失予防 a 口腔保健指導</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 e 禁煙指導・支援 f 生活習慣指導 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 4 高齢者等に関連した予防と管理 イ フレイル予防のための歯科保健管理 a 口腔衛生管理 b 口腔機能管理 6 摂食嚥下障害への対応(摂食機能療法) イ 代償的アプローチ ウ 環境改善的アプローチ</p> | 田口 千恵子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--------|
| 2021/08/25 (水) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (衛生学) | エ 心理的アプローチ オ 栄養療法 | 田口 千恵子 |
| 2021/08/26 (木) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学) 病 因・病態・症候 | <p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に診断・治療できるようになるために、歯髄・根尖歯周疾患の原因・病態・症候を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯髄・根尖歯周疾患の症候の変化を説明できる。 3. 歯髄・根尖歯周疾患の主訴を説明できる。 4. 歯髄・根尖歯周疾患の検査の意図を説明できる。 5. 歯髄・根尖歯周疾患の検査を選択できる。 6. 歯髄・根尖歯周疾患の診断プロセスを説明できる。 7. 歯髄・根尖歯周疾患の処置方針を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目 歯内療法全般 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし パワーポイントとそのプリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 b 根尖性歯周疾患 c 歯内-歯周疾患 d 歯の外傷 e 内部吸収、歯根外部吸収 f 根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響</p> | *神尾 直人 |
| 2021/08/26 (木) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学) 検 査・治療・外傷歯 の処置 | <p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、歯内療法 の原則、処置法、用いる器具・材料、高齢者に対する配慮、外傷歯の病態と治 療について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯内療法の治療の原則を説明できる。 3. 歯髄・根尖性歯周疾患の処置を選択できる。 4. 歯内療法の器具、材料を選択できる。 5. 歯内療法における高齢者に対する配慮を説明できる。 6. 外傷歯の病態と治療を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 媒体パワーポイント、プリント。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 b 根尖性歯周疾患 c 歯内-歯周疾患 d 歯の外傷 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> | *神尾 直人 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------|
| 2021/08/26 (木) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患 (歯内療法学) 検査・治療・外傷歯の処置 | | *神尾 直人 |
| 2021/08/26 (木) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患 (歯内療法学) 根未完成歯・歯内歯周疾患・外科的歯内療法 | <p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯の歯内療法、再根管治療、歯内一歯周疾患、外科的歯内療法、歯内療法処置の偶発症とその予防、顕微鏡を用いた歯内療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根未完成歯の歯内療法を説明できる。 3. 再根管治療を説明できる。 4. 歯内一歯周疾患の治療を説明できる。 5. 内部吸収・外部吸収の治療を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 パワーポイント プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 c 歯内-歯周疾患 e 内部吸収、歯根外部吸収 g 外科的歯内療法 d 根管処置 f 根未完成歯の治療 j 偶発症と安全対策</p> | *神尾 直人 |
| 2021/08/26 (木) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患 (歯内療法学) 偶発症・顕微鏡による治療 | <p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯の歯内療法、再根管治療、歯内一歯周疾患、外科的歯内療法、歯内療法処置の偶発症とその予防、顕微鏡を用いた歯内療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 内部吸収・外部吸収の治療を説明できる。 3. 外科的歯内療法を説明できる。 4. 歯内療法処置の偶発症とその予防を説明できる。 5. 顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 プリント、パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 c 歯内-歯周疾患 e 内部吸収、歯根外部吸収 g 外科的歯内療法 d 根管処置 f 根未完成歯の治療 j 偶発症と安全対策</p> | *神尾 直人 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|--------|
| 2021/08/26 (木) 5時限 14:00~14:50 | 各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（障害者歯科学） | <p>【授業の一般目標】 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 各症候群の特徴を述べられる。 3. 口腔・顎・顔面に異常を来す症候群について述べられる。 4. 症候群と口腔の特徴について述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事前学習時間 60分 事後学修項目 スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版 該当項目について熟読する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 エ 染色体異常 a Down症候群</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 イ 遺伝性疾患(主に口腔に症状がみられる) a Beckwith-Wiedemann症候群<EMG症候群> b Marfan症候群 g 先天性外胚葉形成不全<先天性 外胚葉異形成症> a Apert症候群<尖頭合指症> b Crouzon症候群 <頭蓋顔面異骨症> c Robin シークエンス<Pierre Robin症候群> d Treacher Collins症候群<下顎顔面異骨症> e 鎖骨頭蓋骨異形成症<鎖骨頭蓋 異骨症> f 第一第二鰓弓症候群 b Turner症候群</p> | *梅澤 幸司 |
| 2021/08/27 (金) 1時限 09:00~09:50 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周疾患（保存修復学）：歯の硬組織疾患 | <p>【授業の一般目標】 齶蝕、非齶蝕性硬組織疾患、変色および象牙質知覚過敏症に対して適切な処置が行えるようになるために、その原因と診断および対処法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. エナメル質齶蝕の特徴と進行について説明できる。 3. 象牙質齶蝕の特徴と進行について説明できる。 4. 根面齶蝕の特徴と進行について説明できる。 5. 高齢者の齶蝕の特徴について説明できる。 6. ICDASについて説明できる。 7. Tooth wear（歯の損耗）による歯の硬組織疾患の種類とその特徴について説明できる。 8. 歯の破折の検査法と診断について説明できる。 9. 歯の変色・着色の原因とその処置方針について説明できる。 10. 象牙質知覚過敏症の特徴とその処置方針について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：エナメル質、象牙質、セメント質の組成と構造について学修しておく。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齶蝕の病因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態</p> | *平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------|
| 2021/08/27 (金) 1時限 09:00~09:50 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・ 歯周疾患（保存修 復学）：歯の硬組 織疾患 | b 齶蝕のリスクファクター c tooth wear<歯の損耗> a 根面齶蝕 b 非齶蝕性硬組織疾患 d 象牙質知覚過敏症 e 歯の変色・着色 f 歯の亀裂・破折 | *平山 聡司 |
| 2021/08/27 (金) 2時限 10:00~10:50 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・ 歯周疾患（保存修 復学）：間接修復 法 | <p>【授業の一般目標】 実質欠損が生じた歯の機能を回復するために、間接修復法に関する適応症、窩洞の具備条件、印象採得、インレー体の作製および装着法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 各種間接修復法の特徴と適応症について説明できる。 3. メタルインレー修復とセラミックインレー修復窩洞の特徴について説明できる。 4. レジンコーティング法の目的とその術式について説明できる。 5. 窩洞形成後の印象採得と仮封について説明できる。 6. セラミックインレー体の作製方法とその特徴について説明できる。 7. インレー体装着時のインレー体内面処理について説明できる。 8. 歯科用セメントの種類とその特徴について説明できる。 9. 間接修復法の前後とその対処法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：間接修復法の窩洞の違いについて理解しておく。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 e 象牙質・歯髄保護法</p> | *平山 聡司 |
| 2021/08/27 (金) 3時限 11:00~11:50 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・ 歯周疾患（保存修 復学）：MI Denti stryと接着修復 | <p>【授業の一般目標】 歯の欠損に対して適切な接着修復を行うために、Minimal Intervention (MI) Dentistryに基づいた窩洞形成法、歯質接着メカニズムおよび接着操作について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. MI Dentistryについて説明できる。 3. コンポジットレジン修復法の特徴と適応症について説明できる。 4. コンポジットレジン修復における歯質接着性について説明できる。 5. 接着修復法の臨床術式と操作上の要点について説明できる。 6. 重合収縮応力の発生とその緩和方法について説明できる。 7. 補修修復に必要な処理材とその術式について説明できる。 8. コンポジットレジン修復後の保全について説明できる。 9. グラスアイオノマーセメント修復の特徴と適応症について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：課題別臨床実習Ⅱで配布した講義資料を確認しておくこと。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論</p> | *平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|----------|
| 2021/08/27 (金) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周疾患（保存修復学）：MI Dentistryと接着修復 | 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 f 補修修復 | * 平山 聡司 |
| 2021/08/27 (金) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学） | <p>【授業の一般目標】 乳歯列期および混合歯列期の治療で用いる矯正装置について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 乳歯列および混合歯列期の治療に用いる矯正装置について述べるができる。 3. 舌側弧線装置の構造および適応症について説明できる。 4. ヘッドギア、チンキャップおよび上顎前方牽引装置の使用目的および作用効果について説明できる。 5. 床矯正装置の種類および使用目的について説明できる。 6. 拡大装置の種類および作用効果について説明できる。 7. 矯正治療前後での計測角の変化について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯列期および混合歯列期の治療で用いる矯正装置について 準備学修項目：（60分） 事後学修項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学修項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布資料、教科書（歯科矯正学第6版：p 215-262）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 イ 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 9 矯正装置 ア 唇舌側弧線装置 a リンガルアーチ<舌側弧線装置> b クワドヘリックス装置 a アクチバトール b バイオネーター c Fränkel装置 d リップバンパー a 合拳上板 b 合斜面板 c スライディングプレート</p> | * 石井 かおり |
| 2021/08/28 (土) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学） | <p>【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために必要な不正咬合の病態および原因について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 不正咬合の先天的原因について説明できる。 3. 不正咬合の後天的（環境的）原因について説明できる。 4. Angle I級、II級、III級不正咬合の特徴を説明できる。 5. 顎顔面頭蓋に変形を生じる先天異常とその特徴を列挙できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：不正咬合の原因、不正咬合の分類、形態的検査、機能的検査について理解しておく。 準備学修時間：60分 事後学修項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 6 不正咬合病因・病態 エ 不正咬合の原因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常</p> | * 根岸 慎一 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|--------|
| 2021/08/28 (土) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 (歯科矯正学) | ア 口腔・顎顔面の先天異常 b 口唇裂・口蓋裂 6 不正咬合病因・病態 イ 不正咬合の種類 ウ 不正咬合の分類 7 不正咬合の診断 ウ 診断 | *根岸 慎一 |
| 2021/08/28 (土) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態 (歯科矯正学) | <p>【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、矯正治療の流れを理解し矯正力と歯の移動について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 矯正治療の流れを説明できる。 3. 矯正力の種類とその特徴を説明できる。 4. 固定について説明できる。 5. 歯の移動様式と生体反応について説明できる。 6. 矯正治療における偶発症を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目 矯正力の種類、作用様式および歯の移動様式、固定の種類について 事前学習時間 60分 事後学修項目 配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習時間 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 8 矯正力と固定 エ 固定</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の診断 ウ 診断 エ 治療計画 8 矯正力と固定 ア 狭義の矯正力 イ 顎整形力 ウ 生体反応</p> | *根岸 慎一 |
| 2021/08/28 (土) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患 (衛生学) | <p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防管理のために用いられる口腔清掃方法、口腔ケアについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔清掃方法について説明できる。 2. 歯磨き剤について説明できる。 3. 口腔ケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科疾患の予防管理のための口腔清掃方法、口腔ケア 事前学修時間：60分 事後学修項目：歯科疾患の予防管理のための口腔清掃方法、口腔ケア 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書、資料配布、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 f 口腔清掃指導</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 e 食生活指導 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 f 生活習慣指導</p> | 田口 千恵子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------|
| 2021/08/28 (土) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (衛生学) | 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 4 高齢者等に関連した予防と管理 ア 歯の喪失予防 a 口腔保健指導 | 田口 千恵子 |
| 2021/08/30 (月) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅰ 成長発育 に関連した疾患・ 病態(小児歯科学) 各論Ⅱ 歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (小児歯科学) | <p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯周疾患、小児の外傷、乳歯の抜歯について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯周疾患について説明できる。 3. 小児の外傷について説明できる。 4. 小児の抜歯について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の歯周疾患、歯の外傷、外科的処置の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>学修媒体：PC、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯 の外傷の処置と経過</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 イ 診察と診断、治療 方針 a スポーツによる歯の外傷の予防 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 a 小児の歯肉病変・歯周炎の特徴 b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 b 乳歯の根尖性歯周疾患と治療</p> | *岡本 京 |
| 2021/08/30 (月) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅰ 成長発育 に関連した疾患・ 病態(小児歯科学) | <p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、口腔粘膜疾患、咬合誘導、小児疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の形成障害について説明できる。 3. 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 4. 小児の咬合誘導について説明できる。 5. 小児疾患・症候群と口腔症状の関連について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の咬合誘導、治療時に留意すべき疾患の項目 準備学修時間：120分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>学修媒体：PC、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 エ 口腔習癖とその対応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 2 歯の異常 ア 数の異常 a 過剰歯 b エナメル質形成不全(症) c 象牙質形成不全(症) 3 口腔・顎顔面の疾患</p> | *岡本 京 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|--------|
| 2021/08/30 (月) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅰ 成長発育 に関連した疾患・ 病態 (小児歯科学) | ア 歯の疾患 b 異所萌出 d 低位乳歯 e Bednarアフタ i Riga-Fede病 a 単純疱疹 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保険(静的咬合誘導) b 保険装置の適応症 | *岡本 京 |
| 2021/08/30 (月) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅱ 成長発育 に関連した疾患・ 病態 (小児歯科学) | 【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の齲蝕と齲蝕予防について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の齲蝕の特徴を説明できる。 3. 小児の齲蝕予防について説明できる。 4. フッ化物の局所応用について説明できる。 5. 小窩裂溝填塞法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の齲蝕の項目。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 c 齲蝕のリスクファクター d フッ化物応用 e 食生活指導 f 口腔清掃指導 | *伊藤 龍朗 |
| 2021/08/30 (月) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅱ 歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (小児歯科学) | 【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯冠修復および歯内療法について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯冠修復について説明できる。 3. 既製金属冠について説明できる。 4. 乳歯の歯内療法について説明できる。 5. 幼若永久歯の歯内療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の歯冠修復、歯内療法の項目 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 a 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 | *伊藤 龍朗 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|-------------------|
| 2021/08/30 (月) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅱ 歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (小児歯科学) | a 乳歯の歯髄疾患と治療 b 乳歯の根尖性歯周疾患と治療 c 幼若永久歯の歯髄疾患と治療 d 幼若永久歯の根尖性歯周疾患と治療 | *伊藤 龍朗 |
| 2021/09/04 (土) 1時限 09:00～09:50 | 各論-IV-5-イ-b 歯質・歯・顎顔面 欠損と機能障害・ 全部床義歯による 治療・臨床操作・ 印象採得 (全部床 義歯) | 【授業の一般目標】 総義歯患者の診断と治療ができるために、総義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 医療面接とインフォームドコンセントについて述べることができる。 2. 総義歯の臨床ステップの概要を理解することができる。 3. 総義歯の治療に用いる印象材の種類と印象方法について述べるすることができる。 4. 作業模型上で行う操作を説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医歯薬出版 無歯顎補綴治療学第三版 ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無し 配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 | *中田 浩史 |
| 2021/09/04 (土) 2時限 10:00～10:50 | 各論-IV-5-イ-c 歯質・歯・顎顔面 欠損と機能障害 (全部床義歯) | 【授業の一般目標】 総義歯患者の診断と治療ができるために、総義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 仮想咬合平面の設定を説明することができる。 2. 垂直的顎の対向関係位の設定を説明することができる。 3. 水平的顎の対向関係位の設定を説明することができる。 4. フェイスボウトランスファーを説明することができる。 5. 咬合器への模型の付着と調整について述べるすることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医歯薬出版 無歯顎補綴治療学第三版 ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無し 配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録 | *中田 浩史 |
| 2021/09/04 (土) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅴ：歯質・歯・ 顎顔面欠損による 障害とその他の口腔 ・顎顔面の機能 障害 (全部床義歯 学) | 【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 全部床義歯の人工歯排列について説明することが切れる。 2. 全部床義歯の咬合様式について説明することができる。 3. 全部床義歯の咬合平衡について説明することができる。 4. 全部床義歯の咬合調整の理論を説明することができる。 5. 歯肉 (歯齦) 形成の意義を説明することができる。 6. 発音機能の診査方法について説明することができる。 7. 蠟 (仮床) 義歯試適の診査項目を列挙し、説明することができる。 8. 義歯の種類を目的により分類し、説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数 無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題 2時間 事後学習項目とそれに要する時間数 上記および配布プリント 2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略 (LS)】 講義 | *河相 安彦 *鈴木 亜沙子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|-------------------|
| 2021/09/04 (土) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅴ：歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎顔面の機能障害（全部床義歯学） | <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 d ろう義歯の試適 e 歯肉形成 f 埋没、重合</p> | *河相 安彦 *鈴木 亜沙子 |
| 2021/09/04 (土) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅴ：歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎顔面の機能障害（全部床義歯学） | <p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の診断と治療ができるようになるために、全部床義歯の治療手順とその理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 全部床義歯装着時の診査項目を列挙し、説明することができる。 2. 全部床義歯のリマウントの目的とその方法について述べることができる。 3. 全部床義歯装着時の患者指導の項目を列挙し、説明することができる。 4. 全部床義歯の短期的および長期的管理について説明することができる。 5. 全部床義歯の術後トラブルを列挙し、説明することができる。 6. 全部床義歯のリラインとリベースについて説明することができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数 無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題 2時間 事後学習項目とそれに用いる時間数 上記および配布プリント 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 g 咬合調整(削合)と仕上げ 8 指導と管理 イ 補綴装置に対する指導 b 残存組織の変化とその対応 a ホームケア、プロフェッショナルケア c 咬合の変化とその対応 e 補綴装置の破損とその対応 d 機能低下とその対応</p> | *河相 安彦 *鈴木 亜沙子 |
| 2021/09/06 (月) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（局部床義歯学） | <p>【授業の一般目標】 咬合支持の喪失による咬合・咀嚼障害の診断と治療ができるようになるために、部分床義歯のフレームワーク作製方法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. サベイングの目的について説明することができる。 3. サベイング、設計線の記入について説明することができる。 4. フレームワークの製作方法を説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニックの最新版に目を通しておいください 1時間 事後学修項目とそれに要する時間数：講義資料の見直し 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療</p> | *伊藤 誠康 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|---------|
| 2021/09/06 (月) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (局部床義歯学) | ウ 技工操作 d サベイング、設計線の記入 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作 e フレームワークの製作 | *伊藤 誠康 |
| 2021/09/06 (月) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (局部床義歯学) | 【授業の一般目標】 咬合支持の喪失による咬合・咀嚼障害の診断と治療ができるようになるために、部分床義歯の構成要素を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラスプの種類とその特性について説明することができる。 3. クラスプの具備条件を説明することができる。 4. アタッチメントの種類とその特性について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニックの最新版に目を通しておいください 1時間 事後学修項目とそれに要する時間数：講義資料の見直し 2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 | *伊藤 誠康 |
| 2021/09/06 (月) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (局部床義歯学) | 【授業の一般目標】 咬合支持の喪失による咬合・咀嚼障害の診断と治療ができるようになるために、局部床義歯設計の原則と構成要素を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 局部床義歯の構成要素を説明できる 3. 設計の原則を説明できる。 4. 連結装置の種類と特性について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニックの最新版に目を通しておいください 1時間 事後学修項目とそれに要する時間数：講義資料の見直し 2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素 | *大久保 昌和 |
| 2021/09/06 (月) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (局部床義歯学) | 【授業の一般目標】 局部床義歯による補綴治療を適正に行うために臨床術式を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔内前処置について説明することができる。 | *大久保 昌和 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---|---------|
| 2021/09/06 (月) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (局部床義歯学) | <p>3. 局部床義歯製作のための支台歯の前処置について説明することができる。 4. 局部床義歯製作のための印象法について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学、パーシャルデンチャーテクニックの最新版に目を通しておいください 1時間 事後学修項目とそれに要する時間数：講義資料の見直し 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得 a 個人トレーの製作</p> | *大久保 昌和 |
| 2021/09/07 (火) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳクラウンブリッジによる治療 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 支台歯形成の目的と原則，歯頸部辺縁形態の分類と適応，支台歯形成の手順，注意点を理解する。 支台築造の臨床的意義，選択基準を理解する。 築造窩洞形成の原則と手順を理解する。 支台築造の種類と方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 支台歯形成の目的と原則，歯頸部辺縁形態の分類と適応，支台歯形成の手順，注意点を説明できる。 3. 支台築造の臨床的意義，選択基準を説明できる。 4. 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 5. 支台築造の種類と方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 c 支台築造</p> | *飯田 崇 |
| 2021/09/07 (火) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳクラウンブリッジによる治療 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 印象材の種類と特徴を理解する。 印象用器材，印象法の種類と特徴について理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。 プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を理解する。 プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を理解する。 仮着用セメントの種類と特徴を理解する。 口腔内情報を記録する意義について理解する。 色調の選択と伝達方法について理解する。 歯の位置と形態の記録法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の種類と特徴を説明できる。 3. 印象用器材，印象法の種類と特徴を説明できる。 4. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5. プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの種類と制作方法を説明できる。</p> | *飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--|--------|
| 2021/09/07 (火) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳクラウンブリッジによる治療 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>7. 仮着用セメントの種類と特徴を説明できる。 8. 口腔内情報を記録する意義について説明できる。 9. 色調の選択と伝達方法について説明できる。 10. 歯の位置と形態の記録法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 d 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション g 患者情報の記録と伝達</p> | *飯田 崇 |
| 2021/09/07 (火) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 補綴歯科臨床の診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動と咬合の概念を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. チェックバイトを説明できる。 3. 半調節性咬合器のプログラミングを説明できる。 4. ゴシックアーチ描記法を説明できる。 5. パントグラフ描記法と全調節性咬合器のプログラミングを説明できる。 6. 前方誘導要素と後方誘導要素の咬合面に及ぼす影響を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断</p> | *飯田 崇 |
| 2021/09/07 (火) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うためにロストワックス法による技工操作を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 作業用模型の製作方法を説明できる。 3. 全部金属冠の製作方法を説明できる。 4. ブリッジのろう付け法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版、スタンダード歯科理工学第5版を参考に補綴装置の製作方法と材料について理解しておく。 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> | *内堀 聡史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|--|--------|
| 2021/09/07 (火) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療（クラウンブリッジ補綴学） | <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> | *内堀 聡史 |
| 2021/09/07 (火) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために歯冠補綴装置の装着方法、および術後管理について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯冠補綴装置の口腔内試適、調整方法について説明できる。 3. 歯冠補綴装置の仮着・合着について説明できる。 4. 歯冠補綴装置の術後管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：クラウンブリッジ補綴学第5版 事前学習時間：60分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 h 口腔内試適</p> | *内堀 聡史 |
| 2021/09/08 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うためにレジン前装冠・陶材焼付冠について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. レジン前装冠・陶材焼付冠の製作方法を説明できる。 3. レジン前装冠・陶材焼付冠の特徴、適応症について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p> | *内堀 聡史 |
| 2021/09/08 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【授業の一般目標】 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法を理解する。 CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を理解する。 CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを理解する。 CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法を説明できる。 3. ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法を説明できる。 4. CAD/CAMによる補綴装置の臨床的意義を説明できる。</p> | *岩田 好弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------|
| 2021/09/08 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ：クラウンブリッジによる治療（クラウンブリッジ補綴学） | <p>5. CAD/CAMによるクラウンブリッジ製作の特徴と流れを説明できる。 6. CAD/CAMクラウン製作時の各ステップにおける注意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作</p> | *岩田 好弘 |
| 2021/09/08 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【授業の一般目標】 歯科に関連する睡眠関連疾患に対応できるようになるために、睡眠時ブラキシズムと睡眠時無呼吸症候群を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 睡眠時ブラキシズムの特徴を説明できる。 3. 睡眠時ブラキシズムへの対応を説明できる。 4. 睡眠時無呼吸症候群の特徴を説明できる。 5. 睡眠時無呼吸症候群への対応を説明できる。 6. マウスガードによる歯・口腔の外傷予防について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 キ ブラキシズム</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 ク 睡眠時無呼吸</p> | *岩田 好弘 |
| 2021/09/08 (水) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅴ：高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【授業の一般目標】 高齢者に対する歯科治療を円滑に行うために、管理に留意すべき全身疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 認知症の原因を説明できる。 3. 認知症の検査を説明できる。 4. 認知症への対応を説明できる。 5. Alzheimer病の病態を説明できる。 6. Parkinson病の病態と原因を説明できる。 7. Parkinson病への対応を説明できる。 8. 誤嚥性肺炎の病態を説明できる。 9. 誤嚥性肺炎への対応を説明できる。 10. オーラルディアドコキネシス等による高齢者の口腔機能評価について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：高齢者の管理に留意すべき全身疾患について理解する。 準備学修時間：1時間</p> | *飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--------|
| 2021/09/08 (水) 4時限 13:00～13:50 | 各論V：高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 1 高齢者等の歯科診療で注意すべき疾患・病態・症候 イ 認知障害 a 認知症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 1 高齢者等の歯科診療で注意すべき疾患・病態・症候 オ フレイル</p> | *飯田 崇 |
| 2021/09/08 (水) 5時限 14:00～14:50 | 各論V：高齢者等に関連した疾患・病態・予防並びに歯科診療：摂食嚥下障害（障害者歯科学） | <p>【授業の一般目標】 摂食嚥下リハビリテーションが行えるようになるために、検査および対応について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2.口腔機能の評価ができる 3.摂食嚥下障害の検査ができる 4.治療的アプローチについて説明できる 5.代償的アプローチについて説明できる 6.環境改善的アプローチについて説明できる 7.心理的アプローチについて説明できる 8.栄養療法について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：摂食嚥下障害に対する評価・検査方法および対応について予習をする。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：摂食嚥下障害に対する評価・検査方法および対応について予習をする。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：スライドおよび配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 1 高齢者等の歯科診療で注意すべき疾患・病態・症候 ウ 摂食嚥下障害 c 嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 ウ 摂食嚥下補助床 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 1 高齢者等の歯科診療で注意すべき疾患・病態・症候 ウ 摂食嚥下障害 a 摂食行為・食物認知障害 6 摂食嚥下障害への対応（摂食機能療法） ア 治療的アプローチ a 間接訓練 b 直接訓練 イ 代償的アプローチ ウ 環境改善的アプローチ エ 心理的アプローチ オ 栄養療法</p> | *林 佐智代 |
| 2021/09/09 (木) 1時限 09:00～09:50 | 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（口腔インプラント学） | <p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント治療の術前診断および治療計画について説明できる。 3.インプラント治療のリスクファクターについて説明できる。 4.オッセオインテグレーションの獲得について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業のSBOs ・準備学修時間：15分 ・事後学修時間：30分</p> | *北川 剛至 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|--------|
| 2021/09/09 (木) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学) | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 1 1 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料 ア 口腔インプラント用材料</p> | *北川 剛至 |
| 2021/09/09 (木) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学) | <p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. インプラント外科処置について説明できる。 3. インプラント外科処置における合併症について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 以前の講義・実習時の配布資料の該当範囲の習熟 事前学修時間30分 事後学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 a インプラント埋入手術 (一次手術)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 c 二次手術 b オッセオインテグレーションの獲得</p> | *玉木 大之 |
| 2021/09/09 (木) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学) | <p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. インプラント治療の補綴処置について説明できる 3. インプラント治療に用いる器具器材について説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 以前の講義・実習時の配布資料の該当範囲の習熟 事前学修時間30分 事後学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療</p> | *村上 洋 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|--------|
| 2021/09/09 (木) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学) | イ 臨床操作 d 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション f 顎間関係の記録 a セメント固定式上部構造の製作 b スクリュー固定式上部構造の製作 | *村上 洋 |
| 2021/09/09 (木) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学) | 【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。 2. インプラント治療のメンテナンスについて説明できる。 3. インプラント治療の合併症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 授業のSBOs ・準備学修時間: 15 分 ・事後学修時間: 30 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス f インプラント支持療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス e 補綴装置の破損とその対応 | *北川 剛至 |
| 2021/09/14 (火) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ: 顎・口腔領域の疾患 (臨床検査学) | 【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、造血管疾患の診断に必要な検査項目について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 白血病の分類を述べることができる。 3. 各種白血病の病態を述べることができる。 4. 各種白血病に関連する臨床検査を述べることができる。 5. 悪性リンパ腫の分類を述べることができる。 6. 悪性リンパ腫の病態を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 4年次に配布講義ファイルの総論部分 基準値表 歯科医師国家試験出題基準 主な検査項目の表記 事前準備学修時間: 約30分 事後学修項目: 行動目標に掲げた項目 事後準備学修時間: 約60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: なし 学修媒体: 配布済み国家試験対応ファイル 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ケ 白血病系疾患 a 白血病 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 3 検体検査 ア 検体検査 b 血液学検査 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ケ 白血病系疾患 | *福本 雅彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|--------|
| 2021/09/14 (火) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（臨床検査学） | c 悪性リンパ腫 d 多発性骨髄腫 | *福本 雅彦 |
| 2021/09/14 (火) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（臨床検査学） | <p>【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、出血性素因の診断に必要な検査項目について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 血液凝固機序を述べることができる。 3. 出血性素因を調べるための検査項目を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：血小板の仕組みについて理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：出血性素因の検査項目を理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 3 検体検査 ア 検体検査 b 血液学検査</p> | *小峯 千明 |
| 2021/09/14 (火) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（臨床検査学） | <p>【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、出血性素因をおこす疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. アレルギー性紫斑病について説明できる。 3. Osler病について説明できる。 4. 特発性血小板減少性紫斑病について説明できる。 5. 血小板無力症について説明できる。 6. 血友病について説明できる。 7. 播種性血管内凝固症候群について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：止血凝固の仕組みを理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：各疾患の検査所見・症状について理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 3 検体検査 ア 検体検査 b 血液学検査</p> | *小峯 千明 |
| 2021/09/14 (火) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ：顎と口腔領域の疾患（臨床検査学） | <p>【授業の一般目標】 口腔領域に特徴的な症状を呈しかつ歯科治療に影響を及ぼす全身疾患、特に貧血について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 貧血の定義を述べることができる。 3. 貧血を調べるための検査項目を述べる事が出来る。</p> | *深津 晶 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|---|--------|
| 2021/09/14 (火) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ：顎と口腔領域の疾患（臨床検査学） | <p>4.貧血の臨床症状と合併症を述べる事が出来る。 5.貧血に罹患している患者への歯科治療を行う際の注意点を述べる事が出来る。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：生体内での糖の流れを理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：糖尿病の検査所見・症状について理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：配布済み国家試験対応ファイル</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 赤血球系疾患 a 貧血</p> | *深津 晶 |
| 2021/09/14 (火) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ：顎変形症（症候群を中心に） | <p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患について理解するために、様々な症候群について学習する。臨床経験に基づき 以下の内容を教授する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.顔面の異常を伴う症候群について説明することができる。 2.口腔・顔面の異常を示す代謝・内分泌疾患について説明することができる。 3.それぞれの症候群の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：これまでの授業内容 準備学修時間：2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 特になし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 顎顔面の変形をきたす疾患・病態・診断 a 顎変形症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 顎顔面骨の変形に対する治療 a 顎矯正手術</p> | *大峰 浩隆 |
| 2021/09/15 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科） | <p>【授業の一般目標】 適切な口腔がんの治療を行うために、病態、検査法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔癌の診断、TNM分類、病期分類ができる。 3.舌癌の特徴を説明できる。 4.歯肉癌の特徴を説明できる。 5.上顎洞癌の特徴を説明できる。 6.口腔癌の転移を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔がんの治療を行うために、悪性腫瘍の病態と検査法について教科書を参考に予習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> | *山本 泰 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|---|-------|
| 2021/09/15 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 d 舌癌</p> | *山本 泰 |
| 2021/09/15 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 適切な口腔がんの治療を行うために、治療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 悪性腫瘍の治療法を選択できる。 3. 原発巣の手術療法を説明できる。 4. 頸部郭清術を説明できる。 5. 化学療法を説明できる。 6. 放射線療法を説明できる。 7. 緩和ケアを説明できる。 8. 周術期管理を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 口腔がんの治療を行うために、悪性腫瘍の治療法について教科書で予習すること。 事前学修時間: 60分 事後学修項目: 講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 g 歯肉癌</p> | *山本 泰 |
| 2021/09/15 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 唇顎口蓋裂を適切に診断、治療するために、病態、検査法、治療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口唇・口蓋裂の病態について説明することができる。 3. 口唇・口蓋裂の治療計画について説明することができる。 4. 鼻咽腔閉鎖不全について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 唇顎口蓋裂・鼻咽腔閉鎖不全の診断、検査について教科書で予習すること。 準備学修時間: 60分 事後学習項目: 講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間: 90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療 a 口唇裂・口蓋裂</p> | *山本 泰 |
| 2021/09/15 (水) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 唇顎口蓋裂を適切に診断、治療するために、病態、検査法、治療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口唇裂の手術法について説明できる。 3. 口蓋裂の手術法について説明できる。 4. 鼻咽腔閉鎖不全の検査法について説明できる。 5. 鼻咽腔閉鎖不全の治療法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 唇顎口蓋裂、鼻咽腔閉鎖不全の治療について教科書で予習すること。 準備学修時間: 60分 事後学習項目: 講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。</p> | *山本 泰 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|--|--------|
| 2021/09/15 (水) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患(口腔外科) | 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療 a 口唇裂・口蓋裂 | *山本 泰 |
| 2021/09/15 (水) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 | 【授業の一般目標】 神経疾患について理解する 【行動目標（SBOs）】 1. 三叉神経痛について説明できる 2. 舌咽神経痛について説明できる 3. 非定型顔面痛・非菌原性歯痛について説明できる 4. 舌痛症について説明できる 5. 癌性疼痛について説明できる 6. 舌神経麻痺について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：三叉神経の解剖・舌咽神経の解剖 準備学修時間：30分 事後学修時間：配布資料確認15分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 神経疾患の病態・診断・治療 f 非菌原性歯痛 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 神経疾患の病態・診断・治療 j 舌痛症 | *牧山 康秀 |
| 2021/09/16 (木) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科） | 【授業の一般目標】 適切な口腔外科治療を行うために、口腔領域の損傷の病態、適切な診断法を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顔面・口腔領域軟組織損傷の概念を説明し、適切な診断ができる。 3. 歯牙の脱臼、破折の適切な診断ができる。 4. 顎顔面骨骨折の特徴的な骨折様式を説明し、適切な診断ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎口腔領域の損傷の診断法について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 c 下顎骨骨折 | *山本 泰 |
| 2021/09/16 (木) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科） | 【授業の一般目標】 適切な口腔外科治療を行うために、口腔領域の損傷による合併症と治療法を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 | *山本 泰 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|--|--------|
| 2021/09/16 (木) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科） | <p>2. 顎顔面骨折に対する各種処置法を説明し適切な治療方針を述べるができる。</p> <p>3. 軟組織損傷の治療法を説明し、適切な対処法を述べるができる。</p> <p>4. 合併症の診断法および治療法を説明し、適切な対処法を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎口腔領域の損傷の治療法について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 d 上顎骨骨折</p> | *山本 泰 |
| 2021/09/16 (木) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科） | <p>【授業の一般目標】 顎変形症について理解し、適切な治療方針の決定ができるように、治療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎変形症の特徴を説明できる。 3. 顎変形症の治療法について説明することができる。 4. 顎変形症治療における合併症、偶発症を説明し、適切な対処法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎変形症の治療法について教科書で予習すること。 事前準備学修時間：60分 事後学修項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後準備学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 顎顔面の変形をきたす疾患・病態・診断 a 顎変形症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 顎顔面骨の変形に対する治療 a 顎矯正手術</p> | *山本 泰 |
| 2021/09/16 (木) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅳ 顎口腔領域の疾患（口腔外科） | <p>【授業の一般目標】 唾液腺に生ずる疾患を適切に治療するために、その特徴を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ドライマウスについて述べられる。 3. Sjögren症候群とMikulicz病の特徴を述べられる。 4. 流行性耳下腺炎につて述べられる。 5. 唾液腺良性腫瘍の特徴を述べられる。 6. 唾液腺悪性腫瘍の特徴を述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：唾液腺の治療について教科書で予習すること。 事前学修時間：60分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> | *濱野 美緒 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|---|--------|
| 2021/09/16 (木) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅳ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態 e Sjögren症候群 | *濱野 美緒 |
| 2021/09/16 (木) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔粘膜ならびに前癌病変、主要類似疾患の診断と治療ができるようになるために、診断法、治療法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔粘膜疾患とその類似疾患の診断、病態について述べることができる。 3. 舌炎、口唇炎および類似疾患の診断、病態について述べることができる。 4. 前癌病変の定義について説明することができる。 5. 白板症と紅板症の診断法、病態について説明することができる。 6. 前癌病変を説明し、その疾患名を挙げられる。 7. エプーリスの分類法と治療法について説明できる。 8. 顎骨の骨隆起と骨腫の鑑別診断と治療の必要性の有無について判定できる。 9. 線維性異形成症の病態と治療法について述べるすることができる。 10. Langerhans細胞組織球腫の分類、病態および診断法について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔粘膜ならびに前癌病変、主要類似疾患の診断について教科書で予習すること。 事前学修時間：60分 事後学習項目：教科書での復習および国家試験問題 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 n 前癌病変、前癌状態</p> | *濱野 美緒 |
| 2021/09/17 (金) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 歯源性腫瘍、非歯源性腫瘍を診断し、治療方針を決定できるようになるために、各歯源性腫瘍・非歯源性腫瘍の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯源性腫瘍・非歯源性腫瘍の特徴を述べるができる。 3. 各疾患のエックス線像の特徴を述べることができる。 4. 歯源性腫瘍・非歯源性腫瘍を診断できる。 5. 歯源性腫瘍・非歯源性腫瘍の治療法について述べることができる。 6. 歯源性腫瘍・非歯源性腫瘍の予後について述べることができる。 7. 他の疾患 (炎症性疾患・嚢胞性疾患) と鑑別診断を行うことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学口腔の腫瘍について ・準備学修時間：60分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯源性良性腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 c 非歯源性良性腫瘍</p> | *濱野 美緒 |
| 2021/09/17 (金) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する嚢胞性疾患を診断し、治療方針を立てられるようになるために、その病態および特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨内に発生する歯源性嚢胞および非歯源性嚢胞を分類し、その特徴を述べるができる。</p> | *濱野 美緒 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|---|--------|
| 2021/09/17 (金) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>3. 顎骨内に発生する歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞の鑑別診断をすることができる。</p> <p>4. 顎骨内に発生する歯原性嚢胞および非歯原性嚢胞の治療法を説明することができる。</p> <p>5. 顎骨内に発生する嚢胞類似疾患を分類し、その特徴を説明できる。</p> <p>6. 顎骨内に発生する嚢胞類似疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>7. 顎骨内に発生する嚢胞類似疾患の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学嚢胞性疾患について ・準備学修時間：60分 ・事後学習項目：授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 b 非歯原性嚢胞</p> | *濱野 美緒 |
| 2021/09/17 (金) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 軟組織内に発生する嚢胞性疾患の鑑別診断と処置ができるようになるために、病態と特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 軟組織に発生する嚢胞を分類し、その特徴を説明できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞の鑑別診断ができる。 4. 軟組織に発生する嚢胞の治療法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：4年次口腔顎顔面外科学嚢胞性疾患について ・準備学修時間：60分 ・事後学習項目：口腔の主要症候についての授業プリント、国家試験問題の確認する。 ・事後学習時間：90分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施せず</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 b 非歯原性嚢胞</p> | *濱野 美緒 |
| 2021/09/17 (金) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全身管理に留意する全身疾患・状態を説明できる。 2. 高齢者にみられる全身管理に留意する全身疾患・状態を説明できる。 3. 肉芽腫性炎 (特異性炎) の種類を述べられる。 4. 顎部放線菌症の診断・病態・治療法について述べられる。 5. 口腔結核の診断・病態・治療法について述べられる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前準備学修項目：全身に関連する疾患の病態・診断・治療について教科書および参考書を熟読する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布資料を用いたレビュー 事後学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> | *飯塚 普子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|--|--------|
| 2021/09/17 (金) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき疾患・状態 b 循環器・脳血管疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 f 肉芽腫性炎</p> | *飯塚 普子 |
| 2021/09/17 (金) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯性扁桃周囲炎の診断・病態・治療法について述べられる。 2. 口底・咽頭・頬部の炎症の拡大と隙について述べられる。 3. 口底部の炎症の診断・病態・治療法について述べられる。 4. 咽頭部の炎症の診断・病態・治療法について述べられる。 5. 歯冠周囲炎、歯周組織炎の診断・病態・治療法について述べられる。 6. 顎骨炎の分類・診断・病態・治療法について述べられる。 7. 放射線障害による口内炎、骨壊死、骨髄炎の病態について述べられる。 8. 歯性感染症の原因歯の治療方針について述べられる。 9. 歯性全身感染症の種類・原因・病態を述べることができる。 10. 歯性上顎洞炎の診断・病態・治療法について述べられる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前準備学修項目：軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療について教科書および参考書を熟読する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布資料を用いたレビュー 事後学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>なし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 a 歯冠周囲炎 <智歯周囲炎></p> | *飯塚 普子 |
| 2021/09/18 (土) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅶ：治療 (歯科麻酔学)、ペインクリニック。 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>疼痛管理、感覚異常疾患治療を適切に行うために、管理方法の実際、神経ブロック療法、理学療法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎顔面領域の疼痛疾患について説明することができる。 3. 顎顔面領域の感覚異常疾患・症状について説明することができる。 4. 痛みの悪循環について説明することができる。 5. 星状神経節ブロックについて説明することができる。 6. 星状神経節ブロックの適応疾患について説明することができる。 7. 星状神経節ブロックの生理的反応について説明することができる。 8. 星状神経節ブロックの合併症について説明することができる。 9. 理学療法について説明することができる。 10. 光線療法について説明することができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「14. ペインクリニック (疼痛治療)」。 事後学習時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 神経疾患の病態・診断・治療 c 顔面神経麻痺</p> | *下坂 典立 |
| 2021/09/18 (土) 2時限 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>顎関節疾患と顎関節疾患に類似した疾患との鑑別および適切な治療方針の決定</p> | *内田 貴之 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|--------------------|--|--------|
| 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 | <p>ができるようになるために、診断法および治療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「顎関節咬合科での臨床経験に基づき 以下の内容を教授する」 2. 顎関節疾患の特徴が説明できる。 3. 顎関節疾患に類似した疾患を列挙できる。 4. 顎関節疾患の診断法を説明できる。 5. 顎関節疾患の治療法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：6月6日の顎関節の授業で配布したプリント 事前学修時間：20分 事後学修項目：顎関節疾患について復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：メディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 k 顎関節症</p> | *内田 貴之 |
| 2021/09/18（土） 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>顎関節症を診断し、治療方針を決定できるようになるために、顎関節症の病態および診査、診断ならびに適切な治療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「顎関節咬合科での臨床経験に基づき 以下の内容を教授する」 2. 顎関節疾患における顎関節症の位置づけを説明できる。 3. 顎関節症の各病態を説明できる。 4. 顎関節症の治療手順を説明できる。 5. 顎関節症の治療法を説明できる。 6. 顎関節症治療におけるスプリント療法について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：6月6日の顎関節の授業で配布したプリント 事前学修時間：20分 事後学修項目：顎関節症について復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：メディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 k 顎関節症</p> | *内田 貴之 |
| 2021/09/21（火） 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線） | <p>【授業の一般目標】</p> <p>将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、頭頸部領域に発生する外傷と炎症の画像所見について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 頭頸部領域に発生する外傷と炎症の画像所見について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：外傷と炎症について理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：外傷と炎症の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> | *村岡 宏隆 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|--|--------|
| 2021/09/21 (火) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線） | <p>2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 a 歯の亀裂・破折・脱臼</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 a 歯槽骨炎、顎骨炎 b 顎骨骨膜炎 c 顎骨骨髓炎 d 菌性上顎洞炎</p> | *村岡 宏隆 |
| 2021/09/21 (火) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線） | <p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：嚢胞・腫瘍を理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：嚢胞・腫瘍の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍</p> | *村岡 宏隆 |
| 2021/09/21 (火) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線） | <p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎顔面領域の画像検査法の適切な選択および画像診断ができるようになるために、顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞・腫瘍の画像所見について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：嚢胞・腫瘍を理解する。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：嚢胞・腫瘍の画像所見について理解する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> | *村岡 宏隆 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|---|-----------------|
| 2021/09/21 (火) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線） | 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍 | *村岡 宏隆 |
| 2021/09/21 (火) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（放射線） | <p>【授業の一般目標】 将来歯科医師として顎口腔疾患の適切な画像検査法および画像診断ができるようになるために、各種疾患における特徴像を学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎口腔疾患における最適な画像診断法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎口腔領域の画像検査法の正しい選択と特徴について学ぶ。 事前学修時間：約30分 事後学修項目：顎口腔疾患における最適な画像診断法を修得する。 事後学修時間：約60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリントおよび教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 b 口腔軟組織の炎症 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 c 顎骨骨髓炎</p> | *金田 隆 *村岡 宏隆 |
| 2021/09/21 (火) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学） | <p>【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために、全身的偶発症とその対応および予防について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 血管迷走神経反射の発症機序について説明することができる。 3. 血管迷走神経反射発症時の対応について説明することができる。 4. 過換気症候群の発症機序について説明することができる。 5. 過換気症候群発症時の対応について説明することができる。 6. 合併症の予防について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「15. 歯科治療における全身的偶発症」。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 a 血管迷走神経反射</p> | *下坂 典立 |
| 2021/09/22 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学） | <p>【授業の一般目標】 全身疾患患者（呼吸器疾患、アレルギー疾患）に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. Vital signsについて説明することができる。 3. 血圧について説明することができる。</p> | *下坂 典立 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|--------|
| 2021/09/22 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学） | <p>4. 脈拍について説明することができる。 5. 呼吸について説明することができる。 6. 拘束性肺疾患の病態を説明することができる。 7. 閉塞性肺疾患（特に喘息）の病態を説明することができる。 8. 喘息発作時の対応について説明することができる。 9. 喘息様症状、主としてアナフィラキシーとその対応について説明することができる。 10. アレルギー検査について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4. 管理上問題となる疾患」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき疾患・状態 a 呼吸器疾患</p> | *下坂 典立 |
| 2021/09/22 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学） | <p>【授業の一般目標】 全身疾患（高血圧症および虚血性心疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高血圧症の病態、全身管理（救急処置を含む）について説明することができる。 3. 循環器疾患患者の局所麻酔時の注意点について説明することができる。 4. 虚血性心疾患について説明することができる。 5. 狭心症の病態について説明することができる。 6. 狭心症発症時の対応について説明することができる。 7. 心筋梗塞の病態について説明することができる。 8. 心筋梗塞発症時の対応について説明することができる。 9. 薬物の投与方法（注射法）について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4. 管理上問題となる疾患」。</p> <p>・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき疾患・状態 b 循環器・脳血管疾患</p> | *下坂 典立 |
| 2021/09/22 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学） | <p>【授業の一般目標】 全身疾患（不整脈—その1—）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 心電図検査について説明することができる。 3. 上室性不整脈について説明することができる。 4. 心室性不整脈について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4. 管理上問題となる疾患」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> | *下坂 典立 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|--------|
| 2021/09/22 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学） | 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき疾患・状態 b 循環器・脳血管疾患 | *下坂 典立 |
| 2021/09/22 (水) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学） | 【授業の一般目標】 全身疾患（不整脈—その2—）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 除細動について説明することができる。 3. 除細動すべき不整脈について説明することができる。 4. 抗不整脈薬の使用について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4. 管理上問題となる疾患」について学修しておく。 事前学修時間：30分。 事後学修項目：講義で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき疾患・状態 b 循環器・脳血管疾患 | *下坂 典立 |
| 2021/09/22 (水) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（歯科麻酔学） | 【授業の一般目標】 全身疾患（不整脈—その2—）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 脚ブロックについて説明することができる。 3. 抗不整脈薬の使用について説明することができる。 4. 種々の不整脈を判断し、適切な治療薬を選択することができる。 5. 致死的不整脈を判断し、その対応について説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「4. 管理上問題となる疾患」について学修しておく。 事前学修時間：30分。 事後学修項目：講義で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ス 全身管理に留意すべき疾患・状態 b 循環器・脳血管疾患 | *下坂 典立 |
| 2021/09/28 (火) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患（歯内療法学：臨床） | 【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に診断・治療できるようになるために、歯髄・根尖歯周疾患の原因・病態・症候を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯髄・根尖歯周疾患の症候の変化を説明できる。 3. 歯髄・根尖歯周疾患の主訴を説明できる。 4. 歯髄・根尖歯周疾患の検査の意図を説明できる。 5. 歯髄・根尖歯周疾患の検査を選択できる。 6. 歯髄・根尖歯周疾患の診断プロセスを説明できる。 7. 歯髄・根尖歯周疾患の処置方針を説明できる。 8. 鑑別診断を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法全般 1時間 | *吉田 陽子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------|
| 2021/09/28 (火) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学：臨 実) | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 媒体 パワーポイント、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 b 根尖性歯周疾患 c 歯内-歯周疾患 d 歯の外傷 e 内部吸収、歯根外部吸収</p> | *吉田 陽子 |
| 2021/09/28 (火) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学：臨 実) | <p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診断と治療ができるようになるために、歯内療法 の原則、処置法、用いる器具・材料、高齢者に対する配慮、外傷歯の病態と治 療について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯内療法の治療の原則を説明できる。 3. 歯髄・根尖性歯周疾患の処置を選択できる。 4. 歯内療法の器具、材料を選択できる。 5. 歯内療法における高齢者に対する配慮を説明できる。 6. 外傷歯の病態と治療を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の構造を説明できる。 歯周組織の構造を説明できる。 準備学習時間：50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイント、プリント アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填 i 外傷歯の治療 a 高齢者の歯髄疾患と治療 b 高齢者の根尖性歯周疾患と治療</p> | *岡部 達 |
| 2021/09/28 (火) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学：臨 実) | <p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な治療をするために、根未完成歯の歯内療法、 再根管治療、歯内一歯周疾患、外科的歯内療法、歯内療法処置の偶発症とその 予防、顕微鏡を用いた歯内療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 根未完成歯の歯内療法を説明できる。 3. 再根管治療を説明できる。 4. 歯内一歯周疾患の治療を説明できる。 5. 内部吸収・外部吸収の治療を説明できる。 6. 外科的歯内療法を説明できる。 7. 歯内療法処置の偶発症とその予防を説明できる。 8. 顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：歯内療法全般 準備学習時間：1時間</p> | *神尾 直人 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|---------|
| 2021/09/28 (火) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯内療法学：臨 実) | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 パワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 c 歯内-歯周疾患 e 内部吸収、歯根外部吸収 d 根管処置 f 根未完成歯の治療 g 外科的歯内療法 h 内部吸収歯・歯根外部吸収歯の治療 j 偶発症と安全対策</p> | *神尾 直人 |
| 2021/09/28 (火) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅰ：成長発育 に関連した疾患・ 病態（歯科矯正学） | <p>【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために、治療計画の立案に必要な情報を収集し整理・ 統合できるように学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔内写真から得られる所見を述べることができる。 3. エックス線写真から得られる所見を述べるができる。 4. 診断用口腔模型から得られる所見を述べるができる。 5. 軟組織診査から得られる所見を述べるができる。 6. 機能検査から得られる所見を述べるができる。 7. 得られた情報から不正咬合の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：形態的検査、機能的検査について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の診断 ウ 診断</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 6 不正咬合病因・病態 イ 不正咬合の種類 7 不正咬合の診断 ア 診療 イ 検査</p> | *五関 たけみ |
| 2021/09/28 (火) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅰ：成長発育 に関連した疾患・ 病態（歯科矯正学） | <p>【授業の一般目標】 適切な乳歯・混合歯列期の矯正治療を行うために、顎顔面形態の特徴、診断、 治療開始時期および治療法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 乳歯混合歯列期の治療目標を述べるができる。 3. 乳歯混合歯列期に用いる矯正装置を説明できる。 4. 乳歯混合歯列期の治療計画を立案できる。 5. 早期治療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯列期の矯正治療、混合歯列期の矯正治療について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> | *五関 たけみ |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---------|
| 2021/09/28 (火) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学） | <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 イ 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ア 歯列・咬合異常の要因 ウ 動的咬合誘導 エ 口腔習癖とその対応 10 不正咬合の治療 ア 不正咬合予防</p> | *五関 たけみ |
| 2021/09/29 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周疾患（保存修復学臨床実地）：Tooth wear（歯の損耗）、変色歯、破折 | <p>【授業の一般目標】 Tooth wear、歯の変色および破折により生じた歯の欠損や審美障害を解決するために、行うべき検査、診断、治療方針の立案と処置法に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. Tooth wearに対する鑑別診断ができる。 3. Tooth wearに対する適切な治療方針が立案できる。 4. 変色歯の鑑別診断ができる。 5. 変色歯の原因や程度から適切な処置方針を立案できる。 6. 外傷歯の診断に必要な検査法を選択できる。 7. 外傷歯に対する適切な治療方針を立案できる。 8. 歯の完全破折と不完全破折の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：8月22日各論講義分の配布資料を復習しておくこと。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 c tooth wear<歯の損耗></p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 e 歯の変色・着色 g 歯の漂白 f 歯の亀裂・破折 g 歯の変色・着色予防</p> | *平山 聡司 |
| 2021/09/29 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周疾患（保存修復学臨床実地）：間接修復法 | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対して適切な間接修復処置が行えるようになるために、適切な検査、診断、治療方針の立案、術式、使用器具および術後管理について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 間接修復法の選択基準について説明できる。 3. 各種間接修復法の臨床術式について説明できる。 4. 間接修復法の修復物装着に必要な処理材について説明できる。 5. 間接修復法における補修復の手順と必要材料について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：8月22日に講義した配布資料の内容を復習しておくこと。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> | *平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---------|
| 2021/09/29 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・ 歯周疾患（保存修 復学臨床実地）： 間接修復法 | <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 e 象牙質・歯髄保護法 f 補修修復</p> | *平山 聡司 |
| 2021/09/29 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ 歯・歯髄・ 歯周疾患（保存修 復学臨床実地）： 接着修復と前準備 | <p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対して適切な接着修復を行うために、適切な検査、診断、治療方針の立案、術式、使用器具および術後管理について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の欠損状態に応じた接着修復法を選択できる。 3. 齶蝕の除去法とそれに用いる器具器材について説明できる。 4. 接着修復処置に必要な前準備とその器具について説明できる。 5. 接着修復法の臨床術式を説明できる。 6. 異種材料に対する接着前処理と必要な器材について説明できる。 7. 修復操作中に生じた偶発症とその対処法について説明できる。 8. 修復処置後に生じる臨床的問題点の原因とその対処法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：8月22日の講義で配布した資料を復習しておくこと。 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布資料、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 f 補修修復 a 根面齶蝕</p> | *平山 聡司 |
| 2021/09/29 (水) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅰ：成長発育 に関連した疾患・ 病態（歯科矯正学） | <p>【授業の一般目標】 永久歯列期の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針および治療計画の立案について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 治療目標の設定ができる。 3. 抜歯部位の選択ができる。 4. 矯正治療中の管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：永久歯列期の矯正治療について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第6版</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 ウ 永久歯列期の不正咬合の治療</p> | *五関 たけみ |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|---|---------|
| 2021/09/29 (水) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学） | <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の診断 ウ 診断 エ 治療計画 8 矯正力と固定 エ 固定 10 不正咬合の治療 キ 治療中の管理 ク 保定 ケ 偶発症</p> | *五関 たけみ |
| 2021/09/29 (水) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅰ：成長発育に関連した疾患・病態（歯科矯正学） | <p>【授業の一般目標】</p> <p>口唇裂・口蓋裂や顎変形症の矯正歯科治療を適切に行うために必要な知識、診断、治療方針および治療計画の立案について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 外科矯正治療における術前矯正治療の目的を説明できる。 適切な外科手術法を選択できる。 唇顎口蓋裂患者の特徴を説明できる。 唇顎口蓋裂患者の歯科矯正治療の流れを説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療、顎変形症の矯正歯科治療について 準備学修項目：(60分) 事後学習項目：配布資料に基づき必須項目を復習する。 事後学習項目：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布資料、教科書（歯科矯正学第5版：p 336-352）</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 オ 顎変形症の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 ア 口腔・顎顔面の先天異常 b 口唇裂・口蓋裂 7 不正咬合の診断 エ 治療計画 10 不正咬合の治療 キ 治療中の管理 ク 保定 ケ 偶発症 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 顎顔面骨の変形に対する治療 a 顎矯正手術</p> | *榎本 豊 |
| 2021/09/30 (木) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・歯周組織の疾患（歯周治療学） | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯周治療を行うために、歯周病の診査・診断・治療計画および歯周基本治療の内容・目的について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 歯周病の分類と特徴について説明することができる。 歯周病の治療計画について説明することができる。 歯周基本治療の内容について説明できる。 歯周治療におけるメンテナンスおよびSPTについて説明できる。 咬合性外傷の診断・治療法について説明できる。 歯内歯周病変の診断・治療法について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学習項目：正常歯周組織の解剖、歯周疾患の病因と病態、歯周基本治療。 40分 事後学習項目：診断結果と歯周基本治療の選択。60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無。 プリント配布し、パワーポイントで講義を行う。 後日、必要に応じて電子媒体で配布する。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論</p> | *中山 洋平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---|--------|
| 2021/09/30 (木) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学) | 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 b 歯肉病変のリスクファクター d 歯周炎のリスクファクター f 合性外傷 h 歯肉退縮 i 歯周-歯内病変 | *中山 洋平 |
| 2021/09/30 (木) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学) | 【授業の一般目標】 適切な歯周治療を行うために、根分岐部病変の治療および歯周外科治療について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.根分岐部病変の分類に対する治療方法について説明できる。 3.歯周ポケット搔爬術について説明できる。 4.新付着術（ENAP）について説明できる。 5.歯肉切除術について説明できる。 6.歯肉剥離搔爬術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：正常歯周組織の解剖。切除療法および組織付着療法の種類を列挙し、それぞれの適応症と術式を説明できる。根分岐部病変を分類し、適応する術式を説明できる。60分。 事後学習項目：切除療法、組織付着療法の適応症を理解し、術式を選択できる。手技、使用器具についても理解を深める。60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無。 プリント配布し、パワーポイントで講義を行う。 後日、必要に応じて電子媒体で配布する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療（切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 根分岐部病変の治療 | *中山 洋平 |
| 2021/09/30 (木) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学) | 【授業の一般目標】 適切な歯周治療を行うために、歯周組織再生療法および歯周形成手術の治療法について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.再生の3原則に基づいて、歯周組織再生療法の種類を説明できる。 3.骨移植術について説明できる。 4.歯周組織再生誘導法（GTR法）について説明できる。 5.エナメルマトリックスタンパク質を用いた再生療法について説明できる。 6.塩基性線維芽細胞成長因子を用いた再生療法について説明できる。 7.歯周形成手術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：正常歯周組織の解剖、再生の3原則、骨再生の3要素を理解し、歯周組織再生療法の適応症と術式。歯周形成手術の適応症と術式を列挙できる。60分。 事後学習項目：歯周組織再生療法の適応症を理解し、術式を選択できる。手技、使用器具についても理解を深める。歯周形成手術の術式を選択できる。60分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無。 プリント配布し、パワーポイントで講義を行う。 後日、必要に応じて電子媒体で配布する。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 | *中山 洋平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--------|
| 2021/09/30 (木) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅱ：歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (歯周治療学) | e 歯周外科治療(歯周形成手術) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 i メインテナンス、SPT<supportive periodontal therapy> d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) | *中山 洋平 |
| 2021/09/30 (木) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅱ：成長発育 に関連した疾患・ 病態(小児歯科) 各論Ⅳ：顎・口腔 領域の疾患 | 【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の外傷、乳 歯の抜歯、口腔粘膜疾患、咬合誘導について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.小児の歯の外傷について説明できる。 3.小児の抜歯について説明できる。 4.小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 5.小児の咬合誘導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の外傷と粘膜疾患について 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布資料 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 イ 遺伝性疾患(主に口腔に症状がみられる) a Beckwith-Wiedemann症候群<EMG症候群> c Papillon-Lefevre症候群 e 骨形成不全症 g 先天性外胚葉形成不全<先天性外胚葉異形成症> h 象牙質形成不全症 j 低フォスファターゼ症 c Robin シークエンス<Pierre Robin症候群> e 鎖骨頭蓋骨異形成症<鎖骨頭蓋異骨症> f 第一第二鯉弓症候群 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保険(静的咬合誘導) b 保険装置の適応症 | *岡本 京 |
| 2021/09/30 (木) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅳ：顎・口腔 領域の疾患(小児 歯科) 各論Ⅱ：成長発育 に関連した疾患・ 病態 | 【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯の形成障害お よび小児疾患・症候群について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.歯の形成障害について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯の形成障害について 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布資料 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 2 歯の異常 ア 数の異常 a 過剰歯 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 2 歯の異常 | *岡本 京 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--------|
| 2021/09/30 (木) 5時限 14:00~14:50 | 各論Ⅳ：顎・口腔領域の疾患（小児歯科） 各論Ⅱ：成長発育に関連した疾患・病態 | ア 数の異常 b 先天欠如 a 癒合歯、癒着歯、双生歯 b 異常咬頭・結節 c 象牙質形成不全{症} 3 口腔・顎顔面の疾患 ア 歯の疾患 a 歯牙腫 b 異所萌出 d 低位乳歯 | *岡本 京 |
| 2021/10/01 (金) 1時限 09:00~09:50 | 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患（小児歯科学） | 【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の齲蝕予防、歯冠修復について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の齲蝕予防について説明できる。 3. 小児の歯冠修復について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の齲蝕と進行抑制、小児の歯冠修復の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：PC、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 d フッ化物応用 e 食生活指導 f 口腔清掃指導 a 乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法 b 幼若永久歯齲蝕 | *伊藤 龍朗 |
| 2021/10/01 (金) 2時限 10:00~10:50 | 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患（小児歯科学） | 【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、小児の歯内療法、歯周疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯内療法について説明できる。 3. 小児の歯周疾患について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実践問題集の小児の歯内療法、小児の歯周疾患の項目 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容と配布資料の内容を確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 学修媒体：PC、プリント配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 a 乳歯の歯髄疾患と治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 b 乳歯の根尖性歯周疾患と治療 c 幼若永久歯の歯髄疾患と治療 d 幼若永久歯の根尖性歯周疾患と治療 | *伊藤 龍朗 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------|
| 2021/10/01 (金) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅱ 歯・歯髄・ 歯周組織の疾患 (小児歯科学) | 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 a 小児の歯肉病変・歯周炎の特徴 b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応 | *伊藤 龍朗 |
| 2021/10/06 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ:歯質・歯・ 顎顔面欠損による 障害とその他の口腔・ 顎顔面の機能 障害:顎顔面補綴 装置 | 【授業の一般目標】 顎欠損を有する患者の特性および特殊な装置による治療(顎顔面補綴装置による治療)を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.顎顔面に欠損を有する患者の背景を説明できる。 3.顎顔面に欠損を有する患者の機能障害を説明できる。 4.顎骨欠損の成因を説明できる。 5.顎顔面に欠損を有する患者の補綴方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目:顎口腔に大きな欠損を有する患者の特性を理解しておく。1時間程度 事後学習項目:事後学習項目:様々な顎補綴装置を理解する。1時間程度 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ウェブクラスにあげた資料を閲覧しておく。 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置 | *飯島 守雄 |
| 2021/10/06 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ:歯質・歯・ 顎顔面欠損による 障害とその他の口腔・ 顎顔面の機能 障害(可撤性部分 床義歯学) | 【授業の一般目標】 部分歯牙欠損を有する患者の術後管理(夜間用義歯含む)を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.部分歯牙欠損を有する患者の患者指導を説明することができる。 3.部分歯牙欠損を有する患者の義歯の管理を説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目:可撤性局部床義歯の予後について説明できる。1時間程度 事後学習項目:可撤性局部床義歯の術後管理について説明できる。1時間程度 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 配布資料を閲覧する。 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 イ 補綴装置に対する指導 | *飯島 守雄 |
| 2021/10/06 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ:歯質・歯・ 顎顔面欠損による 障害とその他の口腔・ 顎顔面の機能 障害 オーバーデ ンチャー | 【授業の一般目標】 オーバードンチャーの基本構造と利点と欠点について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.オーバードンチャーの特性を説明できる。 3.根面アタッチメントについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目:歯根およびインプラントを用いたオーバードンチャーについて学習する 1時間程度 事後学習項目:歯根アタッチメント、移行義歯について学習する 1時間程度 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 配布資料を閲覧する。 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 c オーバードンチャー | *小出 恭代 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--------------------|
| 2021/10/06 (水) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（有床義歯補綴学） | <p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態および機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 義歯床の修理法を述べることができる。 3. 人工歯の脱落・破損の修理法を述べるができる。 4. 人工歯の追加（増歯）方法について述べるができる。 5. 支台装置の破損・脱落の修理法を述べるができる。 6. 支台歯歯冠の再修復について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科補綴学 事前学修時間：90分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無し 学修媒体 配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス e 補綴装置の破損とその対応</p> | *伊藤 誠康 |
| 2021/10/06 (水) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅳ-1 エ：歯質・歯・顎顔面欠損による審美障害について（ノンメタルクラスプデンチャーについて（有床義歯補綴学） | <p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ノンメタルクラスプデンチャーについて述べるができる。 3. ノンメタルクラスプデンチャーの適応症について述べるができる。 4. ノンメタルクラスプデンチャーの床用材料について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目とそれに要する時間数：歯学生のパーシャルデンチャー第6版、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学に目を通してください 1時間 事後学修項目とそれに要する時間数：講義資料の見直し 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 エ 審美障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 ア 高分子材料 b ポリスルフォン、ポリカーボネート</p> | *伊藤 誠康 |
| 2021/10/07 (木) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（全部床義歯） | <p>【授業の一般目標】 無歯顎者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、義歯の設計、臨床操作（前処置、印象採得）および技工操作（個人トレーの製作、作業用模型の製作）に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 無歯顎者に対する義歯の設計方針を説明できる。 2. 印象採得について説明できる。 3. 個人トレーの製作について説明できる。 4. 作業用模型の製作について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：関連国家試験問題の確認 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料および教科書・参考書・関連国家試験問題の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：スマホによるコンセプトテスト</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> | *河相 安彦 *五十嵐 憲太郎 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|--------------------|
| 2021/10/07 (木) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯) | <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 b 印象採得 a 個人トレーの製作 b 作業用模型の製作</p> | *河相 安彦 *五十嵐 憲太郎 |
| 2021/10/07 (木) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯) | <p>【授業の一般目標】 無歯顎者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、臨床操作 (顎間関係の記録) に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者の顎間関係の記録について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 関連国家試験問題の確認 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 配布資料および教科書・参考書・関連国家試験問題の復習 事後学習時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり: スマホによるコンセプトテスト</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> | *河相 安彦 *五十嵐 憲太郎 |
| 2021/10/07 (木) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯) | <p>【授業の一般目標】 無歯顎者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、臨床操作 (顎間関係の記録、人工歯選択) および技工操作 (咬合器装着・調節) に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 特殊な装置を用いる顎間関係の記録の手法を説明できる。 2. 咬合器装着と調節方法を説明できる。 3. 人工歯選択について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 関連国家試験問題の確認 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 配布資料および教科書・参考書・関連国家試験問題の復習 事後学習時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり: スマホによるコンセプトテスト</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録 d 人工歯の選択・排列・削合</p> | *河相 安彦 *五十嵐 憲太郎 |
| 2021/10/07 (木) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅴ: 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口 | <p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の損なわれたQOLの向上を図るために必要な義歯補綴による再建とリハビリテーションの知識・技能・態度を習得する。</p> | *鈴木 亜沙子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|----------------------------|---|--------------------|
| | 腔・顎顔面の機能障害（全部床義歯学） | <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 無歯顎顎堤の生理的吸収への対応について説明することができる。 3. 無歯顎顎堤の病的吸収への対応について説明することができる。 4. 義歯床下粘膜の変化への対応について説明することができる。 5. 全部床義歯の咬合の変化への対応について説明することができる。 6. 人工歯の変化への対応について説明することができる。 7. 全部床義歯装着者の中心咬合位の変化について説明することができる。 8. 全部床義歯装着後の患者指導について説明することができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目とそれに要する時間数 無歯顎補綴治療学および歯科医師国家試験過去問題 2時間 事後学習項目とそれに用いる時間数 上記および配布プリント 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス b 残存組織の変化とその対応</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス c 咬合の変化とその対応 a ホームケア、プロフェッショナルケア</p> | *鈴木 亜沙子 |
| 2021/10/08（金） 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（全部床義歯） | <p>【授業の一般目標】 無歯顎者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、臨床操作（ろう義歯の試適）および技工操作（人工歯排列・削合）に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総義歯の咬合様式について説明できる。 2. 総義歯の人工歯排列について説明できる。 3. ろう義歯の試適について説明できる。 4. 人工歯の削合について説明できる。 5. 義歯の埋没・重合について説明できる。 6. 重合義歯の咬合器再装着について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：関連国家試験問題の確認 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料および教科書・参考書・関連国家試験問題の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：スマホによるコンセプトテスト</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 d 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 d ろう義歯の試適 e 歯肉形成 f 埋没、重合 g 咬合調整(削合)と仕上げ</p> | *五十嵐 憲太郎 *河相 安彦 |
| 2021/10/08（金） 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（全部床義歯） | <p>【授業の一般目標】 無歯顎者に対し適切な補綴歯科治療を実施できるようになるために、臨床操作（義歯の装着）および診査、検査、診断に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 無歯顎患者に行う検査と評価について説明できる。 2. 無歯顎患者に対する形態・機能的評価について説明できる。 3. 無歯顎患者に対する診断について説明できる。 | *五十嵐 憲太郎 *河相 安彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--------------------|
| 2021/10/08 (金) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯) | <p>4. 無歯顎患者に対する治療計画の立案について説明できる。 5. 総義歯の装着について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：関連国家試験問題の確認 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料および教科書・参考書・関連国家試験問題の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：スマホによるコンセプトテスト</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断 エ 治療計画の立案 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着</p> | *五十嵐 憲太郎 *河相 安彦 |
| 2021/10/08 (金) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (全部床義歯) 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 (有床義歯補綴学) | <p>【授業の一般目標】 高齢患者の補綴装置装着後の適切な補綴装置の指導管理・口腔機能管理、治療効果の適切な評価を実施できるようになるために、義歯装着後の指導と管理、ならびに歯列欠損・無歯顎の高齢者に対する治療評価ならびに歯科診療に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 義歯装着後の補綴装置に対する指導について説明できる。 2. 義歯装着後の口腔機能向上に対する指導について説明できる。 3. 口腔機能に応じた栄養指導について説明できる。 4. 特殊な装置（舌接触補助床など）による補綴歯科治療について説明できる。 5. 補綴装置による治療効果の評価について説明できる。 6. 高齢者への口腔機能の評価と治療計画の策定について説明できる。 7. フレイル予防のための口腔衛生管理・口腔機能管理について説明できる。 8. 高齢者の歯の欠損への対応について説明できる。 9. 高齢者への構音障害に対する対応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：関連国家試験問題の確認 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料および教科書・参考書・関連国家試験問題の復習 事後学習時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 あり：スマホによるコンセプトテスト</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 イ 補綴装置に対する指導</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 ウ 摂食嚥下補助床 エ 構音補助床 8 指導と管理 ウ 口腔機能向上に関する指導 エ 栄養指導 カ 治療効果の評価 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ウ 診断 エ 治療計画の策定 4 高齢者等に関連した予防と管理 イ フレイル予防のための歯科保健管理 b 口腔機能管理 5 高齢者等に関連した歯科診療 イ 歯の欠損への対応 オ 構音障害に対する対応</p> | *五十嵐 憲太郎 *河相 安彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------|
| 2021/10/08 (金) 4時限 13:00~13:50 | 各論IV-8-オ-d 各論IV 歯質・ 歯・顎顔面欠損と 機能障害 (全部床 義歯) | <p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態および機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 有床義歯装着後の疼痛に関する原因について述べるができる。 2. 有床義歯装着後の発音障害に関する原因について述べるができる。 3. 有床義歯装着後の維持不良に関する原因について述べるができる。 4. 有床義歯装着後の誤咬に関する原因について述べるができる。 5. 有床義歯装着後の嚥下障害に関する原因について述べるができる。 6. 有床義歯装着後の嘔吐反射に関する原因について述べるができる。 7. 有床義歯装着後の患者指導について述べるができる。 8. 有床義歯の破損の修理方法について述べるができる。 9. 有床義歯の破損の原因を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医歯薬出版 無歯顎補綴治療学第三版 ・準備学修時間： 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス d 機能低下とその対応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス e 補綴装置の破損とその対応</p> | *中田 浩史 |
| 2021/10/09 (土) 1時限 09:00~09:50 | 各論V-5 部分床 義歯による治療 | <p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態および機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療方法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯の診査方法について説明することができる。 3. 部分床義歯の診断について説明することができる。 4. 部分床義歯の治療計画について説明することができる。 5. 部分床義歯の口腔内前処置について説明することができる。 6. 部分床義歯の印象方法について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 各論-V-2-カ 各論-V-2-ア 各論-V-2-イ 各論-V-2-ウ 各論-V-2-エ 各論-V-5-ア 各論-V-5-イ 各論-V-5-カ 事前学修項目 部分床義歯の診査・診断・治療計画について60分の事前学修を要する。 事後学修項目 部分床義歯の診査・診断・治療計画についての国家試験過去問の60分の事後学修を要する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し・400教室・スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 b 義歯の構成要素 a 前処置 b 印象採得</p> | *石井 智浩 |
| 2021/10/09 (土) 2時限 10:00~10:50 | 各論V-5 部分床 義歯による治療 | <p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態および機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療方法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> | *石井 智浩 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|--------|
| 2021/10/09 (土) 2時限 10:00～10:50 | 各論V-5 部分床義歯による治療 | <p>2. 部分床義歯の作業模型の製作について説明することができる。</p> <p>3. 部分床義歯のフレームワークの製作について説明することができる。</p> <p>4. 人工歯の選択・排列・削合について説明できる。</p> <p>5. 歯肉形成について説明できる。</p> <p>6. 蝕義歯の試適について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 各論-V-5-コ 各論-V-5-ウ 各論-V-5-キ 各論-V-5-ク 各論-V-5-ケ 事前学修項目 部分床義歯の作業模型の製作・フレームワークの製作・人工歯の選択・排列・削合・歯肉形成・蝕義歯の試適について60分の事前学習を要する 事後学修項目 部分床義歯の作業模型の製作・フレームワークの製作・人工歯の選択・排列・削合・歯肉形成・蝕義歯の試適についての国家試験過去問の60分の事後学修を要する</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無・400教室・スライド</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 d フレームワークの試適</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 e ろう義歯の試適 b 作業用模型の製作 c 咬合器装着・調節 e フレームワークの製作 f 人工歯の選択・排列・削合</p> | *石井 智浩 |
| 2021/10/09 (土) 3時限 11:00～11:50 | 各論V-5 部分床義歯による治療 | <p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態および機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療方法に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分床義歯の設計について説明することができる。 3. 部分床義歯の埋没方法を説明することができる。 4. 部分床義歯の重合方法を説明することができる。 5. 部分床義歯の咬合調整 (削合) を説明することができる。 6. 部分床義歯の仕上げを説明することができる。 7. 部分床義歯の装着方法を説明することができる。 8. 部分床義歯の装着時の患者指導について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 各論-V-5-ア 各論-V-5-サ 各論-V-5-シ 各論-V-5-ス 各論-V-5-セ 事前学修項目 部分床義歯の設計・埋没・重合・装着についての60分の事前学修を要する 事後学修項目 部分床義歯の設計・埋没・重合・装着についての国家試験過去問の60分の事後学修を要する</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無・400教室・スライド</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 f 装着</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則 c オーバーデンチャー g 歯肉形成 h 埋没、重合 i 咬合調整(削合)と仕上げ</p> | *石井 智浩 |
| 2021/10/11 (月) 1時限 09:00～09:50 | 各論IV: 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウンブリッジ補綴学) | <p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義, 種類, 内容について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> | *岩田 好弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|---|--------|
| 2021/10/11 (月) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学） | 2. クラウンブリッジ治療に先立ち実施する前処置の意義、種類、内容を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 a 前処置 | *岩田 好弘 |
| 2021/10/11 (月) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学） | 【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 支台歯形成の方法について説明できる。 3. プロビジョナルレストレーションの製作方法と特徴を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成 | *内堀 聡史 |
| 2021/10/11 (月) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学） | 【授業の一般目標】 印象材の種類と特徴を理解する。 印象用器材、印象法の種類と特徴について理解する。 歯肉圧排の目的と方法について理解する。 顎間関係の記録（咬合採得）の意義について理解する。 咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。 咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 印象材の種類と特徴を説明できる。 3. 印象用器材、印象法の種類と特徴を説明できる。 4. 歯肉圧排の目的と方法について説明できる。 5. 顎間関係の記録（咬合採得）の意義について理解する。 6. 咬合採得する下顎位と咬合採得法について理解する。 7. 咬合支持に応じた咬合採得法について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：教科書の関連項目を学修する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配付資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 400教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 | *飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|-----------------|
| 2021/10/11 (月) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウンブリッジ補綴学) | d 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録 | *飯田 崇 |
| 2021/10/11 (月) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (有床義歯補綴学, クラウンブリッジ補綴学) | 【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 残存歯の咬合状態から咬合の安定度を測ることができる。 3. 咬合採得法の種類と特徴を述べることができる。 4. 支台歯形成後の咬合支持の状態から適切な咬合採得法を選択できる。 5. 歯の欠損状態から適切な咬合採得法を説明できる。 6. 少数歯あるいは多数歯欠損の咬合採得法を説明できる。 7. すれ違い咬合の咬合採得法を説明できる。 8. 咬合器付着とプログラミングについて説明できる。 9. 咬合床を用いた咬合採得について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯学生のパーソナルデンチャー第6版, クラウンブリッジ補綴学第5版の咬合採得の項目を予習しておく。 事前学習時間：30分 事後学習項目：配布プリントの復習 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録 | *飯田 崇 *伊藤 誠康 |
| 2021/10/11 (月) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウンブリッジ補綴学) | 【授業の一般目標】 歯冠補綴治療を行うために、ロストワックス法による技工操作とデジタルデンティストリーにおける治療方法について知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づいて以下の項目を教授する。 2. ロストワックス法による技工操作について説明できる。 3. デジタルデンティストリーの治療方法について述べることができる。 4. 口腔内スキャナーのシステムについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 b CAD/CAMによる製作 | *内堀 聡史 |
| 2021/10/12 (火) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (クラウンブリッジ補綴学) | 【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 | *内堀 聡史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|-----------------|
| 2021/10/12 (火) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学） | <p>1. 臨床経験に基づいて以下の内容を教授する。 2. 歯冠補綴装置の装着方法について説明できる。 3. 歯冠補綴治療の術後管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：クラウンブリッジ補綴学第5版 事前学修時間：30分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：PC、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 i 装着</p> | *内堀 聡史 |
| 2021/10/12 (火) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態および機能の回復を図るために必要な補綴臨床における診査・診断および治療法に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. クラウン装着後の破損の原因を述べることができる。 3. 前装冠破損の原因を推測することができる。 4. 前装冠破損の修理方法について述べるができる。 5. 補綴物の破損に関する理工学的特性を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科補綴学・歯科理工学 事前学修時間：90分 事後学習項目：配布資料の復習 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス e 補綴装置の破損とその対応</p> | *岩田 好弘 岩崎 太郎 |
| 2021/10/12 (火) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅴ：高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療（クラウンブリッジ補綴学） | <p>【授業の一般目標】 高齢者歯科医療を円滑に行うために、施設や在宅における基本的歯科医療を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 老化の機序を説明できる。 3. 要介護高齢者の歯科治療を説明できる。 4. 在宅歯科医療を説明できる。 5. 高齢者歯科医療における多職種連携について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：施設や在宅における基本的歯科医療を理解する。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 8 在宅医療、在宅支援 ア 訪問歯科診療 a 訪問歯科診療器材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> | *飯田 崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--------|
| 2021/10/12 (火) 3時限 11:00～11:50 | 各論V：高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療(クラウンブリッジ補綴学) | 歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 8 在宅医療、在宅支援 イ 多職種協働 3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 エ 治療計画の策定 2 老化による口腔・顎顔面領域の症候 ア 機能的変化 a 咀嚼機能 | *飯田 崇 |
| 2021/10/12 (火) 4時限 13:00～13:50 | 各論IV：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害(クラウンブリッジ補綴学) | 【授業の一般目標】 口腔顔面領域に発生する有痛性疾患に対応するために、顎・顔面領域の有痛性疾患の特徴を理解する。 | *飯田 崇 |
| | | 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 脳神経系の役割について説明できる。 3. 口腔顔面領域の有痛性疾患について説明できる。 4. 非歯原性歯痛の原因疾患について説明できる。 | |
| | | 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎・顔面領域の有痛性疾患の特徴を理解する。 準備学修時間：1時間 | |
| | | 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布資料 | |
| | | 【学修方略 (LS)】 講義 | |
| | | 【場所 (教室/実習室)】 400教室 | |
| | | 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 1 病態 カ 口腔機能障害・口腔顔面痛 | |
| 2021/10/13 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害(口腔インプラント学) | 【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 | *北川 剛至 |
| | | 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. インプラント治療のメンテナンスについて説明できる。 | |
| | | 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業のSBOs ・準備学修時間：15分 ・事後学修時間：30分 | |
| | | 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：メディア、プリント配布 | |
| | | 【学修方略 (LS)】 講義 | |
| | | 【場所 (教室/実習室)】 400教室 | |
| | | 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス e 補綴装置の破損とその対応 | |
| | | 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 オ リコールとメンテナンス f インプラント支持療法 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 a 上部構造の設計 | |
| 2021/10/13 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害(口腔インプラント学) | 【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 | *玉木 大之 |
| | | 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. インプラント外科処置について説明できる。 3. インプラント外科処置における合併症について説明できる。 | |
| | | 【準備学修項目と準備学修時間】 以前の講義・実習時の配布資料の該当範囲の習熟 事前学修時間30分 | |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---|----------------|
| 2021/10/13 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学) | 事後学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：スライド、配布資料 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 a インプラント埋入手術 (一次手術) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 c 二次手術 b オッセオインテグレーションの獲得 | *玉木 大之 |
| 2021/10/13 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅳ：歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 (口腔インプラント学) | 【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に供給するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づいて以下の項目を教授する。」 2. インプラントの補綴術式を説明する。 3. インプラント上部構造の種類・固定方法を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 過去の講義・実習時に配布した、該当範囲レジュメの通読 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：スライド、配布プリント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 d 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 f 顎間関係の記録 c インプラントオーバーデンチャーの製作 | *村上 洋 |
| 2021/10/19 (火) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | 【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 嚢胞性疾患の診断およびその治療法を述べるができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の嚢胞性疾患について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞 | *金田 隆 *山本 泰 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|--|----------------|
| 2021/10/19 (火) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する良性腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の良性腫瘍について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍</p> | *金田 隆 *山本 泰 |
| 2021/10/19 (火) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 (歯科麻酔学) | <p>【授業の一般目標】 安全で適切な患者管理を行うために、歯科治療時および全身麻酔時の全身的偶発症とその対応について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全身的偶発症、特にアレルギー関連のものについて説明することができる。 3. アレルギー検査について説明することができる。 4. アナフィラキシーショックとその対応について説明することができる。 5. 全身麻酔時に発生する偶発症とその対応について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学、「5. 全身麻酔法」および「15. 歯科治療における全身的偶発症」について学修しておく。 ・事前学修時間：30分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理 b 術中管理</p> | *下坂 典立 |
| 2021/10/19 (火) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する悪性腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の悪性腫瘍について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 d 舌癌</p> | *金田 隆 *山本 泰 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|-------------------|
| 2021/10/19 (火) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の炎症性疾患について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 b 口腔軟組織の炎症</p> | *金田 隆 *山本 泰 |
| 2021/10/19 (火) 6時限 15:00～15:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎顔面領域に発生する損傷の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域の外科的疾患について教科書で予習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 c 下顎骨骨折</p> | *金田 隆 *山本 泰 |
| 2021/10/20 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学習項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学習時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> | *宇都宮 忠彦 *山口 桜子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|-------------------|
| 2021/10/20 (水) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 d 歯性上顎洞炎</p> | *宇都宮 忠彦 *山口 桜子 |
| 2021/10/20 (水) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 d 歯性上顎洞炎</p> | *宇都宮 忠彦 *山口 桜子 |
| 2021/10/20 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> | *宇都宮 忠彦 *山口 桜子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|-------------------|
| 2021/10/20 (水) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 d 歯性上顎洞炎 | *宇都宮 忠彦 *山口 桜子 |
| 2021/10/20 (水) 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | 【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 d 歯性上顎洞炎 | *宇都宮 忠彦 *山口 桜子 |
| 2021/10/20 (水) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | 【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事後学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学修媒体：教科書 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 | *宇都宮 忠彦 *山口 桜子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|---|-------------------|
| 2021/10/20 (水) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | d 歯性上顎洞炎 | *宇都宮 忠彦 *山口 桜子 |
| 2021/10/21 (木) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べるができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 キ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断と治療 a 顎骨腫瘍の外科療法</p> | *濱野 美緒 *末光 正昌 |
| 2021/10/21 (木) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べるができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇経・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 キ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断と治療 a 顎骨腫瘍の外科療法</p> | *濱野 美緒 *末光 正昌 |
| 2021/10/21 (木) | 各論Ⅲ 顎口腔領域 | 【授業の一般目標】 | *濱野 美緒 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|--------------------|--|------------------|
| 3時限 11:00～11:50 | 域の疾患（口腔外科） | <p>口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 キ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断と治療 a 顎骨腫瘍の外科療法</p> | *末光 正昌 |
| 2021/10/21（木） 4時限 13:00～13:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科） | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 キ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断と治療 a 顎骨腫瘍の外科療法</p> | *濱野 美緒 *末光 正昌 |
| 2021/10/21（木） 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科） | <p>【授業の一般目標】 口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> | *濱野 美緒 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|---------|
| 2021/10/21 (木) 5時限 14:00～14:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科) | <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する種々の疾患の鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を述べることができる。 4. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を述べることができる。 5. 口腔領域に発生する感染症の診断およびその治療法を述べることができる。 6. 口腔領域に発生する炎症の診断およびその治療法を述べることができる。 7. 口腔領域に発生する自己免疫疾患の診断およびその治療法を述べることができる。 8. 口腔領域に発生する奇形・変形症の診断およびその治療法を述べることができる。 9. 口腔領域に症状を呈する症候群の診断・症状およびその治療法を述べることができる。 10. 口腔領域に発生する神経疾患の診断およびその治療法を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に予習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：口腔領域疾患の診断および治療方針が立てられるようになるために、画像および病理の特徴と治療方針を体系的に学習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：口腔外科の各論で配布した資料及び教科書</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍</p> | *濱野 美緒 |
| 2021/10/22 (金) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患 (病理学) | <p>【授業の一般目標】 正確な診断を行うために、非腫瘍性疾患の病理組織診断について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 嚢胞の病理組織診断と鑑別診断を行うことができる。 3. 口腔粘膜疾患の病理組織診断と鑑別診断を行うことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 嚢胞の分類 2) 口腔粘膜疾患の分類 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 嚢胞の分類と病理組織学的特徴 2) 口腔粘膜疾患の病理組織学的特徴 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディア、アクティブラーニング有り</p> <p>【学修方略 (L S)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療 k 白板症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞 b 非歯原性嚢胞 a ウイルス性口内炎 b 天疱瘡、類天疱瘡 i 口腔扁平苔癬 l 紅板症</p> | *宇都宮 忠彦 |
| 2021/10/22 (金) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患 (病理学) | <p>【授業の一般目標】 正確な診断を行うために、腫瘍性疾患と腫瘍類似疾患の病理組織診断について学修する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 歯原性腫瘍の分類と病理学的特徴について説明できる。 3. 非歯原性腫瘍の分類と病理学的特徴について説明できる。 4. 唾液腺腫瘍の歯原性腫瘍の分類と病理学的特徴について説明できる。</p> | *宇都宮 忠彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|---------|
| 2021/10/22 (金) 2時限 10:00～10:50 | 各論Ⅲ：顎・口腔領域の疾患（病理学） | <p>5. 腫瘍類似疾患の分類と病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 歯源性腫瘍の分類 2) 非歯源性腫瘍の分類 3) 唾液腺腫瘍の分類 4) 腫瘍類似疾患の分類 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 歯源性腫瘍の病理学的特徴 2) 非歯源性腫瘍の病理学的特徴 3) 唾液腺腫瘍の病理学的特徴 4) 腫瘍類似疾患の病理学的特徴 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、マルチメディア、アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯源性良性腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 b 非歯源性良性腫瘍 d 舌癌 g 歯肉癌 n 前癌病変、前癌状態 o 腫瘍類似疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 c 非歯源性良性腫瘍 d 非歯源性悪性腫瘍 e 骨関連病変 f 線維骨性病変 g 巨細胞性病変</p> | *宇都宮 忠彦 |
| 2021/10/22 (金) 3時限 11:00～11:50 | 各論Ⅲ：顎口腔領域の疾患（口腔外科） | <p>【授業の一般目標】 顎関節症に対する診断および治療計画立案ができるようになるために、顎関節症の各病態に合わせた治療方針を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎関節咬合科での臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2. 歯科疾患と顎関節疾患とを鑑別診断できる。 3. 顎関節症における画像診断結果を説明できる。 4. 顎関節症の病態分類について説明できる。 5. 各病態における特徴を説明できる。 6. 各病態に対する治療方針を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：9月18日の顎関節疾患の授業プリント ・準備学修時間： 20 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 紙媒体による授業プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療 k 顎関節症</p> | *内田 貴之 |
| 2021/10/27 (水) 1時限 09:00～09:50 | 必修5：人体の正常構造・機能（生化学） | <p>【授業の一般目標】 全身・口腔の必修レベルの内容を再確認することにより知識を統合する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 生体構成成分の構造・機能を説明できる。 2. ゲノム、遺伝子、染色体を説明できる。 3. 細胞・細胞小器官の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：課題別講義プリントを見直し曖昧な点を押さえておくこと。 事前学修時間：120分</p> | 平塚 浩一 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|-------|
| 2021/10/27 (水) 1時限 09:00～09:50 | 必修5：人体の正常構造・機能（生化学） | <p>事後学修項目：課題別講義プリントと各種試験問題の再確認。 事後学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：無（すでに配布してるプリント）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 b ゲノム、遺伝子、染色体 c 細胞・細胞小器官の構造と機能</p> | 平塚 浩一 |
| 2021/10/27 (水) 2時限 10:00～10:50 | 総論II：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢（生化学） | <p>【授業の一般目標】 全身・口腔の必修レベルの内容を再確認することにより知識を統合する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. う蝕の成り立ちが説明できる。 2. 炎症が説明できる。 3. 細胞外基質が説明できる。 4. 骨リモデリングが説明できる。 5. 菌の成分が説明できる。 6. 唾液の成分とその機能が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：課題別講義プリントを見直し曖昧な点を押さえておくこと。 事前学修時間：120分 事後学修項目：課題別講義プリントと各種試験問題の再確認。 事後学修時間：180分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：無（すでに配布してるプリント）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 オ 唾液分泌 a 唾液の性状、機能 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ウ 骨組織代謝 a 軟骨内<軟骨性>骨化、膜内<膜性>骨化 b 形成、吸収、改造<リモデリング> c 石灰化機構</p> | 平塚 浩一 |
| 2021/10/28 (木) 1時限 09:00～09:50 | 必修5 人体の正常構造・機能（組織・発生学） | <p>【授業の一般目標】 人体の構造を理解するために、器官を構成する4大組織について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 上皮組織について説明できる。 2. 支持組織について説明できる。 3. 筋組織について説明できる。 4. 神経組織について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：4大組織について ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：4大組織について配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無し 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> | 玉村 亮 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|-------|
| 2021/10/28 (木) 1時限 09:00～09:50 | 必修5 人体の正常構造・機能(組織・発生学) | <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織(上皮組織、結合(支持)組織(血液を含む)、筋組織、神経組織)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系(骨格系(関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、消化器系(歯および唾液腺を含む)、造血管系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系) c 細胞・細胞小器官の構造と機能</p> | 玉村 亮 |
| 2021/10/28 (木) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(組織・発生学) | <p>【授業の一般目標】 口腔の構造を理解するために、構成する細胞・組織についての基本的知識を学修する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯の構造について説明できる。 2. 歯周組織の構造について説明できる。 3. 唾液腺の構造について説明できる。 4. 舌・扁桃の構造について説明できる。 5. 口腔組織の加齢変化について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 口腔の構造(歯・歯周組織・舌・唾液腺など)について ・準備学修時間: 60分 ・事後学修項目: 口腔の構造(歯・歯周組織・舌・唾液腺など)について配布プリントや教科書を用いて復習する。 ・事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: 無し 学修媒体: プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 b 唾液腺 c 舌、扁桃 8 人体の成長・発達・加齢 エ 加齢・老化による口腔・顎顔面の変化 a 器質的变化</p> | 玉村 亮 |
| 2021/10/29 (金) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅱ: 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢(解剖学) | <p>【授業の一般目標】 頭蓋骨の構造に関する基本的な知識を習得することにより、筋の付着、神経の分布を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 頭蓋冠の構造を説明できる。 2. 頭蓋底の構造を説明できる。 3. 咀嚼筋の構造を説明できる。 4. 舌骨筋群の構造を説明できる。 5. 脳神経の分布を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 課題別講義を復習する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 講義内容を再確認する。 事後学習時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 課題別で配付した資料必須</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造</p> | 松野 昌展 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|--|-------|
| 2021/10/29 (金) 1時限 09:00～09:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学) | イ 頭頸部の骨格系 b 頭蓋骨 (関節、靭帯を含む) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系) 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ウ 頭頸部の筋系 a 顔面筋 <表情筋> b 咀嚼筋 c 浅頸筋 a 脳神経 b 組織隙 <筋膜隙> | 松野 昌展 |
| 2021/10/29 (金) 2時限 10:00～10:50 | 総論Ⅱ：正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 (解剖学) | 【授業の一般目標】 頭頸部の内臓の構造を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔の構造を説明できる。 2. 舌の構造を説明できる。 3. 唾液腺の構造を説明できる。 4. 咽頭の構造を説明できる。 5. 喉頭の構造を説明できる。 6. 鼻腔と副鼻腔の構造を説明できる。 7. 頭頸部の循環器系の構成を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：頭頸部の内臓を復習する。 事前学修時間：30分 事後学修項目：講義内容を再確認する。 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し プリントを配付する。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 オ 頭頸部の内臓系 a 口腔 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 エ 頭頸部の脈管系 a 動脈計 b 静脈系 c リンパ系 b 唾液腺 c 舌、扁桃 d 咽頭、喉頭 b 組織隙 <筋膜隙> 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系) | 松野 昌展 |
| 2021/10/30 (土) 1時限 09:00～09:50 | 必修5：人体の正常構造・機能 (生理学) | 【授業の一般目標】 人体の機能を理解するために、循環、呼吸、自律神経、内分泌を学修する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 血圧調節を説明できる。 2. 機能中枢を説明できる。 3. 呼吸によるガス分圧調節を説明できる。 4. ホルモン分泌臓器と作用機序を説明できる。 5. 自律神経による機能調節を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：各臓器の機能について復習しておく。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：循環および呼吸の異常による疾病と症状をまとめる。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：プリント配布 【学修方略 (LS)】 講義 | 吉垣 純子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|---|---------|
| 2021/10/30 (土) 1時限 09:00～09:50 | 必修5：人体の正常構造・機能（生理学） | <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> | 吉垣 純子 |
| 2021/10/30 (土) 2時限 10:00～10:50 | 必修5：人体の正常構造・機能（生理学） | <p>【授業の一般目標】 摂食機能を理解するために、口腔感覚、顎反射、唾液、嚥下を学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔感覚の特徴を説明できる。 2. 顎反射の成立機構を説明できる。 3. 唾液分泌機構を説明できる。 4. 嚥下機構を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：神経伝導路について復習しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：口腔感覚の伝導路および顎反射の反射弓をまとめる。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> | 吉垣 純子 |
| 2021/11/01 (月) 1時限 09:00～09:50 | 必修7・総論Ⅲ：炎症、退行性病変、進行性病変、循環障害（病理学） | <p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、炎症、退行性病変、進行性病変及び循環障害に関する病理学的知識について学習する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 炎症の5徴候と病理学的意義について説明できる。 3. 炎症の病因・病態について述べるができる。 4. 炎症の経過と病理組織学的分類（各型分類）と病態について解説できる。 5. アレルギー、自己免疫疾患及び膠原病の分類と病理学的特徴について解説できる。 6. 萎縮、変性及び壊死・アポトーシスの病理学的特徴について説明できる。 7. 循環障害の病理学で特徴を説明できる。 8. 再生・修復、増生及び化生について解説できる。 9. 創傷治癒機転を説明できる。 10. 移植の基本的な病理学的特徴を解説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 炎症、退行性病変、循環障害及び進行性病変について ・事前学修時間：60分 事後学修項目： 1) 炎症の病理学的特徴 2) 退行性病変の病理学的特徴 3) 循環障害の病理学的特徴 4) 進行性病変の病理学的特徴 ・事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 c 損傷 f 免疫異常</p> | *宇都宮 忠彦 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---------|
| 2021/11/01 (月) 1時限 09:00～09:50 | 必修7・総論Ⅲ： 炎症、退行性病変、 進行性病変、循環 障害 (病理学) | h 循環障害 i 代謝障害、萎縮、壊死 j 病的増殖 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 イ 細胞組織の傷害 a 代謝障害 (変性) d 創傷治癒 e 異物処理 b 局所の循環障害 c 分類と病態 | *宇都宮 忠彦 |
| 2021/11/01 (月) 2時限 10:00～10:50 | 必修7・総論Ⅲ： 腫瘍・嚢胞・先天 異常 (病理学) | <p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、腫瘍、嚢胞及び先天異常の病理学的知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 腫瘍の定義について述べるができる。 3. 腫瘍の病理組織学的分類について説明できる。 4. 腫瘍発生の諸段階と転移について説明できる。 5. 口腔・顎・顔面領域に後発する代表的な腫瘍の病理学的特徴について解説できる。 6. 嚢胞の定義と分類について説明できる。 7. 嚢胞の病理組織学的特徴について解説できる。 8. 腫瘍及び嚢胞と関連する先天異常について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 腫瘍の定義と分類 2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別 3) 嚢胞の分類 ・事前学修時間：60分 事後学修項目： 1) 腫瘍の病理組織学的分類 2) 嚢胞の病理組織学的特徴 ・事後学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 i 嚢胞 (歯源性、非歯源性) 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ク 腫瘍 d 分類と病態 e 組織学的構造 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 a 先天異常 d 軟組織の疾患 e 顎骨・顎関節の疾患 g 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患</p> | *宇都宮 忠彦 |
| 2021/11/02 (火) 1時限 09:00～09:50 | 必修12：治療の 基礎・基本手技 (薬理学)、総論 Ⅶ：治療 (薬理学) | <p>【授業の一般目標】 治療の基礎を理解するために、薬物療法の基本的事項に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の作用部位・作用機序を説明できる。 2. 薬物動態を説明できる。 3. 薬物相互作用を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：薬理学に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無 ・学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> | 松本 裕子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|-------|
| 2021/11/02 (火) 1時限 09:00～09:50 | 必修12:治療の基礎・基本手技(薬理学), 総論VII:治療(薬理学) | <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 a 薬理作用(薬力学、主作用および副作用を含む)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 b 薬物動態 c 薬物投与(連用および併用を含む) 歯科医学総論 総論VII 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効 c 薬物動態 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策 e 薬物適用の注意</p> | 松本 裕子 |
| 2021/11/02 (火) 2時限 10:00～10:50 | 必修12:治療の基礎・基本手技(薬理学), 総論VII:治療(薬理学) | <p>【授業の一般目標】 治療の基礎を理解するために、薬物療法の基本的事項に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 薬物の作用部位・作用機序を説明できる。 2. 薬物動態を説明できる。 3. 薬物相互作用を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:薬理学に関連する歯科医師国家試験過去問を解き、何が理解できていないか確認する。 ・事前学修時間:30分 ・事後学修項目:授業時配布プリントの内容確認と整理。 ・事後学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング:無 ・学修媒体:マルチメディア, プリント配布</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 a 薬理作用(薬力学、主作用および副作用を含む)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 コ 薬物療法 b 薬物動態 c 薬物投与(連用および併用を含む) 歯科医学総論 総論VII 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効 c 薬物動態 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策 e 薬物適用の注意</p> | 松本 裕子 |
| 2021/11/04 (木) 1時限 09:00～09:50 | 必修12:治療の基礎・基本手技(歯科理工学) | <p>【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、その基礎的な性質を学修する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 生体材料の力学的、物理的および化学的性質について説明できる。 2. 生体材料の生物学的性質および生体安全性について説明できる。 3. 切削・研削・研磨用材料の種類、組成および性質について説明できる。 4. 印象材の種類、組成および性質について説明できる。 5. 歯科用石膏の種類、組成および性質について説明できる。 6. 歯科用ワックスの種類、組成および性質について説明できる。 7. 成形修復材料の種類、組成および性質について説明できる。 8. 予防歯科材料の種類、組成および性質について説明できる。 9. 歯内療法関連材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:SBOSについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間:1時間 事後学修項目:講義で配布したプリントの内容(必修の基本的事項、歯科材料・機器)を整理・復習する。 事後学修時間:1時間</p> | 谷本 安浩 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|--|-----------------|
| 2021/11/04 (木) 1時限 09:00～09:50 | 必修12:治療の基礎・基本手技(歯科理工学) | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 a 基本的性質</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 b 診療用器械、切削、研削工具、研磨材 c 印象用材料 d 模型用材料、ワックス e 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料</p> | 谷本 安浩 |
| 2021/11/04 (木) 2時限 10:00～10:50 | 必修12:治療の基礎・基本手技(歯科理工学) | <p>【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、その基礎的な性質を学修する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯冠用レジンの種類、組成および性質について説明できる。 2. 義歯材料の種類、組成および性質について説明できる。 3. 義歯床用アクリルレジンの変形の原因およびその対策について説明できる。 4. 歯科精密鑄造の原理と鑄造欠陥の発生原因およびその対策について説明できる。 5. 歯科用CAD/CAMの特徴について説明できる。 6. 歯科接着技術における歯質、金属およびセラミックスの被着面処理法について説明できる。 7. 歯科矯正用材料の種類、組成および性質について説明できる。 8. 歯科インプラント用材料および骨補填材料の種類、組成および性質について説明できる。 9. 組織工学用膜材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間: 1時間 事後学修項目: 講義で配布したプリントの内容(必修の基本的事項、歯科材料・機器)を整理・復習する。 事後学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無 学修媒体:マルチメディア、プリント配布、教科書</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 f 歯冠修復・義歯用材料</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 g 成形技術・機器 h 接着用材料、接着処理 i 歯科矯正用材料 j 口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料</p> | 谷本 安浩 |
| 2021/11/05 (金) 1時限 09:00～09:50 | 必修5:人体の正常構造・機能(微生物・免疫学) | <p>【授業の一般目標】 全身・口腔の常在微生物叢を理解するために、構成する微生物の特徴を学修する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 細菌、ウイルス、真菌、原虫について違いが説明できる。 2. 微生物の構造、性状について説明できる。 3. 感染症の種類と起因する病原体を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 配布プリントの再確認 事前学修時間: 60分 事後学修項目: 講義内をを復習する。 事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無:無 学修媒体:配布プリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> | 栗原 紀子 *齋藤 真規 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|--|-----------------|
| 2021/11/05 (金) 1時限 09:00～09:50 | 必修5：人体の正常構造・機能（微生物・免疫学） | <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 a 常在微生物叢</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 c プラーク<口腔バイオフィルム> ア 全身・口腔の構造と機能 f 免疫（免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫）</p> | 栗原 紀子 *齋藤 真規 |
| 2021/11/05 (金) 2時限 10:00～10:50 | 必修5：人体の正常構造・機能（微生物・免疫学） | <p>【授業の一般目標】 口腔領域における宿主と微生物との関わりを理解するために、生体防御機構について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 唾液、歯肉溝滲出液の抗菌物質を説明できる。 3. 口腔領域における免疫応答について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：これまでの配布プリントの再確認 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義内容について総復習する。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 f 免疫（免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 イ 全身・口腔の生態系 c プラーク<口腔バイオフィルム></p> | *齋藤 真規 栗原 紀子 |
| 2021/11/06 (土) 1時限 09:00～09:50 | 必修4：予防と健康管理・増進（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として、高齢社会における歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な地域保健、地域医療の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 地域保健活動を説明できる。 2. 医療計画、健康増進計画を説明できる。 3. 健康増進と疾病予防を説明できる。 4. 地域保健にかかる法規と制度を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 イ 地域保健にかかる法規と制度 a 地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み エ 地域保健、地域医療 b 医療計画、健康増進計画 d 地域保健活動の進め方</p> | *有川 量崇 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------|--|-----------------|
| 2021/11/06 (土) 1時限 09:00～09:50 | 必修4：予防と健康管理・増進（衛生学） | 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 d 健康日本21（第二次） e メタボリックシンドローム f 行動レベル、行動変容 イ 地域保健にかかる法規と制度 b 母子保健 c 学校保健 d 産業保健 e 成人・高齢者保健 | *有川 量崇 |
| 2021/11/06 (土) 2時限 10:00～10:50 | 必修4：予防と健康管理・増進（衛生学） | <p>【授業の一般目標】 歯科医師として、歯科保健・医療を取り巻く変化に対応するために必要な予防と健康管理の知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 公衆衛生活動・地域保健活動について説明できる。 2. 地域保健活動の進め方について説明できる。 3. 都道府県、市町村、保健所の歯科保健業務について説明できる。 4. 予防手段について説明できる。 5. 口腔健康管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。 事前学修時間：1時間 事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（必修の基本的事項）を整理・復習する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ウ 予防手段 b 保健指導</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論I 保健・医療と健康増進 1 健康の保持・増進と社会保障の仕組み ウ 保健・医療・福祉・介護の法規と制度 f 地域保健関連機関 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 エ 成人保健、成人歯科保健 a 現状、動向 c 成人歯科保健、成人の口腔保健管理 必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携 b 医科歯科連携 d 医療チームの構成員と役割 4 予防と健康管理・増進 エ 口腔健康管理 a 口腔衛生管理のための口腔ケア b 口腔機能維持向上のための口腔のケア</p> | *有川 量崇 |
| 2021/11/08 (月) 1時限 09:00～09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患（口腔外科・病理学） | <p>【授業の一般目標】 各論・臨床実地で学修した内容を再確認することにより知識を統合する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を説明できる。 3. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を説明できる。 4. 口腔領域に発生する粘膜疾患の診断およびその治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔外科および病理学の各論、臨床実地で学修した講義内容を復習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患</p> | *山本 泰 *末光 正昌 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|--|-----------------|
| 2021/11/08 (月) 1時限 09:00~09:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科・病理学) | 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 d 舌癌 | *山本 泰 *末光 正昌 |
| 2021/11/08 (月) 2時限 10:00~10:50 | 各論Ⅲ 顎口腔領域の疾患 (口腔外科・病理学) | <p>【授業の一般目標】 各論・臨床実地で学修した内容を再確認することにより知識を統合する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔領域に発生する腫瘍の診断およびその治療法を説明できる。 3. 口腔領域に発生する嚢胞の診断およびその治療法を説明できる。 4. 口腔領域に発生する粘膜疾患の診断およびその治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔外科および病理学の各論、臨床実地で学修した講義内容を復習すること。 準備学修時間：60分 事後学習項目：講義資料、教科書を用いて復習し、国家試験問題に取り組む。 事後学習時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 d 舌癌</p> | *山本 泰 *末光 正昌 |